

2018年度 医学部医学科
第1学年 SYLLABUS

学業科目：

論理学 I

[教育目標]

私たちがとくに意識することなくおこなっている「論証」を意識化し、対象化して、その構造や正しさを一般的な仕方では考察するのが論理学です。

論理学にはアリストテレス以来の2300年以上の歴史がありますが、19世紀末にドイツのフレーゲによって大革命がおこなわれて新しい論理学が生まれました。「論理学 I」では、主として、この新しい論理学である記号論理学（文論理学および第1階の述語論理学）の解説と演習をおこないます。

受講生の皆さんが積極的に参加し、考え、発言し、議論することが大切です。そのような意欲のある人の受講を期待します。

[学修目標]

論証の構造を論証図で表すことができる。

文論理学での記号化ができる。

述語論理学での記号化ができる。

推論の妥当性を説明できる。

真理表が利用できる。

ヴェン図が利用できる。

セマンティック・タブローが利用できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

講義内容の理解には練習問題を解いてみるのが不可欠です。宿題として指定した問題は必ず解いてみて、指定日までに提出してください。30分程度を目安とする。

[評価]

定期試験の成績を基本にするが、必要に応じて授業への貢献度や出席状況等を加味する。

[フィードバック]

課題レポートは添削のうえ返却するので、復習を行うこと。

[教科書]

なし（資料を配布する）

[推薦参考書]

「マグローヒル大学演習 現代論理学（I）」 J. Nolt & D. Rohatyn（オーム社）

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
木戸 正幸 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<論理学 I >

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	11	水	1	木戸 正幸	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	18	水	1	木戸 正幸	論証の構造（論証図）	910講義室
2	04	25	水	1	木戸 正幸	文論理（原子文と分子文）	910講義室
3	05	02	水	1	木戸 正幸	真理関数と真理表	910講義室
4	05	09	水	1	木戸 正幸	文論理での記号化の練習	910講義室
5	05	16	水	1	木戸 正幸	恒真・恒偽・事実に推論の妥当性	910講義室
6	05	23	水	1	木戸 正幸	述語論理（文の内部構造）	910講義室
7	05	30	水	1	木戸 正幸	定言命題と記号化	910講義室
8	06	06	水	1	木戸 正幸	関係と多重量化	910講義室
9	06	13	水	1	木戸 正幸	述語論理での記号化の練習	910講義室
10	06	20	水	1	木戸 正幸	ヴェン図	910講義室
11	06	27	水	1	木戸 正幸	セマンティック・タブロー 1	910講義室
12	07	04	水	1	木戸 正幸	セマンティック・タブロー 2	910講義室
13	07	11	水	1	木戸 正幸	構文論と意味論	910講義室
	07	18	水	1	木戸 正幸	定期試験	603講義室

論理学Ⅱ

【教育目標】

私たちがとくに意識することなくおこなっている「論証」を意識化し、対象化して、その構造や正しさを一般的な仕方で厳密に考察するのが論理学です。

医学をはじめとする経験諸科学の研究や応用においても論証が用いられることはいうまでもないでしょう。「論理学Ⅱ」では、これら経験科学の基本的構造、とくに仮説演繹法、因果関係、帰納的推論（蓋然的推論）の構造などを理解し、具体的に把握・検討する練習をします。

受講生の皆さんが積極的に参加し、考え、発言し、議論することが期待されます。そうした意欲のある人の受講を希望します。

【学修目標】

経験科学の構造の基本を説明できる。

科学的説明の論理構造を解説することができる。

帰納推論（蓋然的推論）の特徴を説明できる。

仮説演繹法を説明できる。

必要原因と十分原因について説明できる。

仮説検定の論理的構造を説明できる。

ベイズの定理を利用できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

自分の頭で考え、疑問をもつことが大切です。講義で扱った内容や例はよく復習し、自分なりの理解と疑問点をもって次の講義に臨んでください。30分程度を目安とする。

【評価】

定期試験の成績を基本にするが、必要に応じて授業への貢献度や出席状況等を加味する。

【フィードバック】

課題レポートは添削のうえ返却するので、復習を行うこと。

【教科書】

なし（資料を配布する）

【推薦参考書】

「マグロウヒル大学演習 現代論理学（Ⅱ）」 J. Nolt & D. Rohatyn（オーム社）

「科学と証拠 — 統計の哲学 入門」 エリオット・ソーパー（名古屋大学出版会）

「リスク・リテラシーが身につく統計的思考法 — 初歩からベイズ推定まで」 ゲルト・ギーゲレンツァー（ハヤカワ文庫）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
木戸 正幸 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<論理学Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	1	木戸 正幸	論理の記号	910講義室
2	10	17	水	1	木戸 正幸	演繹・帰納・アブダクション	910講義室
3	10	24	水	1	木戸 正幸	科学的説明の論理 1	910講義室
4	10	31	水	1	木戸 正幸	科学的説明の論理 2	910講義室
5	11	07	水	1	木戸 正幸	仮説演繹法 1	910講義室
6	11	14	水	1	木戸 正幸	仮説演繹法 2	910講義室
7	11	21	水	1	木戸 正幸	ゼンメルヴァイスの例	910講義室
8	11	28	水	1	木戸 正幸	仮説検定の考え方 1	910講義室
9	12	05	水	1	木戸 正幸	仮説検定の考え方 2	910講義室
10	12	12	水	1	木戸 正幸	仮説検定とベイズの定理	910講義室
11	12	19	水	1	木戸 正幸	ベイズの定理（事前確率・事後確率）	910講義室
12	01	09	水	1	木戸 正幸	蓋然性の論理	910講義室
13	01	16	水	1	木戸 正幸	必要条件と十分条件	910講義室
14	01	23	水	1	木戸 正幸	ロスマンのバイモデル	910講義室
	01	30	水	1	木戸 正幸	定期試験	603講義室

人類学 I

【教育目標】

社会や人間の生活についての文化人類学という考え方を様々な事例を通して紹介し、人間という存在の多様性と普遍性に関して考察する。人間の文化に関する多くの事例にふれることにより、文化の本質や多様性を理解できるようにする。

【学修目標】

文化の多様性を認識し、視野を広げる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通して日頃から異文化への興味を持つようにすること、自分の身近にある様々なもの、しくみ、心のありようなどを文化という視点から考えられるようにしておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を考察し、自分なりの考え方をまとめられるよう30分程度考察すること。

【評価】

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

【フィードバック】

- ・ 各回の授業前半で解説した概念や状況を、後半で映像資料を用いて個別により詳しく解説する。
- ・ 各学期の最終回の授業では、それまでに教えた内容について再度確認する。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

特になし

【使用する教室】

生涯教育研修センター1号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<人類学 I >

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	11	水	1	三木 誠	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	18	水	1	三木 誠	文化人類学概論(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
2	04	25	水	1	三木 誠	文化の多様性(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
3	05	02	水	1	三木 誠	文化の多様性(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
4	05	09	水	1	三木 誠	性別と社会(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
5	05	16	水	1	三木 誠	婚姻と家族(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
6	05	23	水	1	三木 誠	婚姻と家族(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
7	05	30	水	1	三木 誠	宗教と世界観(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
8	06	06	水	1	三木 誠	宗教と世界観(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
9	06	13	水	1	三木 誠	宗教と世界観(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
10	06	20	水	1	三木 誠	宗教と世界観(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
11	06	27	水	1	三木 誠	儀礼と祝祭(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
12	07	04	水	1	三木 誠	環境と文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
13	07	11	水	1	三木 誠	異文化と自文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
	07	18	水	1	三木 誠	定期試験	603講義室

人類学Ⅱ

【教育目標】

世界には、我々が生きている社会とは全く異なった価値観や行動様式を持つ民族社会が多数存在する。この授業では、世界各地の民族社会に関する知識を深め、そのような社会を成り立たせている固有の論理や変化の様相について考察する。

【学修目標】

文化の多様性に関する知識を深め、異文化を正当に評価できるようにする。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通して日頃から民族という社会的集団に興味を持つようにすること。自分の身近にある様々な文化要素が、異文化ないし異民族から見たらどのように意味づけられるのかといった点について、想像力を膨らませることができるようになっておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を理解し、自分なりの考え方をまとめられるように30分程度考察すること。

【評価】

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

【フィードバック】

- ・各回の授業前半で解説した概念や状況に関して、授業後半で映像資料を用いて個別により詳しく説明する。
- ・各学期の最終回の授業では、それまで教えた内容について再度確認する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

特になし

【使用する教室】

生涯教育研修センター1号館8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<人親子Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	1	三木 誠	民族に関する概説(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
2	10	17	水	1	三木 誠	民族と国家(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
3	10	24	水	1	三木 誠	民族と国家(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
4	10	31	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
5	11	07	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
6	11	14	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
7	11	21	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
8	11	28	水	1	三木 誠	観光と文化(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
9	12	05	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
10	12	12	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
11	12	19	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
12	01	09	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
13	01	16	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
14	01	23	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810講義室
	01	30	水	1	三木 誠	定期試験	603講義室

社会学 I

【教育目標】

社会学 I は「社会問題の社会学」とし、現代社会のさまざまな問題（家族、ジェンダー、セクシュアル・マイノリティ、少子高齢化、地域と医療・福祉問題）を学ぶ。また、そうした事象を扱いながら、社会的／社会的に事象を捉える視座を獲得することを目指す。

【学修目標】

「あたりまえ」を疑う、社会的視点を身につけることができる。
様々な社会問題と自分がいま／ここに生きていることを繋いで考えられるイマジネーション（＝社会的想像力）とは何かを理解できる。
現代の複雑な社会問題を理解・分析できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

本授業では、基本的に同一のトピックについて理論編とデータ／事例編で構成する。理論編をきちんと復習して理解した上で、データ／事例編の授業に臨むことが求められる（予習）。

また、各回の授業ではコメントを求めるが、コメントを提出して終わりにせず、そのトピックについて自分なりに思考を発展させていくことが求められる（復習）。

【 評 価 】

毎回のコメントの提出（30%）

平常点（授業態度等：20%）

定期試験（50%）

【フィードバック】

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし（事前に授業資料を適宜配布）

【推薦参考書】

- ・好井裕明、2002、『「あたりまえ」を疑う社会学』光文社新書
- ・宇都宮京子編、2009、『よくわかる社会学』ミネルヴァ書房

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

辻村 大生	客員講師		※講義終了後に対応	
-------	------	--	-----------	--

[授業日程]

<社会学 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	11	水	1	辻村 大生	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	18	水	1	辻村 大生	社会学とは何か	809講義室
2	04	25	水	1	辻村 大生	社会に対する理解-因果的理解と意味理解	809講義室
3	05	02	水	1	辻村 大生	家族の機能と役割	809講義室
4	05	09	水	1	辻村 大生	家族を「する」ということ	809講義室
5	05	16	水	1	辻村 大生	セックス/ジェンダー/セクシュアリティ	809講義室
6	05	23	水	1	辻村 大生	ジェンダーバイアス、セクシュアル・マイノリティ	809講義室
7	05	30	水	1	辻村 大生	少子化と社会	809講義室
8	06	06	水	1	辻村 大生	「子ども」とは何か	809講義室
9	06	13	水	1	辻村 大生	高齢化と社会	809講義室
10	06	20	水	1	辻村 大生	エイジズムと「古い」の観念	809講義室
11	06	27	水	1	辻村 大生	地域と社会問題	809講義室
12	07	04	水	1	辻村 大生	都市・農村と限界集落	809講義室
13	07	11	水	1	辻村 大生	地域社会と福祉・医療	809講義室
	07	18	水	1	辻村 大生	定期試験	603講義室

社会学Ⅱ

【教育目標】

社会学Ⅱは「医療と社会学」とし、社会学的な視点や理論を踏まえ、医療をめぐる様々な問題（組織・集団、医療にまつわるカテゴリーの社会的構築、コミュニケーション、公害・環境問題の被害、現代のテクノロジーと医療、「病」をめぐる社会的定義と社会運動、健康の社会的ネットワーク）について学習する。

【学修目標】

医療をめぐる様々な論点について、社会学的な理論や視点から捉えることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

本授業は、おおよそ1つのテーマについて、1)社会学理論や視点の概要、2)そうした理論や視点から捉える、医療・福祉をめぐる問題へのアプローチ、をセットにして授業を進めていきます。1)を用いながら、その他どのような事象やケースを理解・分析できるのか、復習として発展的に考えてみてください。

【評価】

毎回のコメントの提出（30%）

平常点（授業態度等：20%）

定期試験（50%）

【フィードバック】

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

【教科書】

特になし（授業資料を適宜配布）

【推薦参考書】

- ・好井裕明、2014、『違和感から始まる社会学』光文社新書
- ・中川輝彦・黒田浩一郎編、2010、『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房

【使用する教室】

生涯教育研修センター1号館8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<社会学Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	1	辻村 大生	医療を社会学するということ	809講義室
2	10	17	水	1	辻村 大生	集団論・組織論	809講義室
3	10	24	水	1	辻村 大生	医療をめぐる組織・集団	809講義室
4	10	31	水	1	辻村 大生	社会的構築主義	809講義室
5	11	07	水	1	辻村 大生	生と死の社会的構築	809講義室
6	11	14	水	1	辻村 大生	会話分析	809講義室
7	11	21	水	1	辻村 大生	医療・福祉におけるコミュニケーション	809講義室
8	11	28	水	1	辻村 大生	環境社会学の理論	809講義室
9	12	05	水	1	辻村 大生	公害・環境問題と社会的障害	809講義室
10	12	12	水	1	辻村 大生	リスク社会論	809講義室
11	12	19	水	1	辻村 大生	テクノロジーと医療問題	809講義室
12	01	09	水	1	辻村 大生	社会運動論	809講義室
13	01	16	水	1	辻村 大生	「病」をめぐる社会運動	809講義室
14	01	23	水	1	辻村 大生	社会関係資本論	809講義室
	01	30	水	1	辻村 大生	定期試験	603講義室

歴史学 I

【教育目標】

歴史学 I・II では大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学 I では近現代の世界に大きな影響を与えたヨーロッパの歴史を取り上げ、特に16～19世紀のヨーロッパ史を主題とする。講義はまず講義の主題に入る前提として現在の歴史研究の発展についてとヨーロッパの文化的な特徴、古代と中世のヨーロッパ史について講義したのち、16～19世紀のヨーロッパ史について学ぶ。この講義で対象となる時期に起きた「宗教改革」「絶対主義」「フランス革命」「産業革命」やこの時期に生まれた思想やイデオロギーである「啓蒙思想」「ナショナリズム」「社会主義・共産主義」などについてその誕生の背景や社会に与えた影響について理解できるようになるのが目標である。

【学修目標】

講義でとりあげた「フランス革命」などといった事件の名称の意味が理解できるようになる。
講義でとりあげた「啓蒙思想」などの思想、イデオロギーの名称の意味が理解できるようになる。
講義で取り上げた19世紀までのヨーロッパ史の流れが理解できるようになる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

【 評 価 】

授業の最後に行う授業に関する内容を問う課題と定期試験で評価する。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求められることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

講義で配布する資料を用いる。

【推薦参考書】

各講義で紹介する。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 8階810講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

磯村 尚弘	客員講師	※講義終了後に対応
-------	------	-----------

[授業日程]

<歴史学 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	12	木	1	磯村 尚弘	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	19	木	1	磯村 尚弘	ヨーロッパにおける「文化圏」について(1) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 宗教、宗派の違いから生まれた「文化圏」について講義する。 この講義ではキリスト教の宗派の違いによって生まれた文化圏について講義する。	810講義室
2	04	26	木	1	磯村 尚弘	ヨーロッパにおける「文化圏」について(2) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 宗教、宗派の違いから生まれた「文化圏」について講義する。 この講義では「イスラーム」の影響で生まれた文化圏について講義する。 さらにヨーロッパにおける「ユダヤ教」の影響についても講義する。	810講義室
3	05	10	木	1	磯村 尚弘	古代ギリシア・ローマ史 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● ヨーロッパの文化に影響を与えた古代ギリシア、ローマの歴史について講義する。	810講義室
4	05	17	木	1	磯村 尚弘	ヨーロッパ世界の誕生と形成 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 古代から中世にかけてのヨーロッパ世界の成立について講義する。4世紀以降行われたゲルマン、スラヴ系諸民族のヨーロッパへの移住と社会の形成から中世における封建社会の成立までの経過を講義する。	810講義室
5	05	24	木	1	磯村 尚弘	ルネサンス A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 近代ヨーロッパ文化発展のきっかけとなったルネサンスについてその歴史的波形について講義する。	810講義室
6	05	31	木	1	磯村 尚弘	宗教改革 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● キリスト教の宗派である「プロテスタント諸派」の誕生や、キリスト教とヨーロッパ社会との関係に決定的な変化を与えるきっかけともなった宗教改革について講義する。	810講義室
7	06	07	木	1	磯村 尚弘	絶対主義(1) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 中世封建社会から近代資本主義社会への過渡期にあらわれた中央集権的な国家体制である絶対主義について、政治権力の面での特徴と経済や社会に与えた影響について講義する。 第8回講義では西欧諸国での絶対主義体制について講義する。	810講義室
8	06	14	木	1	磯村 尚弘	絶対主義(2)とオスマン帝国の発展 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 第8回講義に引き続き絶対主義の政治権力面での特徴と経済や社会に与えた影響についてみていく。第9回講義ではロシアの絶対主義の特徴とロシア社会に大きな影響をもたらした農奴制について講義する。さらに15世紀以降中東から中東欧地域に急速に勢力を拡大させたオスマン帝国の国家体制の特徴についても講義する。	810講義室
9	06	21	木	1	磯村 尚弘	絶対主義(3) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 第8回講義からの続きで、絶対主義体制下で発展し、フランス革命等に大きな影響を与えた啓蒙思想について講義する。	810講義室
10	06	28	木	1	磯村 尚弘	アメリカの独立とフランス革命 A-9-1) 生涯学習への準備	810講義室

						<p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●アメリカの独立とフランス革命、フランス革命後の社会の混乱とナポレオン体制、そしてナポレオン体制後誕生したウィーン体制について講義する。</p>	
11	07	05	木	1	磯村 尚弘	<p>1848年の革命とナショナリズムの誕生</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●1848年にヨーロッパ諸国でおきた革命とその影響について講義する。さらにこの時期に現在の中東欧でおきた「民族再生運動」から誕生したナショナリズムについて講義する。</p>	810講義室
12	07	12	木	1	磯村 尚弘	<p>オスマン帝国の衰退とバルカン諸国の独立、イタリア、ドイツにおける統一国家の誕生</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●オスマン帝国の衰退とそれをきっかけに独立したバルカン諸国の建国後の状況について講義する。さらにナショナリズムの影響を受けて統一したイタリアとドイツについて講義する。</p>	810講義室
13	07	19	木	1	磯村 尚弘	<p>19世紀における産業革命と資本主義経済の発展、社会主義、共産主義</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●19世紀以降急速に発展した資本主義社会と、同時期に誕生し当時の知識人らに多くの支持を得た社会主義、共産主義思想について講義する。</p>	810講義室
	07	26	木	1	磯村 尚弘	定期試験	603講義室

歴史学Ⅱ

[教育目標]

歴史学Ⅰ・Ⅱでは大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学Ⅱでは20世紀以降のヨーロッパを中心とした世界史を扱う。この講義で扱う「第一次世界大戦」「全体主義」「第二次世界大戦」「冷戦」といった出来事がどのようなものかを時代の流れに沿って理解できるようになるのが目標である。

[学修目標]

講義で取り上げた「第一次世界大戦」などといった出来事を理解できるようになる。
講義で取り上げた「全体主義」「国家社会主義」などといったイデオロギーについて理解できるようになる。
講義内容を時代に流れに沿って理解できるようになる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

[評価]

講義の最後に行う、講義の内容を問う課題と定期試験で評価する。

[フィードバック]

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

講義で配布する資料を用いる。

[推薦参考書]

各講義で紹介する。

[使用する教室]

生涯教育研修センター1号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
磯村 尚弘 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<歴史Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	04	木	1	磯村 尚弘	バルカン戦争と第一次世界大戦 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●20世紀初頭の帝国主義の世界を概観し、バルカン半島で起きたバルカン戦争と第一次世界大戦について講義する。	810講義室
2	10	11	木	1	磯村 尚弘	ロシア革命とヴェルサイユ体制 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●20世紀初頭のロシア帝国の状況について講義したのち、1917年にロシアで起きた第二次ロシア革命について講義する。またヴェルサイユ体制によってヨーロッパの状況がいかに変化したかを講義する。	810講義室
3	10	18	木	1	磯村 尚弘	1920～30年代のヨーロッパ(1)ソ連の建国とスターリン体制 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●第二次ロシア革命後誕生した社会主義国家であるソヴィエト連邦の建国後の国家建設と諸問題について講義する。	810講義室
4	10	25	木	1	磯村 尚弘	1920～30年代のヨーロッパ(2)「大戦間期」のヨーロッパ諸国 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●「大戦間期」のヨーロッパ諸国の政治、経済について講義する。そしてイタリアやドイツ、日本などでの「ファシズム」の台頭やドイツやソ連で誕生した「全体主義」とよばれた国家体制について講義する。	810講義室
5	11	01	木	1	磯村 尚弘	第二次世界大戦(1) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●ヨーロッパでの第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。さらにドイツやその同盟国によって行われた「ホロコースト」とよばれるユダヤ民族の虐殺やその他の諸民族への迫害についても講義する。	810講義室
6	11	08	木	1	磯村 尚弘	第二次世界大戦(2) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●日本及びアジア諸国での第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。特に日本については明治以降行われた朝鮮の植民地支配、満州事変、日中戦争から第二次世界大戦までの経過と大戦中の状況について講義する。	810講義室
7	11	15	木	1	磯村 尚弘	第二次世界大戦後の世界(1)西ヨーロッパにおける戦後復興と冷戦 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●1945～1970年代までの西ヨーロッパにおける戦後復興と冷戦について講義する。冷戦の影響のもとで戦後復興がどのように行われたかについてみていく。	810講義室
8	11	22	木	1	磯村 尚弘	第二次世界大戦後の世界(2) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●1945～1970年代までのソ連及び東ヨーロッパ諸国の戦後復興と冷戦の影響についてみていく。冷戦下で行われた各国の戦後復興と、スターリン死去以降のソ連及び東ヨーロッパ諸国の変化について講義する。	810講義室
9	11	29	木	1	磯村 尚弘	第二次世界大戦後の世界(3)アジア諸国における戦後復興と冷戦 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●1945～70年代までの日本及びアジア諸国における戦後復興と冷戦について講義する。 日本については戦後復興の状況とアメリカとの同盟関係の構築について、朝鮮半島については南北に分割占領された戦後の状況から朝鮮戦争、そして朝鮮戦争後の復興について、そして中国については45年から49年にかけての内戦と中華人民共和国の建国、そして毛沢東の指導による国家建設とその弊害についてみていく。	810講義室
10	12	06	木	1	磯村 尚弘	冷戦の終結と革命 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●1980年代にソ連で行われた「ペレストロイカ」と、その影響をうけて1980年代末に東ヨーロッパ諸国で起きた革命について講義する。さらに冷戦が終結した経過について講義する。	810講義室
11	12	13	木	1	磯村 尚弘	革命後のヨーロッパ諸国	810講義室

						<p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●1990年代以降の旧ソ連及びヨーロッパ諸国について、革命後の社会の混乱と民族対立の状況について講義する。特に旧ユーゴスラヴィアでおきた内線について講義する。</p>	
12	12	20	木	1	磯村 尚弘	<p>冷戦終結後のアジア諸国</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●1990年代以降の日本及びアジア諸国の変化について講義する。日本についてはバブル経済破綻後の停滞について、朝鮮半島については韓国の民主化と北朝鮮の体制について、そして中国については改革開放経済による発展とその諸問題について講義する。</p>	810講義室
13	01	10	木	1	磯村 尚弘	<p>中央アジア、西アジアの20世紀(1)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●20世紀初頭から第二次世界大戦前までの中央アジア、西アジアの歴史について講義する。この地域がヨーロッパの帝国主義の影響をいかに受けたかについてみていく。</p>	810講義室
14	01	17	木	1	磯村 尚弘	<p>中央アジア、西アジアの20世紀(2)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>●第二次世界大戦から現在に至る中央アジア、西アジアの歴史について講義する。とくにパレスチナ問題や中東戦争、そしてイスラム原理主義の拡大についてみていく。</p>	810講義室
	01	24	木	1	磯村 尚弘	定期試験	603講義室

法学 I

【教育目標】

1. 法とは何か

法が社会において、どのように機能しているのか、我々はその中でどのような関係に位置付けられているのかを把握し、法を学ぶ上での感覚を養います。

2. 法の体系

法がどのような体系に分類され、利害関係者（ステークホルダー）との間の関係性と基本的な知識を学びます。

3. 法律行為の主体

民法を中心に、法律行為の主体となる「人」とはどのようなものか、ステークホルダーの間では、どのような注意が必要かを学びます。

4. 債権債務

債権の発生原因として契約、不法行為の基本的な知識を学びます。

5. 法的思考によるリスクの回避

上記で学んだことを踏まえ、社会において、自分と利害関係者との関係性を意識しながら、具体的にどのように思考することでリスクの回避ができるのかを学びます。

【学修目標】

法の体系とステークホルダーとの関係性の理解

法人の運営、契約の基礎の学習

法的思考の体得

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

復習として、講義時に配布した資料を確認し、理解を深めること。約30分程度。

【評価】

出席、レポート（2回）の提出状況、定期試験の得点に基づき評価します。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。

【教科書】

伊藤正己・加藤一郎編「現代法学入門〔第4版〕」（有斐閣双書）

【推薦参考書】

講義の中で適宜に紹介します。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 9階910講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<本部・法務室>

担当者名	曜日	時間	場所
六渡 昌平 室長	木曜	17:00～	生涯教育研修センター 1号館 5階事務部

[授業日程]

<法学 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	12	木	1	六渡 昌平	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	19	木	1	六渡 昌平	法とは何か B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法の社会における位置付け、機能を学び、法を学ぶ基礎力を養う。	910講義室
2	04	26	木	1	六渡 昌平	法の適用・体系 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法の適用と利害関係者との関わりを理解する。	910講義室
3	05	10	木	1	六渡 昌平	法の適用対象 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●制限能力者制度、法人が理解できる。	910講義室
4	05	17	木	1	六渡 昌平	意思表示 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●法律行為の要素である意思表示が理解できる。	910講義室
5	05	24	木	1	六渡 昌平	物権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910講義室
6	05	31	木	1	六渡 昌平	物権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910講義室
7	06	07	木	1	六渡 昌平	債権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の特徴が理解できる。	910講義室
8	06	14	木	1	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の発生原因として重要な契約が理解できる。	910講義室
9	06	21	木	1	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約の当事者、目的を特定できる。	910講義室
10	06	28	木	1	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約による権利の得喪、リスクを予測できる。	910講義室
11	07	05	木	1	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約における優位性に基づき条項を選択できる。	910講義室
12	07	12	木	1	六渡 昌平	事務管理・不当利得・不法行為 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●事務管理、不当利得、不法行為の特徴が理解できる。	910講義室
13	07	19	木	1	六渡 昌平	契約 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。	910講義室

						● 自ら作成した契約が自分の思いを反映したものを確認する。	
07	26	木	1	六渡 昌平	定期試験		603講義室

法学Ⅱ

【教育目標】

医療従事者（医師、看護師、療法士、検査技師等）及び医療機関（病院、診療所等）には、医療行為を実施するにあたり、様々な法的規制が及んでいる。

患者を診察し、治療方針を説明し、患者の同意を得た上で治療方針を決定する。その上で、検査、処置、手術等の医療行為を実施し、医療行為の対価としての診療報酬を患者から支払ってもらう。

当然のような一連の流れではあるが、全ての行為に伴う患者・医療従事者・医療機関の権利及び義務には法的な裏付け・根拠がある。また、法律は、医師及び医療機関に対し、良質な医療の提供及び医療安全の確保等のため最低限度の規制を行うものである。

患者の権利・義務、医師の権利・義務につき、法的な裏付け・根拠を理解することは、医師が患者に対し、良質かつ安全な医療を提供する上で重要である。

2015年からは医療事故調査制度が開始され、医療事故に対する国民の関心も高まっており、医療安全に関する医師及び医療機関に課せられている法的義務を理解する必要性は高い。

法学Ⅱでは、医師、医療機関と特にかかわりの深い法領域に特化して、その内容、問題点等を学びます。

【学修目標】

下記の項目につき、医療と法の関わりについて理解を深める。条文や理論の暗記ではなく、具体的事例を通じ、医師として特に注意する場面やその理由を理解することを重視する。

- ① 医療と法律の関わり（総論）
- ② 医療情報の保護と利用
- ③ 医療安全の確保
- ④ 患者と医師の法律関係
- ⑤ 医師の義務
- ⑥ 患者の義務
- ⑦ 医療提供体制について
- ⑧ 医療法人について
- ⑨ その他の諸問題

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

学習テーマについて各自十分学習しておくこと。事前に配布する事例・設問について10分程度検討することが望ましい。

【評価】

出席及びレポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価する。

- (1)知識：知識量及び理解度の両面をレポート及び定期試験で判定する。
- (2)講義及び実習態度：医学生として常識ある受講態度であったかを評価する。"

【フィードバック】

レポート評価後、採点の上で返却する。講義内で、レポートの評価を行うので復習すること。定期試験結果について、疑義のある場合や解説を希望する場合は対応する。

【教科書】

（未定）※教科書使用の場合、後日掲示します。

【推薦参考書】

「実践講座 実践医療法－医療の法システム－」 著者 山口 悟（発行所 株式会社信山社）

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
木村 環樹 客員准教授		※講義終了後に対応	

<藤田保健衛生大学病院>

担当者名	曜日	時間	場所
米山 健太 病院長付補佐	水曜	13:00～15:00	910講義室

[授業日程]

<法学Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	04	木	1	木村 環樹	医療と法律の関わり（総論）	910講義室
2	10	11	木	1	米山 健太	医療情報の保護と利用	910講義室
3	10	18	木	1	米山 健太	医療情報の保護と利用	910講義室
4	10	25	木	1	米山 健太	医療安全の確保	910講義室
5	11	01	木	1	木村 環樹	医療安全の確保	910講義室
6	11	08	木	1	米山 健太	患者と医師の法律関係	910講義室
7	11	15	木	1	米山 健太	患者と医師の法律関係	910講義室
8	11	22	木	1	米山 健太	医師の義務	910講義室
9	11	29	木	1	米山 健太	医師の義務	910講義室
10	12	06	木	1	木村 環樹	患者の義務	910講義室
11	12	13	木	1	米山 健太	医療機関に対する法的規制	910講義室
12	12	20	木	1	米山 健太	医療計画について	910講義室
13	01	10	木	1	木村 環樹	医療法人について	910講義室
14	01	17	木	1	米山 健太	医療法人について 本講義の総復習	910講義室
	01	24	木	1	米山 健太	定期試験	603講義室

経済学 I

[教育目標]

日本の医療は、国民皆保険制度を採用しており、世界最高水準の平均寿命や高い保険医療水準を実現してきた。しかしながら、日本経済が停滞しているにもかかわらず、高齢化が進む中で、高齢者医療費を中心とした医療費が大幅に増加し、対国民所得比は9%を超える状況となっている。近年、それらに対応するため様々な医療制度改革が行われている。今後、「将来にわたり持続可能な医療保険制度」を構築することが大きな課題となっている。

本講義は、医療経済、社会政策の観点から日本の医療組織、医療・介護保険制度等の仕組みを学ぶとともに、医療の現状と課題（2025年問題に基づく地域包括ケア等）について認識することを目的としている。

なお、経済学は他の社会科学よりもその用語・手法を理解していないと内容の解釈が難しい。これらの用語や手法に関しても解説する。

[学修目標]

医療に関わる諸制度の仕組みと現状を理解する。

医療供給体制をめぐる現状と課題を理解する。
先進諸外国の医療制度の現状と問題点を認識する。
法人としての医療組織の仕組みと現状を理解する。
医療における知的所有権の課題を理解する。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

事前に指示された資料を熟読し、講義に出席して下さい。また、講義終了後、ノートにまとめること。約30分程度を目安とする。

[評 価]

「授業中の態度」（30%）、「レポートなどの提出物」（10%）、「定期試験」（60%）などを含めて総合的に判断する。

[フィードバック]

- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

「入門 医療経営情報学」 山内一信他編著（同友館）

[推薦参考書]

「入門 医療経済学」 真野俊樹著（中公新書）
「スティグリッツ入門経済学」 J・Eスティグリッツ著（東洋経済）
「経済学的思考センス」 大竹文雄著（中公新書）

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医療科学部・医療経営情報学科 医療経営学>

担当者名	曜日	時間	場所
村田 幸則 助教	木曜、金曜	16:30～17:30	医療科学部9号館5階510

[授業日程]

<経済学 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	12	木	1	村田 幸則	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	19	木	1	村田 幸則	社会保障制度を俯瞰的に理解する。	809講義室
2	04	26	木	1	村田 幸則	医療保険制度の仕組みを理解する。	809講義室
3	05	10	木	1	村田 幸則	診療報酬制度の仕組みを理解する。	809講義室
4	05	17	木	1	村田 幸則	国民医療費の内容を理解する。	809講義室
5	05	24	木	1	村田 幸則	日本と諸外国の医療制度の違いを理解する。	809講義室
6	05	31	木	1	村田 幸則	高齢者医療制度を理解する。	809講義室
7	06	07	木	1	村田 幸則	介護保険制度を理解する。	809講義室
8	06	14	木	1	村田 幸則	医療法人制度と制度改革を理解する。	809講義室
9	06	21	木	1	村田 幸則	医療と知的所有権の関係を理解する。	809講義室
10	06	28	木	1	村田 幸則	医療組織の人的資源管理を理解する。	809講義室
11	07	05	木	1	村田 幸則	企業会計と病院会計の違いを理解する。	809講義室
12	07	12	木	1	村田 幸則	病院の事業継続計画を立案する。	809講義室
13	07	19	木	1	村田 幸則	医療を取り巻く環境の変化を理解する。	809講義室
	07	26	木	1	村田 幸則	定期試験	603講義室

経済学Ⅱ

【教育目標】

我が国の医療は社会保険方式による財源を元にして、公的医療保険制度によって運営され、世界でもトップクラスの良質で安価なサービスを提供している。しかし、経済成長が鈍化し、国の財政が逼迫している今日、急増する高齢者医療費をより効率的に運用するための改革が迫られている。この授業は、これら医療保険制度が抱える環境変化に対応すべく諸問題について、経済学的な分析方法を応用しながらその解決の在り方を考えていく。内容としては、医療サービスの特徴である不確実性、外部性、情報の非対称性等、市場メカニズムによる一般経済と異なる理論を、基本的な経済学の分析方法と同時並行的に学びながら、それらを比較することから理解を深めていく。将来、医師を目指す学生にとって、より安全、公平で、かつ効率的な医療供給体制を発展、維持するために、これら医療制度と経済知識は不可欠である。よって目標は、医薬品価格や診療報酬の在り方を含め、パラドックスに溢れた医療現場のなかで、ある程度、あるべき方向について自分の考え方を示すことができるようになることにおく。

【学修目標】

基本的な経済理論が説明できる。
医療経済の特殊性が説明できる。
経済的理論の現実社会への応用ができる。
将来のあるべき医療経済体制について自分の意見が言える。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

毎回授業前にシラバスに示された教科書の範囲を30分以上学習し、授業後は講義ノートと教科書の重点項目について30分以上復習すること。

【評価】

授業内のディスカッション内容（20%）、筆記式の期末試験（80%）の総合評価とする。

【フィードバック】

練習テスト後に解答および解説を示す。

【教科書】

『入門 医療経済学 「いのち」と効率の両立を求めて』 真野俊樹著（中公新書）

【推薦参考書】

『医療経済学講義』 橋本英樹編（東京大学出版会）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 8階809講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医療科学部・医療経営情報学科 医療経営学>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

米本 倉基	教授	火曜～木曜	12:10～13:00	医療科学部8号館5階510
-------	----	-------	-------------	---------------

[授業日程]

<経済学Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	04	木	1	米本 倉基	イントロダクション 医療と経済	809講義室
2	10	11	木	1	米本 倉基	市場の失敗と医療	809講義室
3	10	18	木	1	米本 倉基	価格、独占と寡占理論と医療	809講義室
4	10	25	木	1	米本 倉基	公平と効率、費用対効果分析	809講義室
5	11	01	木	1	米本 倉基	経済学の歴史	809講義室
6	11	08	木	1	米本 倉基	厚生経済学	809講義室
7	11	15	木	1	米本 倉基	医療という特殊な財の性質について	809講義室
8	11	22	木	1	米本 倉基	医療情報の経済学	809講義室
9	11	29	木	1	米本 倉基	リスクの経済学	809講義室
10	12	06	木	1	米本 倉基	経済成長と社会保障の問題	809講義室
11	12	13	木	1	米本 倉基	医療の技術と質の評価	809講義室
12	12	20	木	1	米本 倉基	医療のプレイヤーとその行動1 患者と医療機関	809講義室
13	01	10	木	1	米本 倉基	医療のプレイヤーとその行動2 保険者と行政	809講義室
14	01	17	木	1	米本 倉基	まとめ 医療経済の展望	809講義室
	01	24	木	1	米本 倉基	定期試験	603講義室

数学

[教育目標]

「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の様々な分野の根底にある学問が数学であり、数学は、現象を正確に記述し、正確に伝えるために極めて有効である。

準備教育モデル・コア・カリキュラム（平成13年度版）では「医学・歯学教育における教養教育の意義」として「医師、歯科医師又は研究者となる前に人としての素養を培っていくもの」とされており、この教育内容ガイドラインに挙げられた各項目を習得していく際、自然科学の様々な分野の根底にある学問としての数学の習得は重要である。

また、医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいてA～Eで分類された各項目において、数学的知識、考え方をを用いる場面は少なくなく、医師として求められる基本的な資質としても、数学の習得は重要といえる。

以上のような観点から、医師として、また教養として必要な数学の知識、考え方を習得することを目標とし、本科目では、数学の中でも、大学初年時に学ぶべき基本となる「線形代数学」、「微積分学」および「確率統計学」の基礎を中心に学ぶ。

[学修目標]

線形代数学の基本概念を理解し、演算ができる。

微積分学の基本概念を理解し、演算ができる。

確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ。ただし、講義の中で演習の時間あり。

[準備学習（予習・復習等）]

数学の理解のためには、概念について深く考えること、自ら手を動かして演算してみることが重要となる。このようなことの繰り返しを通じて、少しずつ理解が深まっていくものである。そのため、講義の前に教科書を一読すること、講義の後に理解の確認と関連する例題を解いてみるのが大事である。それぞれ30分以上を目安とする。

[評 価]

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-8）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I-4, 5, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

[フィードバック]

- ・ レポートや課題の解答例を提示する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[教科書]

「線形代数入門 基礎と演習」吉本武史・豊泉正男（学術図書）

「第2版 微積分学 思想・方法・応用」吉本武史（学術図書）

「新版 基本統計学」本多勝・石田崇（産業図書）

[推薦参考書]

「線型代数学」佐武一郎（裳華房）

「線型代数入門講義－現代数学の《技法》と《心》－」長岡亮介（東京図書）

「解析概論」高木貞治（岩波書店）

「微分積分講義」南和彦（裳華房）

「確率統計学」須子統太・鈴木誠・浮田善文・小林学・後藤正幸（オーム社）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜日	12:30~13:15	生涯教育研修センター 1号館9階906

【授業日程】

<数学>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	09	月	3	鏡 裕行	線形代数学(1) ベクトルと行列、行列の積と逆行列 ● ベクトルの基本概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の基本概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の積の定義を理解し、演算ができる。 ● 逆行列の意味を理解し、演算ができる。	1001講義室
2	04	16	月	3	鏡 裕行	線形代数学(2) 行列式 ● 行列式の意味を理解し、演算ができる。 ● 余因子の概念を理解し、演算ができる。	1001講義室
3	04	23	月	3	鏡 裕行	線形代数学(3) 連立1次方程式と行列の階数 ● 行列を用いた連立1次方程式の解法を理解し、演算ができる。 ● 階数の概念を理解できる。	1001講義室
4	05	07	月	3	鏡 裕行	線形代数学(4) 固有値と固有ベクトル ● 固有値と固有ベクトルの概念を理解し、演算ができる。 ● 行列の対角化を理解し、演算ができる。	1001講義室
5	05	14	月	3	鏡 裕行	微分積分学(1) 数と集合、数列、関数と連続性 ● 数、集合、数列、関数、連続性の概念を理解できる。	1001講義室
6	05	21	月	3	鏡 裕行	微分積分学(2) 1変数関数の微分、テーラー展開 ● 1変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● テーラー展開を理解し、演算ができる。	1001講義室
7	05	28	月	3	鏡 裕行	微分積分学(3) 1変数関数の積分 ● 1変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001講義室
8	06	04	月	3	鏡 裕行	微分積分学(4) 多変数関数の微分積分 ● 多変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● 多変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001講義室
9	06	18	月	3	鏡 裕行	確率統計学(1) 確率変数と確率分布 B-1-1) 統計の基礎 ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 事象と標本空間の定義を説明できる。 ● 確率の概念と加法定理を説明できる。 ● 離散型確率変数と連続型確率変数を定義し、それらの分布を説明できる。 ● 確率変数の期待値と分散・標準偏差の定義と性質を説明できる。 ● 統計量と標本分布を説明できる。	1001講義室
10	06	25	月	3	鏡 裕行	確率統計学(2) 標本平均の分布と中心極限定理 B-1-1) 統計の基礎 ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 正規母集団からの標本平均の分布を計算できる。 ● 中心極限定理と標本平均の正規近似を説明できる。	1001講義室
11	07	02	月	3	鏡 裕行	確率統計学(3) 統計的推定 B-1-1) 統計の基礎 ○ 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。 ● 正規分布でない母集団における平均の信頼区間を計算できる。	1001講義室
12	07	09	月	3	鏡 裕行	確率統計学(4) 仮説検定 1	1001講義室

						<p>B-1-1) 統計の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母平均を検定できる。 	
13	07	23	月	3	鏡 裕行	<p>確率統計学(5) 仮説検定2</p> <p>B-1-1) 統計の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母集団の分散と標本分散の違いを説明でき、正規性を検定できる。 ● カイ2乗検定法を説明できる。 	1001講義室
14	07	30	月	3	鏡 裕行	<p>確率統計学(6) 条件付確率とベイズの定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条件付確率と乗法定理を説明できる。 ● ベイズの定理を理解し、演算ができる。 	1001講義室

医学教育入門

【教育目標】

学問や科学技術の進歩と社会の変化に対応した生涯学習者としての態度を理解することを目標とします。生涯学習とは、学校において行われる学習のみならず、地域・社会で行われている学習をも含んだ包括的な概念です。科学技術の発展に伴い、医学の情報量も飛躍的に増加しています。医学部在学中に学んだ知識を基にして、卒業後も積極的に自己学習を行う必要があります。大学における学習方法は高校までの学習方法とは異なること、大学卒業後も自分で発見した課題を自己学習によって解決するための能力が必要とされることを理解する必要があります。

【学修目標】

医学教育の仕組みを理解することができる。
自分の将来像を見据えてキャリア・デザインを考えることができる。
レポートの書き方、文献検索方法など、大学生にとり不可欠な学習方法を実践できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義、演習

【準備学習（予習・復習等）】

疑問に思ったことは質問し、分からないまま放置しないこと。また、事前課題が出された場合は、15分程度を目安に取り組むこと。講義中の指示をしっかりと聞き守ること。

【 評 価 】

（卒業コンピテンシ I-5、Ⅲ-1、V-1, 2, 3）、パフォーマンス・レベルD
レポートとポートフォリオを評価する。

【フィードバック】

ポートフォリオとレポートについて、評価して返却する。

【教科書】

なし

【推薦参考書】

なし

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館
10階1001講義室
12階IT学習室、
8階809・810講義室
6階602講義室

【実習場所】

8階809・810講義室

[コーディネーター]

中島 昭 教授 (生理化学)

[担当教員・オフィスアワー]

<生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
角川 裕造 准教授	月曜～金曜	16:00～18:30	生涯教育研修センター 1号館7階703

<生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階803

<物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	生涯教育研修センター 1号館 9階903

<健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜日～金曜日	12:30～13:20, 17:10～	生涯教育研修センター 1号館 8階807

<臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 准教授	月曜日～木曜日	12:40～13:10	生涯教育研修センター 1号館 9階907

<臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 眞嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	生涯教育研修センター 1号館10階1007

<医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	生涯教育研修センター 1号館14階1402

<生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 孝典 講師	月曜日～木曜日	12:30～13:20 17:00～19:00	医学部 1号館 6階605

<薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜日～金曜日	12:30～13:20	医学部 1号館 5階505

<小児科学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉川 哲史 教授	月曜日～金曜日	9:00～17:00	小児科学医局 ※医局秘書に取次ぎを依頼すること

<腎泌尿器外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 ひと美 教授	月曜日～土曜日	9:30～17:00	腎泌尿器外科学医局、又は講義終了後に対応

<耳鼻咽喉科学Ⅰ>

担当者名	曜日	時間	場所
岩田 義弘 講師	木曜日	15:00～17:00	病院外来棟6階 耳鼻科医局

<地域医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 慎 教授	月曜日・水曜日・金曜日	12:00～13:00	生涯教育研修センター1号館10階1006

<学事部・図書館事務室>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 志保 司書		※講義終了後に対応	
湯川 望 司書		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<医学教育入門A>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	09	月	1	中島 昭	カリキュラム概論 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。	1001講義室
2	04	09	月	4	佐々木 ひと美	女性医師のキャリアデザイン A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
3	04	16	月	4	石原 慎	臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
4	04	19	木	6	吉川 哲史	研修医の生活 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	1001講義室
5	04	20	金	6	近藤 一直	研究者としての道	1001講義室

						<p>A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。</p>	
6	04	23	月	4	角川 裕造 中島 昭	<p>基礎医学展望：生物学と生理学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。</p> <p>● 基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。</p>	1001講義室
7	04	27	金	6	鴨下 淳一 岩田 義弘	<p>臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ● 臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。</p>	1001講義室
8	05	18	金	2	中島 昭 後藤 和恵 石原 慎	<p>座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。</p> <p>● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。</p>	809講義室 810講義室
9	05	18	金	3			
10	06	01	金	3	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	<p>PBLの説明と実践(1) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。</p>	602講義室 13F SGL室
11	06	15	金	1	中島 志保 湯川 望	<p>図書館の利用と文献検索方法 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。</p>	1201 IT学 習室
12	06	15	金	3	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	<p>PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。</p> <p>● 藤田式PBLを理解できる。</p>	602講義室 13F SGL室
13	06	29	金	2	中島 昭 後藤 和恵	<p>グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。</p>	809講義室 810講義室
14	06	29	金	3			

<医学教育入門B>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	09	月	1	中島 昭	<p>カリキュラム概論 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。</p>	1001講義室
2	04	09	月	4	佐々木 ひと美	<p>女性医師のキャリアデザイン A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。</p>	1001講義室
3	04	16	月	4	石原 慎	<p>臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療</p>	1001講義室

										<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。 	
4	04	19	木	6	吉川 哲史	研修医の生活 A-5-1) 患者中心のチーム医療 <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。 			1001講義室		
5	04	20	金	6	近藤 一直	研究者としての道 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。 			1001講義室		
6	04	23	月	4	角川 裕造 中島 昭	基礎医学展望：生物学と生理学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ● 基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。 			1001講義室		
7	04	27	金	6	鴨下 淳一 岩田 義弘	臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● 耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ● 臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。 			1001講義室		
8	05	11	金	3	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(1) A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式 P B L を理解できる。 			602講義室 13F SGL室		
9	05	25	金	3	若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典	PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式 P B L を理解できる。 			602講義室 13F SGL室		
10	05	25	金	5	中島 昭 後藤 和恵 石原 慎	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。 			809講義室 810講義室		
11	05	25	金	6							
12	06	08	金	2	中島 志保 湯川 望	図書館の利用と文献検索方法 A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。 			1201 IT学 習室		
13	06	22	金	2	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。 			809講義室 810講義室		
14	06	22	金	3							

人の行動と心理 I

[教育目標]

本講義は大きく前半と後半に分かれる。前半では心理学の基礎的な知識を学ぶ。心理学は生体が示す特定の行動が、どういう条件で発現したり、抑制されたりするかを実証データより明らかにし、その分析から行動を支えている内的過程（こころ）のメカニズムを推論していく。ここでは、心理学で明らかにされてきた内的過程について、医師として最低限必要だと思われるテーマを取り上げて概説する。

後半では良好な医師-患者関係を築くために必要な知識を学ぶ。医師は診断基準に従って患者を分類し、その診断名に応じた適切な治療を施す。その際、良好な医師-患者関係が築かれているならば、こうした医療行為は患者と協働しながら、より円滑に、より有効なものとなるだろう。さらに、患者が医師を信頼し、温かく支えられていると実感するなら、その関係性自体が患者への援助となるだろう。ここでは、医療場面で見られる特殊な関係性について理解し、医師-患者関係を良好にするコミュニケーションスキルについて学ぶ。

[学修目標]

心理学の基礎的な知識について学ぶ。

医師-患者関係の特徴について理解する。

良好な医師-患者関係を実現するコミュニケーションスキルについて学ぶ。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

講義で学んだところは、配布資料を読み返したり、引用文献に目を通したりをすることで理解を深めること。約10～20分程度を目安とする。分からないところは自身で調べるか、講義後の時間を使って質問すること。

[評 価]

知識；(卒業コンピテンシー I -1,4, II -1,3, IV-3)、パフォーマンスレベルD

知識量および理解度の両面を問う定期試験に加え、講義の出席状況、態度をもとに総合的に判定する。

[フィードバック]

- ・ 講義内で行う小テストは、講義内で解答および解説を示す。
- ・ 定期試験終了後、解答および解説を告知する。

[教科書]

特になし。

[推薦参考書]

講義の際に随時紹介する。

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

石川 佳奈	客員講師		※講義終了後に対応
-------	------	--	-----------

[授業日程]

<人の行動と心理 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	12	木	5	石川 佳奈	人の行動と心理を学ぶ視点 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動と心理を理解するための基礎的な考え方と視点を学ぶ。	1001講義室
2	04	19	木	5	石川 佳奈	心理学各論 1 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心の働き方、その特徴が、どこから生じるのか、また、どのように発達変化していくのかを学ぶ。	1001講義室
3	04	26	木	5	石川 佳奈	心理学各論 2 ●人が新しい行動様式や知識を習得する過程や人の行動が始発し持続する過程について学ぶ。 ●人が、周囲の環境世界の状況をとらえ、そのときどきに応じて行動を調整している仕組みについて学ぶ。	1001講義室
4	05	10	木	5	石川 佳奈	心理学各論 3 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心理、知的側面、パーソナリティの個人差について学ぶ。	1001講義室
5	05	17	木	5	石川 佳奈	心理学各論 4 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心理に多大な影響を与える社会的環境に対する、人の反応様式や適応方法について学ぶ。	1001講義室
6	05	24	木	5	石川 佳奈	心理学各論 5 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人が「働く」ことにまつわる行動や心理について学ぶ。	1001講義室
7	05	31	木	5	石川 佳奈	心理学各論 6 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心理を探求する視点や方法論についての代表的な理論を学ぶ。	1001講義室
8	06	07	木	5	石川 佳奈	医師-患者関係を学ぶ意義 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に配慮する基本的な姿勢を理解する。 ●医師-患者関係を学ぶ意義について理解し、良好な医師-患者関係のイメージをつかむ。	1001講義室
9	06	14	木	5	石川 佳奈	医師-患者関係の理解 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ●医師と患者の信頼関係について理解し、求められる医師の態度や患者の体験世界について学ぶ。	1001講義室
10	06	21	木	5	石川 佳奈	コミュニケーションの理解 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ●対人コミュニケーションの基礎学習を通して、医師-患者関係を理解するためのコミュニケーションについて学ぶ。	1001講義室
11	06	28	木	5	石川 佳奈	コミュニケーション・スキル A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 ●患者の心理的および社会的背景を捉えるために必要なスキルを学ぶ。	1001講義室

12	07	05	木	5	石川 佳奈	<p>情報提供と患者中心のチーム医療</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 ○ 患者のプライバシーに配慮できる。 ○ 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の意義を説明できる。 ● コミュニケーションの重要性を通して、患者への情報提供や患者中心のチーム医療について学ぶ。 	1001講義室
13	07	12	木	5	石川 佳奈	<p>医師のメンタルヘルスの維持</p> <p>A-6-3) 医療従事者の健康と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 ● 医師のメンタルヘルスを理解するための基礎的な知識を学び、自身のメンタルヘルス維持に役立てる。 	1001講義室
14	07	19	木	5	石川 佳奈	<p>心の問題をめぐる医療現場の実際</p> <p>B-4-1) 医師に求められる社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。 ● 医療現場で出会うことになる、人の行動と心の問題について学ぶ。 	1001講義室

読書ゼミナール－科学研究の基礎 I－

【教育目標】

日本語を母国語とする我々は、思考に用いる言語として日本語を使っていることをごく当然のことのように考えています。少し考え方を変えれば、私たちは外国語の授業時間以外は生まれて以降絶えず日本語のトレーニングをしてきたわけですし、現在も日々の生活の中でそれを実践していることとなります。そのような状況でも英語を得意とする人と不得意とする人がいるのと同様、トレーニングの違いから日本語の得意な人、不得意な人がいるのは極めて当然のことです。

この「読書ゼミナール－科学研究の基礎 I－」の授業は「医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力の涵養と言語による表現力の啓発を目的とする」ことにあります。医療の世界は既にインフォームド・コンセントが広く浸透しており、患者さんや御家族の心情を汲み取った上で適切かつ確に、かつ曖昧さを極力排して、言葉や文章によって説明できるという能力が医療従事者には強く要求されています。こういう時代であるからこそ、学生諸君の思考の基本となる日本語の力が更に錬磨されることを期待して、この「読書ゼミナール－科学研究の基礎 I－」がカリキュラムに加えられています。講師と一緒にテキストを読み、内容の要旨や論点を把握し、討論や文章作成等の過程を通じて、医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力を高めてもらいたいと思います。

【学修目標】

感情や事象の言語による表現に関心を持つようになること。
文章の要点の把握が出来るようになること。
自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現できるようになること。
論理的かつ明晰な文章を作る努力を厭わない持久力を身につけること。
課題を決められた様式に従って文書または口頭で発表できること。
医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。
テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。
討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

演習

【授業形態】

- ・各グループ当りの学生数：約8名（全体で17グループ）
- ・テキストの選択
担当教員と使用するテキストのリストが担当教員の項に示されています。それを基に学生諸君がそれぞれの担当教員に登録して頂きます。
- ・登録者数が不均一の場合は、各グループ間で人数の過不足が無いように調整します。テキストを早く読了してしまった場合は新しいテキストを担当教員と学生とで決めて頂きます。そのグループの構成メンバーを再度他の班に割り振ることはしません。
- ・医学部入学後、初めて体験する少人数形式の授業です。

【準備学習（予習・復習等）】

必要に応じて予習課題を出すことがあります。それぞれ数十分程度。担当者の指示に従うこと。

【評価】

演習および演習態度；（卒業コンピテンシー I -4, 5, V-1、パフォーマンス・レベルC・V-3、パフォーマンス・レベルD）

評価は14コマ全部終了した時点で実施する。

どの程度テキストを理解したか、議論に積極的に参加したか、文章作成が的確であったか等を担当教員が総合的に判定します。段階評価による点数制ですので、消極的な議論参加では減点となります。点数の計算法は担当教員に配付してあります。担当教員が学生諸君の評価に用いる主な項目が以下に示してあります。

- 1) 周到に準備したか？
- 2) テキストの内容を正確に把握したか？
- 3) ストーリーを的確に説明したか？
- 4) ポイントをつく発言をしたか？
- 5) 積極的に討論へ参加したか？

- 6) 人の意見をうのみにせず吟味したか？
- 7) 討論を上手にまとめたか？
- 8) 感想やまとめを文章化したか？
- 9) 文章による表現が的確であったか？

【フィードバック】

・問題があればオフィスアワーにおいて対応する。

【注意事項】

この「読書ゼミナールー科学研究の基礎 I -」は演習扱いとする。欠席した場合には速やかに担当教員に申し出て指示を得ること。

【教科書】

・前半7コマ 1時間目

齊藤 成 『新細胞を読む』山科正平（講談社）
石嶺 久子 『学問のすすめ 現代語訳』福沢諭吉 著、斎藤 孝 訳（ちくま新書）
佐藤 芳 『QOLって何だろう 医療とケアの生命倫理』小林亜津子（ちくまプリマー新書）
若月 徹 『天声人語 2017年7月-12月』朝日新聞論説委員室（朝日新聞出版）
吉田 友昭 『小泉八雲集』小泉八雲 著、上田和夫 訳（新潮文庫）
飯塚 成志 『葬送の仕事師たち』井上理津子（新潮社）
大熊 真人 『ソーメンと世界遺産』椎名 誠（集英社文庫）
角川 裕造 『単純な脳、複雑な「私」』池谷裕二（講談社ブルーバックス）
一瀬 千穂 『論理的能力を鍛える33の思考実験』北村良子（彩図社）

・前半7コマ2時間目

鈴木 茂孝 『迷惑な進化 - 病気の遺伝子はどこから来たのか』 Sharon Moalem and Jonathan Prince 著
矢野真知子訳（NHK出版）
古澤 彰浩 『「科学的思考」のレッスン 学校で教えてくれないサイエンス』戸田山和久（NHK出版）
塚本健太郎 『「感染症パニック」を避け！〜リスク・コミュニケーション入門〜』岩田健太郎（光文社新書）
林 孝典 『人工知能が変える 仕事の未来』野村直之（日本経済新聞出版社）
中島 昭 『進化しすぎた脳』池谷裕二（講談社ブルーバックス）
近藤 一直 『舞姫・うたかたの記』森鷗外（角川文庫）
鏡 裕行 『リーマン予想とはなにか』中村亨（講談社）
金子 葉子 『考えるマナー』中央公論新社（中央公論新社）

・後半7コマ1時間目

佐藤 芳 前半7コマと同一テキスト使用
前野 芳正 『医師の一分』里見清一（新潮新書）
平田ゆかり 『バカボンのパパと読む「老子」』ドリアン助川（角川新書）
吉田 友昭 『あるがままに 自閉症です』東田直樹（エスコアール出版部）
一瀬 千穂 『決断力』羽生善治 角川新書
鏡 裕行 前半7コマと同一テキスト使用
若月 徹 前半7コマと同一テキスト使用
大熊 真人 前半7コマと同一テキスト使用
林 孝典 前半7コマと同一テキスト使用

・後半7コマ2時間目

古澤 彰浩 前半7コマと同一テキスト使用
近藤 一直 『日本人の甘え』曾野綾子（新潮新書）
守口 匡子 『女子中学生の小さな大発見』清邦彦（新潮文庫）
秦 龍二 『人を動かす』D・カーネギー（創元社）
濱島 誠 『がん治療革命の衝撃』NHKスペシャル取材班（NHK出版新書）
太田 充彦 『かもめのジョナサン【完成版】』リチャード・バック 著、五木寛之 訳（新潮文庫）
飯塚 成志 前半7コマと同一テキスト使用
八代 耕児 『山月記・李陵 他九篇』中島敦（岩波文庫）

【使用する教室】

生涯教育研修センター1号館13階など

【コーディネーター】

前野 芳正 准教授（ウイルス・寄生虫学）

[担当教員・オフィスアワー]

<生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 7階706
角川 裕造 准教授	月曜～金曜	16:00～18:30	生涯教育研修センター 1号館7階703
守口 匡子 講師	月曜～金曜	9:00～19:00	生涯教育研修センター 1号館 7階703

<化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～17:30	生涯教育研修センター 1号館 8階805

<生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階803

<物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	生涯教育研修センター 1号館 9階903

<数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜日	12:30～13:15	生涯教育研修センター 1号館9階906

<健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜日～金曜日	12:30～13:20, 17:10～	生涯教育研修センター 1号館 8階807

<倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜日、水曜日、金曜日	16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階806

<コンピュータ情報処理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鈴木 茂孝 教授	月曜・火曜・木曜	13:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館12階1203

<臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 准教授	月曜日～木曜日	12:40～13:10	生涯教育研修センター 1号館 9階907

<解剖学Ⅰ>

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	木曜	13:00~14:00	医学部1号館8階815

<解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
齊藤 成 講師	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806
石嶺 久子 助教	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806

<生理学Ⅰ>

担当者名	曜日	時間	場所
金子 菓子 准教授	月曜~金曜	12:30~13:20, 16:00~17:00	医学部1号館4階410

<生理学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
大熊 真人 講師	随時：時間指定の場合は m-ohkuma@fujita- hu.ac.jpに連絡	随時：時間指定の場合は m- ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡	医学部1号館6階604

<生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 孝典 講師	月曜日~木曜日	12:30~13:20 17:00~19:00	医学部1号館6階605

<薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜日~金曜日	12:30~13:20	医学部1号館5階505
一瀬 千穂 准教授	火曜~木曜	16:00~18:00	医学部1号館5階504

<微生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
塚本 健太郎 講師	月曜~金曜	17:00~18:00	医学部1号館8階809

<ウイルス・寄生虫学>

担当者名	曜日	時間	場所
前野 芳正 准教授	月曜~金曜	17:00~19:00	医学部1号館6階603

<公衆衛生学>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 充彦 准教授	火曜日・木曜日	13:20~17:10	医学部1号館4階405公衆衛生学講座

<法医学>

担当者名	曜日	時間	場所
平田 ゆかり 助教	水曜以外	10:00～17:00	医学部1号館地下2階205
濱島 誠 助教	火曜・金曜	16:00～18:00	医学部1号館地下2階205

[授業日程]

<読書ゼミナール-科学研究の基礎 I ->

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	16	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 13F SGL室
2	04	23	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 13F SGL室
3	05	07	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 13F SGL室
4	05	14	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。	1205講義室 13F SGL室

					古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	
5	05	21	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる	1205講義室 13F SGL室
6	05	28	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 13F SGL室
7	06	04	月	1 / 2	吉田 友昭 角川 裕造 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 芳 鈴木 茂孝 飯塚 成志 齋藤 成 石嶺 久子 金子 葉子 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 塚本 健太郎	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1205講義室 13F SGL室
8	06	18	月	1 / 2	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方	1205講義室 13F SGL室

					<p>若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠</p>	<p>○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる 	
9	06	25	月	1 / 2	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠</p>	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	1205講義室 13F SGL室
10	07	02	月	1 / 2	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠</p>	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	1205講義室 13F SGL室
11	07	09	月	1 / 2	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠</p>	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	1205講義室 13F SGL室
12	07	23	月	1 / 2	<p>吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労</p>	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 	1205講義室 13F SGL室

					飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠	<ul style="list-style-type: none"> ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	
13	07	26	木	2 / 3	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	1205講義室 13F SGL室
14	07	30	月	1 / 2	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 秦 龍二 大熊 真人 林 孝典 近藤 一直 一瀬 千穂 前野 芳正 太田 充彦 平田 ゆかり 瀨島 誠	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	1205講義室 13F SGL室

情報処理の基礎

【教育目標】

Evidence Based Medicine (EBM) の考え方に基づいた医療が定着し、より良い診療・研究を行う上で、情報処理能力が必須となっています。今後の医療を担う皆さんには従来の医学・医療の知識に加え、統計学・疫学・EBMに関する理解とコンピュータでの情報収集、情報処理、情報発信能力が求められています。

1学年の「情報処理の基礎」では、情報機器の機能と仕組み、ネットワークの基礎知識、情報を扱う上での倫理など情報処理に関する基礎的な能力および論理的な思考力の修得を目指しています。加えて、医療人として必須の医療情報システムの概略について知識と理解を深めていただきます。医療情報の特質を把握し、オーダーリングシステム、PACS、電子カルテ、IHE、情報セキュリティなどの医療従事者としての基礎的なスキルを身につけていただきます。

本授業は2学年における医学統計学、疫学、および3学年での予防医学、公衆衛生学等と関連を持たせた系統的授業のひとつであり、皆さんにはこの全体的構成を念頭に置いて受講していただきたいと思います。

【学修目標】

医学・医療におけるコンピュータ利用の意義を説明できる。

コンピュータの基本構成とインターネットの基本的事項を理解し、情報機器を活用した情報の収集、整理、活用、伝達に習熟する。

マルウェア感染、情報漏洩などのインシデント事例を知り、情報セキュリティの重要性を理解し、実践できる。医療情報の電子化について、システムの概略を理解し説明できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

演習

【準備学習】

授業は、TBL（Team Based Learning :チーム基盤型学修）形式で行います。TBLでは、能動的な学修が必要で、予習は必須となります。予習と復習を支援するために、全ての詳細な授業計画、学修資料はeラーニング上で閲覧できるようにしています。また、毎回の授業の最後には次回の授業の要約を解説しますのでeラーニング上の資料を活用し予習して下さい。最長30分程を目安としています。

【評価】

評価点を定めるに当たり、定期試験（または再試験）の成績、ポートフォリオの内容、eラーニングによる予習確認テスト（iRAT,tRAT）、および応用課題、学生間相互評価（ピア評価）、受講態度等を総合的に判断して最終評価点を決定します。

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-6）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 2, 3）、パフォーマンス・レベルD/E

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポート、リフレクション・シートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I-1, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

【フィードバック】

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果についてはオフィスアワーにおいて各自にフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・ 本科目について作成したe-learningを学習する。

【教科書】

ハンドアウトをiPadの資料配信システム上に配布します。
eラーニング、eポートフォリオシステムを活用します。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館12階IT学習室

【コーディネーター】

鈴木 茂孝 教授（コンピュータ情報処理学）

【担当教員・オフィスアワー】

<コンピュータ情報処理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鈴木 茂孝 教授	月曜・火曜・木曜	13:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館12階1203

<医療科学部・医療経営情報学科 医療情報学>

担当者名	曜日	時間	場所
堀場 文彰 講師	火曜・木曜	12:00～17:00	生涯教育研修センター 1号館12階1204

【授業日程】

<情報処理の基礎>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	11	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●医学における情報処理の役割が説明できる。 ●学内外のICTを活用した学修サービスが利用できる（LMS,ポートフォリオなど）。 ●アカウント、パスワードの重要性を理解し管理できる。	1201 IT学習室
2	04	18	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●クラウドストレージを安全に利用できる。 ●インターネットを安全に活用できる。 ●VPN接続を理解し設定できる。 ●レポートを作成し、書類をクラウドに保管できる。	1201 IT学習室
3	04	18	水	6			
4	04	25	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	B-1-1) 統計の基礎 ○データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。 ●目的に合ったデータ収集、集計処理が行え、結果をグラフ、図案化し考案できる。 ●散布図を描き回帰式、相関と寄与率について説明できる。 ●簡単な関数を用い、基本統計量を求めることができる。	1201 IT学習室
5	04	25	水	6			
6	05	02	水	4	鈴木 茂孝 堀場 文彰	A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●データの2次活用ができる(ピボットテーブル)。 ●条件式に論理積、論理和を適用した集計ができる。 ●簡易なデータベース機能が活用できる。 ●複数の大量なデータを集計し、結論を導き出すことができる。	1201 IT学習室
7	05	02	水	5			
8	05	09	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●情報量の単位を理解し、進数変換ができる。 ●基本的な論理演算ができる。 ●集計処理した表、グラフを用いてプレゼンテーション資料を作成することができる。	1201 IT学習室
9	05	09	水	6			
10	05	16	水	5	鈴木 茂孝	●アナログとデジタルの特性を説明できる。	1201 IT学習室

						<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル化に際しての標準化頻度、量子化、誤差、標準化の定理について説明できる。 ● 周波数成分分析(FFT)を実際に行うことができる。 	
11	05	23	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	F-3-3) 診療録 (カルテ) ○ プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● マルウェアの種類と動作について理解し、説明できる。 ● マルウェア疑似体験を通じて脅威を知り、対策を実践できる。 ● ローカルエリアネットワーク (LAN) と無線LANのセキュリティについて説明できる。 	1201 IT学 習室
12	05	30	水	5			
13	06	06	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	A-3-1) 全人的実践的能力 ○ 診療録 (カルテ) についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録 (problem-oriented medical record)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 情報管理の原則 (情報開示、プライバシー保護、取り扱い倫理、セキュリティ)を説明できる。 ● 日本における社会保障制度の概略を理解する。 ● 診療情報の電子化と管理について説明できる。 ● 医療情報システムの歴史について概説できる。 ● 電子カルテの基本を理解し長短所を説明できる。 ● 医療情報のコード化、規格について説明できる。 	1201 IT学 習室
14	06	13	水	5			
15	06	20	水	5	鈴木 茂孝 堀場 文彰	F-3-3) 診療録 (カルテ) ○ プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人情報、著作権について理解する。 ● 個人情報の漏えい、著作権の侵害について説明できる。 ● 個人情報の漏えいについてインシデント事例をあげ対応策を説明できる。 	1201 IT学 習室
16	06	27	水	5	鈴木 茂孝	<ul style="list-style-type: none"> ● 論理的な思考を組み立てることができる。 ● 結果を得るための過程をフローチャートで表現できる。 ● 思考を図案化し整理することができる。 	1201 IT学 習室

生命倫理学

[教育目標]

倫理学とは「人倫の理法」の省略形であり、人倫とは「人のみち」の意味である。ギリシャ語ではエートス（慣習）の学であり、生活の規則を対象とする学問である。そして生命倫理学は、人間の生命に関する慣習を扱う。ただし、現在ではこの生命に関する価値観は、医療の高度化にともない再考を迫られている。それゆえ現在の倫理観だけでなく、将来の倫理観を考察するのも、生命倫理学の目的でもある。

授業では、生命に関する倫理観を、さまざまな角度から考察する。そして、医療に携わる人間が持つべき基本的な思考方法を身につけてもらう。そのために、この授業では、たんに講義を聴くだけでなく、自ら考える姿勢を育てるために、グループワークを取り入れている。

授業は、大きく3つのテーマに分けられる。生殖補助医療の倫理学、人工妊娠中絶の倫理学、移植医療の倫理学である。各テーマは、講義・視覚教材・討論発表を基本ユニットとする。討論発表では、コアケースを用意するので、それをもとにグループでケースを想像し発展させ、発表してもらう。コアケースを発展させるために、調べて、理由づけを深めてもらう。

また、移植医療のテーマを看護専門学校の学生との合同授業とする予定である。その機会に、異なった視点からの意見に耳を傾ける傾聴的態度を養うこと、また、将来、同僚となる看護師とのチーム医療の原型を体験することを目的としている。また、臨床で働くコメディカル（看護師、移植コーディネーター、臨床研究センター）から話を聞く場も設けているので、より専門的な話題を聴くことが出来る。2学年から動物実験を行うことが少なくないので動物実験にともなう動物の倫理学と、医学研究の倫理学も講義する。

[学修目標]

倫理の基本は、「相手の立場に立つこと」である。医療者は、医療者として患者に接するだけでなく、患者の立場に立って、患者と医療者との関係を「想像して」することが重要である。さらに、患者の家族の立場に身をおいて、家族から患者と医療者との関係を想像してみよう。そのように医療者以外の立場から医療者を照射することによって、医療者にとって必要な倫理観が見えてくる。

医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。患者の基本的権利を熟知し、これらに関する現状の問題点を学ぶ。患者のために全力を尽くす医師に求められる医師の義務と裁量権に関する基本的態度、習慣、考え方と知識を身につけてもらう。将来、患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意をうるために、対話能力と必要な態度、考え方を身につける、などが更なる目標である。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義

[準備学習（予習・復習等）]

予習は、各テーマについて十分に事前学習をしておくこと。復習は、配布資料を熟読すること。それぞれ30分程度を目安とする。

[評価]

（卒業コンピテンシ I-1～7、III-1～3、V-1）、パフォーマンス・レベルD
提出物とレポート、定期試験、授業態度などで総合的に評価する。

[フィードバック]

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[教科書]

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室、
9階909・910講義室、8階809・810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜日、水曜日、金曜日	16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階806

<研究支援課>

担当者名	曜日	時間	場所
脇之園 真理 助手		※講義終了後に対応	

<第1病院・看護内科>

担当者名	曜日	時間	場所
渡邊 美佳 主任			

<第1・看護移植センター>

担当者名	曜日	時間	場所
林 未佳子 看護師			

<医療科学部・看護学科 総合生命科学>

担当者名	曜日	時間	場所
朝居 朋子 准教授			

<学術研究支援推進施設>

担当者名	曜日	時間	場所
加藤 憲 講師			

[授業日程]

<生命倫理学>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	3	佐藤 芳	生命倫理学とは何か A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○ 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ○ ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。	1001講義室
2	10	24	水	2	佐藤 芳	倫理的価値の序列 A-1-2) 患者中心の視点 ○ リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	1001講義室

							A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。	
3	10	31	水	2	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (講義) A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○ 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○ 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	1001講義室	
4	11	07	水	3	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (ビデオ・討論) A-1-2) 患者中心の視点 ○ インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	1001講義室	
5	11	14	水	3	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (ケース作成) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。	1001講義室	
6	11	21	水	2	佐藤 芳	生殖補助医療の倫理学 (ケース発表) A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1001講義室	
7	11	28	水	4	佐藤 芳	移植医療の倫理学 (講義) A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○ 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○ 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	603講義室	
8	11	28	水	5	佐藤 芳 渡邊 美佳 林 未佳子	移植医療の倫理学 (講義・ビデオ・討論) A-1-2) 患者中心の視点 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	603講義室	
9	12	05	水	4	佐藤 芳	移植医療の倫理学 (ケース作成) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	809講義室 810講義室 909講義室 910講義室 1205講義室	
10	12	05	水	5	佐藤 芳 脇之園 真理 朝居 朋子 加藤 憲	移植医療の倫理学 (ケース発表) A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	809講義室 810講義室 909講義室 910講義室 1205講義室	
11	01	09	水	2	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (講義) A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○ 患者に分かりやすい言葉で説明できる。	1001講義室	
12	01	16	水	2	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (ビデオ・討論) A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ○ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	1001講義室	
13	01	23	水	2	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (ケース作成) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	1001講義室	
14	01	23	水	3	佐藤 芳	人工妊娠中絶の倫理学 (ケース発表) A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	1001講義室	
15	01	23	水	4	佐藤 芳 脇之園 真理	動物実験の倫理、研究倫理、まとめ A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○ 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ○ ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 A-8-1) 医学研究への志向の涵養	1001講義室	

											<p>○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。</p>	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

生老病死の人間学

【教育目標】

現代日本における、さまざまな医学・医療のあり方について考える。とくに「生」「老」「病」「死」の問題を把握し、それらの視点から人間の生命のあり方を学び、より充実した生とは何かを考える。

【学修目標】

1. 現代の「生」「老」「病」「死」の本質について考えることができる。
2. 不可避の「死」を自覚し、「生」を充実させること、そして他者の生命の尊さに気付き、死の危機にある人や、悲嘆のプロセスにある人を援助する力を身につけることができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義

【作業形態】

「講義」を中心として各分野で著名な特別講師をお願いしてある。視聴覚教材の活用も必要に応じて行う。講義内容についての「討論・発表会」を2回設定している。小グループに分けて討論し・発表するので、そのつもりで毎回の講義を聴き、自分の意見を作っておくこと。異なった他人の意見に耳を傾け、より深い理解と意見の形成を目指す。

「レポート」はMSWordにより毎回作成し、Moodleにファイルを提出する方法とする。発信元のメールアドレスは、大学ドメインの学生各自のアドレス<学籍番号@fujita-hu.ac.jp>を用いること。送り先のMoodleは、初回時に教える。

医療科学部臨床検査学科2年生との合同授業である。藤田学園のアセンブリ教育、チーム医療の育成を目的としている。合同の講義の場所は、医学部1号館フジタホール500であり、討論の場所は生涯教育研修センター1号館の8、9階（中教室）等である。

【準備学習（予習・復習等）】

シラバスを見てテーマについて予習する。討論会に備えて復習する。それぞれ約30分を目安とする。

【 評 価 】

レポート（MSWordによる）と、授業への出席状況・態度などを総合的に評価して評価し、成績に応じて再試験を行う。（卒業コンピテンシー I-1～7、II-1～3、III-1～3、V-1、VII-2）、パフォーマンスレベルD

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

随時資料配布

【推薦参考書】

随時指示する

【使用する教室】

【コーディネーター】

佐藤 芳 教授（倫理学）

[担当教員・オフィスアワー]

<倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜日、水曜日、金曜日	16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階806

<医療科学部・臨床検査学科 臨床病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
大江 瑞恵 准教授	月曜	12:30～13:00	生涯教育研修センター 2号館 3階304

<外科・緩和医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
東口 高志 教授	火曜日	10:20-11:30、11:40-12:50	医学部スタッフ館4階外科・緩和医療学医局
	金曜日	10:20-11:30、11:40-12:50	医学部スタッフ館4階外科・緩和医療学医局

<移植・再生医学>

担当者名	曜日	時間	場所
剣持 敬 教授	月曜	13:00～17:00	移植・再生医学医局

<臨床薬剤科>

担当者名	曜日	時間	場所
山田 成樹 教授	月曜日～金曜日	8:45～17:30	病院 1階医療の質・安全対策部

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
小笠原 文雄 客員教授		※講義終了後に対応	
内海 眞 客員教授		※講義終了後に対応	
稲葉 一人 客員教授		※講義終了後に対応	
大谷 貴子 客員教授		※講義終了後に対応	
森元 美代治 客員教授		※講義終了後に対応	
小菅 もと子 客員講師		※講義終了後に対応	
萬屋 育子 客員講師		※講義終了後に対応	

三浦 久幸	客員教授		※講義終了後に対応
永田 雅子	客員教授		※講義終了後に対応

[授業日程]

<生老病死人間学>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	10	火	5	佐藤 芳 大江 瑞恵	倫理学教授 「生老病死の人間学」ガイダンス A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 E-9-1) 生物的死と社会的死 ○ 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。	709 殊-1500
2	04	17	火	5	東口 高志	外科・緩和医療学教授 「末期癌患者さんの日々から学ぶこと」 F-2-16) 緩和ケア ○ 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 ○ 全人的苦痛を説明できる。	709 殊-1500
3	04	24	火	5	稲葉 一人	中京大学法科大学院教授 「医療訴訟と裁判外紛争解決」 ● 医療訴訟の手続き、鑑定、判決、和解が理解できる。 ● 訴訟外の紛争解決方法を整理できる。	709 殊-1500
4	05	01	火	5	三浦 久幸	国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 「地域連携とアドバンス・ケア・プランニング」 E-9-1) 生物的死と社会的死 ○ 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。	709 殊-1500
5	05	08	火	5	大谷 貴子	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長 「元白血病患者から見た医療者への期待」 A-4-1) コミュニケーション ○ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	709 殊-1500
6	05	15	火	5	内海 眞	愛知県地域医療支援センター長 「世界と日本のエイズ事情」 C-3-2)-(4) 疾患と免疫 ○ 原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群を概説できる。 D-3-4)-(7) 皮膚感染症 ○ 後天性免疫不全症候群に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。	709 殊-1500
7	05	22	火	5	萬屋 育子	子どもの虐待防止ネットワークあいち（CAPNA）代表 「子どもを虐待から守る」 E-7-3) 小児期全般 ○ 児童虐待を概説できる。	709 殊-1500
8	05	29	火	5	佐藤 芳 大江 瑞恵	討論・発表会 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○ 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	809講義室 810講義室 909講義室 910講義室 1205講義室
9	06	05	火	5	森元 美代治	国立療養所多摩全生園入所者自治会前会長 「ハンセン病を生きて」 A-1-2) 患者中心の視点 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 ● ハンセン病の歴史を整理することが出来る。	709 殊-1500
10	06	12	火	5	小笠原 文雄	日本在宅ホスピス協会会長/小笠原内科院長 「在宅での看取り」 E-8-1) 老化と高齢者の特徴	709 殊-1500

						<p>○ 高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。</p> <p>E-9-1) 生物的死と社会的死</p> <p>○ 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Donot attempt resuscitation、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。</p>	
11	06	19	火	5	小菅 もと子	<p>傾聴ボランティア「とよあけ」代表</p> <p>「認知症（老年・若年）と付き合い方」</p> <p>E-9-1) 生物的死と社会的死</p> <p>○ 患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。</p>	736棟-500
12	06	26	火	5	剣持 敬	<p>移植・再生医学教授</p> <p>「移植医療の現状と課題」</p> <p>● 移植医療の必要性と課題を説明できる。</p>	736棟-500
13	07	03	火	5	山田 成樹	<p>薬剤部部長、臨床薬剤科教授</p> <p>「薬害と治験」</p> <p>● 新薬開発の必要性を理解できる。</p> <p>● 人間に対する薬の実験的投与の条件を整理できる。</p>	736棟-2000
14	07	10	火	5	永田 雅子	<p>名古屋大学 心の発達支援研究実践センター 教授</p> <p>「周産期のこころのケア」</p> <p>● 新生児集中治療室でのハイリスク児とその家族への心理支援を理解できる。</p>	736棟-500
15	07	17	火	5	佐藤 芳 大江 瑞恵	<p>討論・発表会</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <p>○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。</p> <p>○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>○ 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。</p>	809講義室 810講義室 909講義室 910講義室 1205講義室

英語

[教育目標]

この講義では、英語で書かれたアカデミックな文章を読み、その内容を正確に理解する能力を養うことを中心に英語学習に取り組みます。学術領域に於いて、英語が実質的な公用語の地位を獲得している現在、このような技能は高度に専門的な内容を学ぼうとする者にとって不可欠と言えます。語彙力の強化と実地的な文法力の涵養に重点を置き、特に将来の文献読解に必要な英語力の向上を目指します。(前澤 大樹)

この講義では科学系の英文を通して総合的な英語力を高めることを目的とします。語彙の補強や文法事項の確認を行い、英文の内容を深く理解する力、英語で表現する力を洗練することに主眼を置きます。これらの活動を通して、将来に必要な英語力の基礎を固めていきます。(中川 聡)

The aims of this course are for students to improve their communicative ability with English, to increase their awareness of health and medical issues and to foster a lasting interest in medical English. Students will learn about health-related topics such as cancer, smoking, alcohol, stress and obesity and follow listening and speaking activities based on the content. Students will speak as much English as possible through pair and group-work activities, and by discussing the issues with their classmates and the teacher. There will also be two special video classes related to health issues talked about in the book. Testing will be done twice, a mid-term test (35%) and a final test (35%). Other grades will be determined using participation (10%) and reports (20%). (Attendance and Lateness will be considered when assessing students' grades.) (Steeve Plante)

[学修目標]

- ・ 医学・医療を含めた様々な科学分野の英語文献の読解ができる。
- ・ 科学的な文献で用いられる自然な英語で表現することができる。
- ・ To develop students' communicative competence, with a focus on speaking and listening skills, to develop their understanding of a range of medical and health-related issues, and to foster their interest in medical English. Students should be able to express their opinions on these topics in fluent English by the end of the course.

[身につける能力]

別紙参照 (卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表)

[授業の種類]

講義と演習

[準備学習 (予習・復習等)] 【前澤 大樹】

[予習]

- (1) 次回講義で扱う範囲の教科書の語彙を調べ、予め読んで和訳できる程度に正確に理解しておく。(1時間程度)
- (2) 教科書に付随する設問を解いておく。(30分程度)

[復習]

- (1) 講義で読んだ部分を再読し、自分の理解が誤っていた箇所等を復習する。(30分程度)
- (2) 与えられた指示に従って課題を実施する。(30分程度)

[準備学習 (予習・復習等)] 【中川 聡】

- ・ 事前に指定したテキストの範囲の語彙を調べ、予め読んでおく。(1時間程度)
- ・ 講義で読んだ箇所を再読し、内容を正確に理解する。(30分程度)
- ・ 事前に指定した範囲の和文を英訳する。(30分程度)

[準備学習 (予習・復習等)] 【Steeve Plante】

- ・ Students should read the book and do homework before coming to class, making sure that any unknown vocabulary words have been identified. Reviewing the previous week's information and reviewing again after class will help students successfully complete the course.

[評 価]

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-9, V-1, 2, 3, 4）、パフォーマンス・レベル D

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)講義及び演習態度；（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベル D

医学生として常識ある受講態度であったか、積極的に講義・演習に参加できたか、与えられた課題を期限内に行えたかなどを評価する。

月曜日の授業（中川、前澤担当）と火曜日の授業（プラント他担当）の各々の授業で合格の評価を得ることが、本科目合格の必要十分条件です。

[評 価] 【前澤 大樹】

基本的に小テスト及び試験の成績、課題提出等の状況により決定するが、必要に応じて授業への参加・貢献度等も加味し、総合的に判断する。

[評 価] 【中川 聡】

小テスト、試験の成績に加えて、授業への参加、課題の提出状況などを総合的に判断して決定する。

[評 価] 【Steeve Plante】

Students' grades will be decided by a mid-term (40%) and a final examination (40%). Participation will be worth (20%) graded by attending instructors. Attendance and lateness will also be considered when assessing students' grades.

[フィードバック] 【前澤 大樹】

- (1) 小テスト後に解答を示し、必要に応じて解説を行う。
- (2) 希望者には、小テストの累計点数を知らせる。
- (3) 希望者には試験の答案を開示し、必要に応じて解説を施す。

[フィードバック] 【中川 聡】

- ・小テスト後に解答および必要に応じて解説を示す。
- ・試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[フィードバック] 【Steeve Plante】

Feedback for reports and homework will be done by individual teachers in class. Participation feedback can be checked at anytime during class time by asking individual teachers towards the end of the semester. Feedback for both the Midterm Test and the Final Test will be given by the coordinator during office hours after marking has concluded.

[教科書] 【前澤 大樹】

「Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking, Level 4 (Text with Online Workbook Access Code, ISBN: 978-1-133-94218-4)」(Cengage Learning)

[教科書] 【中川 聡】

「Reading Explorer Second Edition, Level 5 (Student Book with Online Workbook Access Code, ISBN: 978-1-305-25451-0)」(Cengage Learning)

*必ずアクセスコード付きのテキストを購入してください。

[教科書] 【Steeve Plante】

「Healthtalk Third Edition Health Awareness and English Conversation」 Bert McBean著 (Macmillan Language House, 2014)

[推薦参考書]

【使用する教室】 【前澤 大樹】

生涯教育研修センター1号館9階910講義室

【使用する教室】 【中川 聡】

生涯教育研修センター 1号館 9 階909講義室

【使用する教室】 【Steeve Plante】

生涯教育研修センター 1号館13階SGL室

【実習場所】

【担当教員・オフィスアワー】

<英語>

担当者名	曜日	時間	場所
PLANTE S 准教授	Wed./Th.	Available on Wed/Th from 1pm-5pm 10 minutes after classes end	生涯教育研修センター1号館7階707
前澤 大樹 准教授	月曜	12:30~13:20	生涯教育研修センター1号館1008英語学研究室
中川 聡 講師	金曜	12:30~13:20	生涯教育研修センター 1号館708英語学研究室

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
AHERN J 客員講師	Mondays	10 minutes after classes end	
BODELL M 客員講師	Mondays	10 minutes after classes end	
HISLOP L 客員講師	Mondays	10 minutes after classes end	
PEARSON S 客員講師	Mondays	10 minutes after classes end	
FRANSEN D 客員講師		10 minutes after classes end	
THOMSON C 客員講師		10 minutes after classes end	
FONTAINE R 客員講師		10 minutes after classes end	

【授業日程】

<英語A>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	09	月	2		TOEFL ITP e-learning ガイダンス	1001講義室
1	04	16	月	1 / 2	中川 聡	ガイダンス Unit 5B: Plugging into the Sun	909講義室
2	04	23	月	1	中川 聡	Unit 5B: Plugging into the Sun	909講義室

				/						
3	05	07	月	1	中川 聡	Unit 5B: Plugging into the Sun				909講義室
4	05	14	月	1	中川 聡	Unit 5B: Plugging into the Sun				909講義室
5	05	21	月	1	中川 聡	Unit 6B: Building the Ark				909講義室
6	05	28	月	1	中川 聡	Unit 6B: Building the Ark				909講義室
7	06	04	月	1	中川 聡	Unit 6B: Building the Ark				909講義室
8	06	18	月	1	中川 聡	Unit 6B: Building the Ark				909講義室
9	06	25	月	1	中川 聡	Unit 6B: Building the Ark				909講義室
10	07	02	月	1	中川 聡	Unit 10B: Element Hunters				909講義室
11	07	09	月	1	中川 聡	Unit 10B: Element Hunters				909講義室
12	07	23	月	1	中川 聡	Unit 10B: Element Hunters				909講義室
13	07	26	木	2	中川 聡	Unit 10B: Element Hunters				909講義室
14	07	30	月	1	中川 聡	総合復習				909講義室
15	10	01	月	1	中川 聡	ガイダンス Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
16	10	15	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
17	10	22	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
18	10	29	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
19	11	05	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
20	11	12	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室
21	11	19	月	1	中川 聡	Unit 11B : When the Moors Ruled Spain				909講義室

22	11	26	月	1 / 2	中川 聡	Unit 12B: Gold Fever	909講義室
23	12	03	月	1 / 2	中川 聡	Unit 12B: Gold Fever	909講義室
24	12	10	月	1 / 2	中川 聡	Unit 12B: Gold Fever	909講義室
25	12	17	月	1 / 2	中川 聡	Unit 12B : Gold Fever	909講義室
26	01	07	月	1 / 2	中川 聡	Unit12B : Gold Fever	909講義室
27	01	21	月	1 / 2	中川 聡	Unit12B : Gold Fever	909講義室
28	01	28	月	1 / 2	中川 聡	総合復習	909講義室

<英語B>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	09	月	2	前澤 大樹	TOEFL ITP e-learningガイドンス	1001講義室
1	04	16	月	1 / 2	前澤 大樹	Introduction	910講義室
2	04	23	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 1: Our Human Impact, Lesson A	910講義室
3	05	07	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 1: Our Human Impact, Lesson A	910講義室
4	05	14	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 1: Our Human Impact, Lesson A	910講義室
5	05	21	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 1: Our Human Impact, Lesson A	910講義室
6	05	28	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 2: Conservation and Protection, Lesson A	910講義室
7	06	04	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 2: Conservation and Protection, Lesson A	910講義室
8	06	18	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 2: Conservation and Protection, Lesson A	910講義室
9	06	25	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 2: Conservation and Protection, Lesson A	910講義室
10	07	02	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 3: Beautiful, Lesson A	910講義室
11	07	09	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 3: Beautiful, Lesson A	910講義室

12	07	23	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 3: Beautiful, Lesson A	910講義室
13	07	26	木	2 / 3	前澤 大樹	Unit 3: Beautiful, Lesson A	910講義室
14	07	30	月	1 / 2	前澤 大樹	Review	910講義室
15	10	01	月	1 / 2	前澤 大樹	Introduction	910講義室
16	10	15	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 4: Powering Our Planet, Lesson A	910講義室
17	10	22	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 4: Powering Our Planet, Lesson A	910講義室
18	10	29	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 4: Powering Our Planet, Lesson A	910講義室
19	11	05	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 4: Powering Our Planet, Lesson A	910講義室
20	11	12	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
21	11	19	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
22	11	26	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
23	12	03	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 5: Working Together, Lesson A	910講義室
24	12	10	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
25	12	17	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
26	01	07	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
27	01	21	月	1 / 2	前澤 大樹	Unit 6: Language and Culture, Lesson A	910講義室
28	01	28	月	1 / 2	前澤 大樹	Review	910講義室

<英語C>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	17	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D	Introductions and Orientation	13F SGL室

					THOMSON C FONTAINE R		
2	04	24	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 1 Part 1	13F SGL室
3	05	01	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 1 Part 2	13F SGL室
4	05	08	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 2 Part 1	13F SGL室
5	05	15	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 2 Part 2	13F SGL室
6	05	22	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 3 Part 1	13F SGL室
7	05	29	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 3 Part 2	13F SGL室
8	06	05	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 4 Part 1	13F SGL室
9	06	12	火	1 / /	PLANTE S AHERN J	Health Talk Lesson 4 Part 2	13F SGL室

				2	BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R		
10	06	19	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 5 Part 1	13F SGL室
11	06	26	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 5 Part 2	13F SGL室
12	07	03	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 6 Part 1	13F SGL室
13	07	10	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 6 Part 2	13F SGL室
14	07	17	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 7 Part 1	13F SGL室
15	07	24	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 7 Part 2	13F SGL室
16	07	31	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C	Video Lesson 1	13F SGL室

					FONTAINE R		
17	10	02	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Introductions and Orientation - New Groups	13F SGL室
18	10	09	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 8 Part 1	13F SGL室
19	10	16	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 8 Part 2	13F SGL室
20	10	23	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 9	13F SGL室
21	10	30	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 10 Part 1	13F SGL室
22	11	06	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 10 Part 2	13F SGL室
23	11	13	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 11 Part 1	13F SGL室
24	11	20	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M	Health Talk Lesson 11 Part 2	13F SGL室

					HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R		
25	11	27	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 12 Part 1	13F SGL室
26	12	04	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 12 Part 2	13F SGL室
27	12	11	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 13 Part 1	13F SGL室
28	12	18	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Health Talk Lesson 13 Part 2	13F SGL室
29	01	08	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Video Lesson 2	13F SGL室
30	01	15	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Extra Lesson 1	13F SGL室
31	01	22	火	1 / 2	PLANTE S AHERN J BODELL M HISLOP L PEARSON S FRANSEN D THOMSON C FONTAINE R	Extra lesson 2	13F SGL室

							R			
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

ドイツ語

[教育目標]

ドイツ語圏文化において重要な功績を遺した詩人ゲーテは、かつて「諸外国(!)の言葉を知らざる者は、自身の国の言葉を理解しない」という言葉を残しました。皆さんは既に英語を学習してきましたが、異なる文法や体系をもつドイツ語を新たに学ぶことで言語についての理解を深められます。また自然科学の諸分野でドイツ語は英語に次いで重要な言語のひとつですから、専門分野の研究や学習の役に立つと思われます。

この授業を通じて多文化的な感性を育み、知識を得、視野を広げてもらえればと思います。

[学修目標]

ドイツ語の初級文法を習得し、平易なドイツ語文章の理解と表現ができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

予習復習の際にはダウンロードした音声教材を繰り返し聞き、発音してください。また、文法や単語をまとめた別冊教材も有効に活用してください。確認の小テストをしますので、ワークブックなどの課題は必ずこなしてください。

[評価]

平常点30%、小テスト30%、中間試験・期末試験40%

[フィードバック]

- ・小テスト後に解答および解説を示します。
- ・課題で不足の多い場合は再提出を求めることがあります。
- ・定期試験終了後、解答および解説を告知します。

[教科書]

『プリマ・ブルス』 藁谷郁美、Marco Raindl、太田達也（朝日出版社）

『プリマ・ブルス2』 藁谷郁美、Marco Raindl、太田達也（朝日出版社）

[推薦参考書]

『郁文堂独和辞典（第二版）』 富山芳正他編著、郁文堂

『アポロン独和辞典（第三版）』 根本道也他編著、同学社

『医学ドイツ語入門』 山本尤著、南江堂

[使用する教室]

生涯教育研修センター1号館9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大林 侑平 客員助教		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<ドイツ語>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	10	火	2	大林 侑平	第二外国語ガイダンス	1001講義室
1	04	17	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
2	04	24	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
3	05	01	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
4	05	08	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
5	05	15	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
6	05	22	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
7	05	29	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
8	06	05	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	910講義室
9	06	12	火	1 / 2	大林 侑平	A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	910講義室

						<p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	
10	06	19	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
11	06	26	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
12	07	03	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
13	07	10	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
14	07	17	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
15	07	24	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
	07	31	火	3	大林 侑平		910講義室
16	10	02	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
17	10	09	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
18	10	16	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p>	910講義室

						<p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	
19	10	23	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
20	10	30	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
21	11	06	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
22	11	13	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
23	11	20	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
24	11	27	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
25	12	04	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
26	12	11	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
27	12	18	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	910講義室
28	01	08	火	1	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p>	910講義室

				/ 2		<ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
29	01	15	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
30	01	22	火	1 / 2	大林 侑平	<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	910講義室
	01	29	火	3	大林 侑平		603講義室

フランス語

[教育目標]

フランス語はこれまでの英語学習と違い、発音が比較的簡単に思える反面、文法的にはかなり難しく感じられるかもしれない。しかし週に一度ではあるが、基本的な文法を一通り理解して、繰り返し発音練習をすることで、将来、医療の現場でフランス人とのコミュニケーションを取らざるを得ないときに役に立つこともあると思う。異国で医者にかかった際に、母国語を理解してくれる医者に出会えることの心強さを相手に与えるためにも、英語以外のヨーロッパの外国語を学ぶことで、視野を広げ、さまざまな分野に生かせるような文化的多様性を育ててもらえればと思う。

[学修目標]

日常生活での挨拶やごく簡単なやりとりができるようになることを目指す。
文法的なレベルとしては、フランス語検定の5級程度が目標となる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

授業ごとに学習した冠詞や代名詞の用法などを復習するようにしてください。
特に、「動詞の活用」を復習する習慣をつけておくようにしてください。

[評 価]

平常点30%、定期試験70%で評価する。

[フィードバック]

定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

『パリ・ポルドー』、藤田裕二（著）、朝日出版社

[推薦参考書]

『クラウン仏和辞典』（三省堂）
『デイク仏和辞典』（白水社）
『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 稔 客員講師		※授業終了後に対応	

[授業日程]

<ノフランス語>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	10	火	2	佐々木 稔	ガイダンス	1001講義室
1	04	17	火	1 / 2	佐々木 稔	発音と綴り字①	909講義室
2	04	24	火	1 / 2	佐々木 稔	発音と綴り字②	909講義室
3	05	01	火	1 / 2	佐々木 稔	複母音字、鼻母音	909講義室
4	05	08	火	1 / 2	佐々木 稔	主語人称代名詞、動詞êtreの活用	909講義室
5	05	15	火	1 / 2	佐々木 稔	名詞と不定冠詞	909講義室
6	05	22	火	1 / 2	佐々木 稔	形容詞	909講義室
7	05	29	火	1 / 2	佐々木 稔	-er動詞の活用、定冠詞	909講義室
8	06	05	火	1 / 2	佐々木 稔	数字①、疑問文	909講義室
9	06	12	火	1 / 2	佐々木 稔	指示形容詞、動詞avoirの活用	909講義室
10	06	19	火	1 / 2	佐々木 稔	数字②、否定文	909講義室
11	06	26	火	1 / 2	佐々木 稔	疑問代名詞	909講義室
12	07	03	火	1 / 2	佐々木 稔	動詞aller	909講義室
13	07	10	火	1 / 2	佐々木 稔	近接未来	909講義室
14	07	17	火	1 / 2	佐々木 稔	不規則動詞の活用	909講義室
15	07	24	火	1 / 2	佐々木 稔	ここまでの復習	909講義室
	07	31	火	3	佐々木 稔	中間試験	603講義室
16	10	02	火	1 / 2	佐々木 稔	基礎文法の復習①	909講義室
17	10	09	火	1 / 2	佐々木 稔	基礎文法の復習②	909講義室
18	10	16	火	1 / 2	佐々木 稔	発音練習	909講義室

19	10	23	火	1 / 2	佐々木 稔	所有形容詞	909講義室
20	10	30	火	1 / 2	佐々木 稔	疑問形容詞	909講義室
21	11	06	火	1 / 2	佐々木 稔	指示代名詞	909講義室
22	11	13	火	1 / 2	佐々木 稔	定冠詞の縮約	909講義室
23	11	20	火	1 / 2	佐々木 稔	動詞venirの活用	909講義室
24	11	27	火	1 / 2	佐々木 稔	近接過去	909講義室
25	12	04	火	1 / 2	佐々木 稔	疑問副詞	909講義室
26	12	11	火	1 / 2	佐々木 稔	補語人称代名詞	909講義室
27	12	18	火	1 / 2	佐々木 稔	代名動詞	909講義室
28	01	08	火	1 / 2	佐々木 稔	中性代名詞y	909講義室
29	01	15	火	1 / 2	佐々木 稔	非人称構文	909講義室
30	01	22	火	1 / 2	佐々木 稔	これまでのまとめ	909講義室
	01	29	火	3	佐々木 稔	定期試験	603講義室

ポルトガル語

[教育目標]

日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、特に東海地方には多くの集住地域があります。医療の現場において、ブラジル・ポルトガル語圏の外国人に対応できるような言語習得の関心が高まっている。そのため、本講義では、基本的なポルトガル語の表現とブラジルや中南米の諸国の文化に関する意識を養成する。グループによる対話の実践練習を行い、ロールプレイとディスカッションがこの授業の基礎点となる。ブラジル・ポルトガル語学習を通して、国際的視野を広げ、異文化を背景とする人々と適切な意思疎通が行えるよう中身のあるコミュニケーション能力を身につけるのが目標である。

[学修目標]

異国の歴史、社会や文化を学びながら、世界観を広げ、偏見をなくす。
日常的な会話によく使われる表現を使うことができる。
ポルトガル語の医学用語やブラジル・ポルトガル語の基本点を理解し、自分で簡単な文書を作ることができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

- ・ 関連資料（プリント）を多く配布するので、ファイルを用意して保管すること。
- ・ 指示された課題は必ず自力でやっていること。週1時間程度を目安とする。

[評 価]

実践力をどこまで身に付けたかを判定する中間試験、定期試験の成績のほか、授業への取り組み姿勢（会話練習の態度等）、課題の提出状況、出席状況等を総合的に評価する。

[フィードバック]

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ 小テストはコメントをつけて返却する。
- ・ 宿題や課題についての解説を行う。

[教科書]

重松由美：『Vamos falar português! -ブラジル・ポルトガル語を話そう!』朝日出版社

[推薦参考書]

黒沢 直俊・ホノウチ ポリート・武田 千香『デイリー日葡英・葡日英辞典』三省堂
高橋 千晃『通訳いらすの医療ガイド（日ポ西対訳）』たまいらば

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

FERRARI GO	客員講師		※講義終了後に対応	
---------------	------	--	-----------	--

[授業日程]

<ポルトガル語>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	10	火	2	FERRARI GO	第二外国語ガイダンス	1001講義室
1	04	17	火	1 / 2	FERRARI GO	アルファベットと発音	809講義室
2	04	24	火	1 / 2	FERRARI GO	挨拶と自己紹介	809講義室
3	05	01	火	1 / 2	FERRARI GO	名刺の生と数	809講義室
4	05	08	火	1 / 2	FERRARI GO	ser動詞 ①	809講義室
5	05	15	火	1 / 2	FERRARI GO	ser動詞 ②、estar動詞 ①	809講義室
6	05	22	火	1 / 2	FERRARI GO	所有形容詞と家族の紹介	809講義室
7	05	29	火	1 / 2	FERRARI GO	gostar動詞	809講義室
8	06	05	火	1 / 2	FERRARI GO	規則活用動詞 ①	809講義室
9	06	12	火	1 / 2	FERRARI GO	規則活用動詞 ②	809講義室
10	06	19	火	1 / 2	FERRARI GO	estar動詞 ②、形容詞	809講義室
11	06	26	火	1 / 2	FERRARI GO	不規則活用：fazer動詞	809講義室
12	07	03	火	1 / 2	FERRARI GO	不規則活用：ter動詞	809講義室
13	07	10	火	1 / 2	FERRARI GO	ir動詞 ①	809講義室
14	07	17	火	1 / 2	FERRARI GO	ir動詞 ②	809講義室
15	07	24	火	1 / 2	FERRARI GO	前期の総復習	809講義室
	07	31	火	3	FERRARI GO	中間試験	603講義室
16	10	02	火	1 / 2	FERRARI GO	poder動詞	809講義室

17	10	09	火	1 / 2	FERRARI GO	直接法完全過去 ①	809講義室
18	10	16	火	1 / 2	FERRARI GO	直接法完全過去 ② : 「~をしたことがありますか」	809講義室
19	10	23	火	1 / 2	FERRARI GO	時間表現と数字	809講義室
20	10	30	火	1 / 2	FERRARI GO	命令と指示の表現	809講義室
21	11	06	火	1 / 2	FERRARI GO	直接法不完全過去 ①	809講義室
22	11	13	火	1 / 2	FERRARI GO	直接法不完全過去 ②	809講義室
23	11	20	火	1 / 2	FERRARI GO	querer動詞	809講義室
24	11	27	火	1 / 2	FERRARI GO	比較表現	809講義室
25	12	04	火	1 / 2	FERRARI GO	医学用語 ① : 外科	809講義室
26	12	11	火	1 / 2	FERRARI GO	医学用語 ② : 内科	809講義室
27	12	18	火	1 / 2	FERRARI GO	医学用語 ③ : その他	809講義室
28	01	08	火	1 / 2	FERRARI GO	様々な表現	809講義室
29	01	15	火	1 / 2	FERRARI GO	別れの挨拶と感謝表現	809講義室
30	01	22	火	1 / 2	FERRARI GO	後期の総復習	809講義室
	01	29	火	3	FERRARI GO	定期試験	603講義室

中国語

[教育目標]

中国語の初級段階を総合的に学習し、音声・文法・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的知識の習得及び運用能力の養成を目標とする。「読む」「書く」「聴く」「話す」の4技能をバランスよく身に付け、中国語に親しむことを目指す。また、視聴覚メディア等を通じて、文化・習俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。

[学修目標]

声調言語である中国語の学習において、音声習得は最重要ポイントである。授業では十分な時間をかけて反復練習を行い、正確で美しい発音の習得を目指す。また、日本語や英語との比較を通じて中国語の語順・基本文型などをマスターし、平易な文章を読解する力、辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。ピンインの綴りを習得し、正確に発音できる。中国語の基礎文法を習得し、初級レベルの表現を産出できる。医療現場で用いられる基礎的な語彙、表現例を使ってコミュニケーションできる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義のみ

[準備学習（予習・復習等）]

指示に従い事前課題及び復習課題に取り組むこと。課題には単元ごとに設けられている練習問題や課文の朗読、暗誦等が含まれる。それぞれ30分程度を目安とする。

[評 価]

中間試験、定期試験の成績のほか、授業への貢献度、出席状況などを総合的に評価する。

[フィードバック]

- ・各種試験については評価後フィードバックを行い、疑義のある場合は対応する。
- ・課題レポート等の成果物については評価後返却し、不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

『日中いぶこみ交差点』相原茂・陳淑梅・飯田敦子著（朝日出版社）

[推薦参考書]

推薦参考書・辞書については、別途授業で紹介する。

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館 8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
勝川 裕子 客員准教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<中国語>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	10	火	2	勝川 裕子	第二外国語ガイダンス	1001講義室
1	04	17	火	1 / 2	勝川 裕子	発音編 第一課：声調、単母音、複母音 中国語論概説（1）	810講義室
2	04	24	火	1 / 2	勝川 裕子	発音（2）：子音、鼻母音 中国語論概説（2）	810講義室
3	05	01	火	1 / 2	勝川 裕子	発音（3）：軽声、声調変化、発音総まとめ 中国語論概説（3）	810講義室
4	05	08	火	1 / 2	勝川 裕子	「どうぞよろしく」（1） 文法項目：人称代名詞、挨拶ことば、“是”、“吗”	810講義室
5	05	15	火	1 / 2	勝川 裕子	「どうぞよろしく」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
6	05	22	火	1 / 2	勝川 裕子	「お名前は」（1） 文法項目：姓名の言い方、“呢”、呼びかけの言葉、“吧”	810講義室
7	05	29	火	1 / 2	勝川 裕子	「お名前は」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
8	06	05	火	1 / 2	勝川 裕子	「ご出身は」（1） 文法項目：指示代名詞、“的”、“都”と“也”、動詞述語文	810講義室
9	06	12	火	1 / 2	勝川 裕子	「ご出身は」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
10	06	19	火	1 / 2	勝川 裕子	「飲み物は」（1） 文法項目：疑問詞“想”、反復疑問文、“喜欢”	810講義室
11	06	26	火	1 / 2	勝川 裕子	「飲み物は」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
12	07	03	火	1 / 2	勝川 裕子	「おいくつ」（1） 文法項目：数詞、年齢の言い方、量詞、“有”	810講義室
13	07	10	火	1 / 2	勝川 裕子	「おいくつ」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
14	07	17	火	1 / 2	勝川 裕子	「和食はいかが」（1） 文法項目：“过”、“请”、“还是”、形容詞述語文	810講義室
15	07	24	火	1 / 2	勝川 裕子	「和食はいかが」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
	07	31	火	3	勝川 裕子	中間試験	603講義室
16	10	02	火	1 / 2	勝川 裕子	中間試験フィードバック 「家庭訪問」（1） 文法項目：助動詞“要”、主述述語文、比較構文、前置詞“给”	810講義室
17	10	09	火	1 / 2	勝川 裕子	「家庭訪問」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
18	10	16	火	1 /	勝川 裕子	「買い物」（1） 文法項目：助動詞“可以”、動詞の重ね型、方向補語、連動文、お金の言い方	810講義室

				2			
19	10	23	火	1 / 2	勝川 裕子	「買い物」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
20	10	30	火	1 / 2	勝川 裕子	「道案内」(1) 文法項目：“怎么”、前置詞“离”“从”“往”、助動詞“得”、動詞“在”、動態助詞“了”	810講義室
21	11	06	火	1 / 2	勝川 裕子	「道案内」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
22	11	13	火	1 / 2	勝川 裕子	「中秋節」(1) 文法項目：年月日・曜日の言い方、“快～了”、文末助詞“了”、前置詞“跟”、“一边～一边”	810講義室
23	11	20	火	1 / 2	勝川 裕子	「中秋節」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
24	11	27	火	1 / 2	勝川 裕子	「食事の前は」(1) 文法項目：時刻の言い方、時間量、禁止表現“别”、“挺”	810講義室
25	12	04	火	1 / 2	勝川 裕子	「食事の前は」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
26	12	11	火	1 / 2	勝川 裕子	「手作り料理」(1) 文法項目：助動詞“会”、結果補語、“不”と“没”、方位詞	810講義室
27	12	18	火	1 / 2	勝川 裕子	「手作り料理」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
28	01	08	火	1 / 2	勝川 裕子	「カニの季節」(1) 文法項目：助動詞“能”、前置詞“在”、“再”、可能補語	810講義室
29	01	15	火	1 / 2	勝川 裕子	「カニの季節」(2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	810講義室
30	01	22	火	1 / 2	勝川 裕子	視聴覚教材、総復習	810講義室
	01	29	火	3	勝川 裕子	定期試験	603講義室

生物学

【教育目標】

生命現象全般を取り扱う「生物学」は、ヒトを対象とする「医学」の基本となる学問である。生物学の講義では、生命現象を支える生体高分子の基礎とその代謝、生命体の基盤をなす細胞の構造と機能、そして細胞の有機的な集団である個体について、生命現象全体に対する階層的な理解を深める。そして生命現象がすべて、DNAに書かれた遺伝情報の発現という共通システムによって支配されていることを学ぶ。さらに、地球上の生物がこの共通システムを用いながら、どのようにして今日のような多様性を生み出してきたのか、生物の「しなやかさ」と「したたかさ」について理解する。また、2学期には「生物学実習」を実施し、問題の設定とその探究方法を学ぶことで、医療現場で必要とされる問題解決能力を身につける。

【学修目標】

高校で生物学を履修してこなかった学生を対象に「入門コース」、履修してきた学生を対象に「標準コース」を設け、それぞれ異なった講義を行う。「入門コース」は「標準コース」より多くの講義時間数を充てることで、講義終了時には「標準コース」の学生と遜色のない学力が身についていることを目指す。「生物学」を暗記物と捉えることなく、学んだことを有機的に関連づけ、生物学の全体像を把握することによって、今後学んでいく「基礎医学」や「臨床医学」の礎を固めることを目標とする。具体的には、以下に掲げる項目を中心に学習を進める。

生体構成成分の構造と働きを理解する。

細胞の構造と働きを理解する。

エネルギー獲得の反応を例にして生体で起こる代謝を理解する。

遺伝子からタンパク質への情報の流れに基づいて生命現象を理解する。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義と実習

【準備学習（予習・復習等）】

生物学履修に必要な専門用語を学内のネットワーク（Moodle）にアップロードしておくので、意味、概念を自習して講義に臨むこと。なお、この用語集は入門コースの定期試験の出題範囲でもある。

生物学標準コースでは各講義プリント末尾の課題を宿題として提出する。次回の講義までに30分程度の時間をかけて、課題を検討すること。

【評価】

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-1, 2、V-1）、パフォーマンス・レベルD

中間試験の成績を主な評価の方法とし、講義・実習にわたる統合試験を定期試験として課し、生物学の総合評価を行う。

(2)実習；（卒業コンピテンシー IV-1、V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

生物学実習では、毎回の小テストとレポートおよび実習終了後の小試験により評価する。

(3)実習態度；（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

講義および実習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

【フィードバック】

入門コースの毎回の講義内で実施する小課題は、大まかなチェックをして返却するので、次のコマでのレビューを参考に修正してファイルし、ポートフォリオとすること。

入門コースの小テスト、標準コースの中間試験の解答用紙は返却しないので、必ず内容の確認に来ること。

【教科書】

入門コースは「医療・看護系のための生物学」田村 隆明（裳華房）と

「基礎からしっかり学ぶ生化学」成田 央、山口 雄輝（羊土社）の2冊、

標準コースは「Essential細胞生物学 原書第4版」中村 桂子 他 監訳（南江堂）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室
生涯教育研修センター 1号館 9階909講義室

【実習場所】

医学部 1号館 地下1階実習室

【担当教員・オフィスアワー】

<生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 7階706
守口 匡子 講師	月曜～金曜	9:00～19:00	生涯教育研修センター 1号館 7階703
角川 裕造 准教授	月曜～金曜	16:00～18:30	生涯教育研修センター 1号館7階703

<化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～17:30	生涯教育研修センター 1号館 8階805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
小川 久光 客員教授		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<生物学(入門)>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	10	火	3	吉田 友昭	細胞とは C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。	1001講義室
2	04	11	水	2	吉田 友昭	細胞小器官 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。	1001講義室
3	04	12	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	生命の成り立ち～分子的背景～ C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ●水の性質、水溶液、水素結合を説明できる ●疎水性相互作用を説明できる。	1001講義室
4	04	17	火	3	吉田 友昭	チャネルとトランスポーター C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能	1001講義室

						<ul style="list-style-type: none"> ○細胞の全体像を図示できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 <ul style="list-style-type: none"> ○膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ●細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 	
5	04	18	水	2	吉田 友昭	<p>遺伝情報からできる物質はタンパク質 I</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞の全体像を図示できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 ●遺伝子型と表現型の関係を説明できる。 	1001講義室
6	04	19	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	<p>遺伝子の正体</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○核とリソソームの構造と機能を説明できる。 <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mendel の法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ●アミノ酸の種類と性質を説明できる。 	1001講義室
7	04	24	火	3	吉田 友昭	<p>遺伝情報からできる物質はタンパク質 II</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ●ペプチド結合、タンパク質の階層構造を説明できる。 ●核酸が正確にペアを作る背景を説明できる。 	1001講義室
8	04	25	水	2	吉田 友昭	<p>遺伝子の発現と調節 I</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mendel の法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ●核酸が正確にペアを作る背景を説明できる。 ●DNAとRNAの化学的違いを説明できる。 	1001講義室
9	04	26	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	<p>遺伝子の発現と調節 II</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ●遺伝暗号が3文字からなることを説明できる。 	1001講義室
10	05	01	火	3	吉田 友昭	<p>遺伝子の発現と調節 III</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ●プロモーター、転写因子等による遺伝子発現の調節を説明できる。 	1001講義室
11	05	02	水	2	吉田 友昭	<p>生命現象を担うかなめはタンパク質のなかでも酵素 I</p> <p>C-2-3)-(4) ホメオスタシス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○恒常性維持のための調節機構 (ネガティブフィードバック調節) を説明できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○酵素の機能と調節を説明できる。 ○解糖の経路と調節機構を説明できる。 	1001講義室
12	05	08	火	3	吉田 友昭	<p>生命現象を担うかなめはタンパク質のなかでも酵素 II</p> <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○酵素の機能と調節を説明できる。 ○解糖の経路と調節機構を説明できる。 	1001講義室

						● アロステリック調節を説明できる。	
13	05	09	水	2	吉田 友昭	栄養素と代謝 I C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ● ATPがエネルギー担体であることを説明できる。	1001講義室
14	05	10	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	栄養素と代謝 II C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 電子伝達系と酸化リン酸化を説明できる。 ○ 脂質の合成と分解を説明できる。	1001講義室
15	05	15	火	3	吉田 友昭	栄養素と代謝 III C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。 ○ ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。	1001講義室
16	05	16	水	2	吉田 友昭	栄養素と代謝 IV C-2-5) 生体物質の代謝 ○ アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。 ● 脂質の吸収を説明できる。	1001講義室
17	05	17	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論	1001講義室
18	05	22	火	3	吉田 友昭	少し詳細に、細胞、生命とは C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 ● トリドメイン説を説明できる。 ● 二名法を説明できる。 ● ウイルスの増殖機構を説明できる。 ● 細胞同士の接着と結合様式を説明できる。	1001講義室
19	05	23	水	2	吉田 友昭	細胞内外のイオン濃度と神経伝導 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○ 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。	1001講義室
20	05	24	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮 I C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○ シナプス(神経筋接合部を含む)の形態とシナプス伝達の機能(興奮性、抑制性)と可塑性を説明できる。 ○ 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 ● モータータンパクを説明できる。 ● EPSP、IPSPを説明できる。	1001講義室
21	05	29	火	3	吉田 友昭	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮 II C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 ● T管の構造と意義について説明できる。	1001講義室
22	05	30	水	2	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○ 受容体による情報伝達の機序を説明できる。	1001講義室
23	05	31	木	4	吉田 友昭	DNAの複製と細胞周期 I C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。	1001講義室

24	06	05	火	3	吉田 友昭	DNAの複製と細胞周期Ⅱ C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ●岡崎フラグメントの必然性を説明できる。 ●細胞周期を概説できる。	1001講義室
25	06	06	水	2	吉田 友昭	DNAの複製と細胞周期Ⅲ C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ●DNA複製時のプライマーの必要性を説明できる。 ●岡崎フラグメントの必然性を説明できる。 ●PCRの原理とその方法を説明できる。	1001講義室
26	06	07	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ●岡崎フラグメントの必然性を説明できる。	1001講義室
27	06	12	火	3	吉田 友昭	DNA複製と減数分裂と遺伝Ⅰ C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ●遺伝的多様性を減数分裂の過程から説明できる。	1001講義室
28	06	13	水	2	吉田 友昭	DNA複製と減数分裂と遺伝Ⅱ C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○遺伝型と表現型の間関係を説明できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○進化の基本的な考え方を説明できる。	1001講義室
29	06	14	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論 ●タンパク質のドメインとエキソンの関係、遺伝子重複を説明できる。 ●ABO血液型の遺伝を説明できる。	1001講義室
30	06	19	火	3	吉田 友昭	細胞間情報伝達と恒常性Ⅰ C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○受容体による情報伝達の機序を説明できる。 D-12-1) 構造と機能 ○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを挙挙できる。 ○視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	1001講義室
31	06	20	水	2	吉田 友昭	細胞間情報伝達と恒常性Ⅱ C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。 ●インスリンによる血糖下降機構を説明できる。	1001講義室
32	06	21	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論 C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○細胞内シグナル伝達過程を説明できる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○恒常性維持のための調節機構(ネガティブフィードバック調節)を説明できる。	1001講義室
33	06	26	火	3	吉田 友昭	ヒトの組織と器官Ⅰ C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-6-1) 構造と機能 ○血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。 ●ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。	1001講義室
34	06	27	水	2	吉田 友昭	ヒトの組織と器官Ⅱ D-1-1) 構造と機能 ○血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。 ●血漿と血清を説明できる。 ●ミオグロビンの酸素解離曲線を説明できる。 ●コリ回路を説明できる。	1001講義室
35	06	28	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	まとめとグループ討論	1001講義室
36	07	03	火	3	吉田 友昭	C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。	1001講義室

						<p>C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生物種とその系統関係を概説できる。 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体節の形成と分化を説明できる。 	
37	07	04	水	2	吉田 友昭 守口 匡子	小テスト	1001講義室
38	07	05	木	4	吉田 友昭 守口 匡子	ゲノムからタンパク合成までのまとめとグループ討論	1001講義室
39	07	10	火	3	吉田 友昭 守口 匡子	DNA複製、細胞増殖、減数分裂のまとめとグループ討論	1001講義室
40	07	11	水	2	吉田 友昭 守口 匡子	細胞間情報伝達と神経伝導のまとめとグループ討論	1001講義室

<生物学(標準)>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	11	水	3	角川 裕造	序論 ヒトのことを良く知るために ● 認識について認識できる。	909講義室
2	04	18	水	3	角川 裕造	生物学の基本的枠組み A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 ○ 生物種とその系統関係を概説できる。 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。	909講義室
3	04	20	金	4	角川 裕造	生体の構成成分(1) 水 ● 生体や細胞を構成している元素、分子を概説できる。 ● 水の性質、水溶液、水素結合が説明できる。	909講義室
4	04	25	水	3	角川 裕造	生体の構成成分(2) 炭素化合物 ● 生体高分子について、単量体と重合体を説明できる。 ● 脂質の構造と機能を説明できる。 ● 糖質の構造と機能を説明できる。	909講義室
5	04	27	金	4	角川 裕造	生体の構成成分(3) タンパク質、核酸 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● ペプチド結合、タンパク質の階層構造を説明できる。 ● 核酸の構成成分を説明できる。 ● DNAとRNAの違いを説明できる。	909講義室
6	05	02	水	3	角川 裕造	生物の構成単位 細胞 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 ● 細胞内輸送システムを説明できる。	909講義室
7	05	09	水	3	角川 裕造	生体膜の構造と機能 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。	909講義室
8	05	11	金	4	角川 裕造	細胞、組織、器官 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ● 腎の機能を細胞で説明できる。	909講義室
9	05	16	水	3	角川 裕造	生命活動の源 代謝(1) エネルギー生産 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。	909講義室

						○エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。	
10	05	18	金	4	角川 裕造	生命活動の源 代謝(2) エネルギー生産と分解 C-2-5) 生体物質の代謝 ○クエン酸回路を説明できる。 ○電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○脂質の合成と分解を説明できる。	909講義室
11	05	23	水	3	角川 裕造	多細胞生物への道(1) 細胞は動く C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ○微小管の役割や機能を説明できる。 ●筋肉が収縮するしくみを説明できる。	909講義室
12	05	25	金	4	角川 裕造	多細胞生物への道(2) 細胞は増える ●細胞の分裂過程を説明できる。 ●細胞周期とチェックポイントを説明できる。 ●体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。	909講義室
13	05	30	水	3	角川 裕造	多細胞生物への道(3) 細胞は伝える C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○細胞内シグナル伝達過程を説明できる。	909講義室
14	06	01	金	4	角川 裕造	神経伝達のメカニズム C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ○シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。	909講義室
	06	06	水	3	角川 裕造	中間試験(1)	603講義室
15	06	08	金	4	角川 裕造	遺伝(1) 遺伝子の正体 ●遺伝子の正体がDNAであることを証明した実験を概説できる。 ●遺伝子、タンパク質、形質の関係を説明できる。 ●DNAの二重らせん構造を説明できる。	909講義室
16	06	13	水	3	角川 裕造	遺伝(2) 遺伝子の複製 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。	909講義室
17	06	15	金	4	角川 裕造	遺伝(3) 減数分裂とメンデル遺伝 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。 ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ●家系図から遺伝様式を推定できる。	909講義室
18	06	20	水	3	角川 裕造	遺伝子の発現(1) 転写 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。 ●原核生物と真核生物の転写過程の違いを説明できる。	909講義室
19	06	22	金	4	角川 裕造	遺伝子の発現(2) 翻訳 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○タンパク質の合成と分解を説明できる。 ●タンパク質の翻訳後修飾、品質管理を説明できる。	909講義室
20	06	27	水	3	角川 裕造	遺伝子の発現(3) 遺伝子工学 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ●制限酵素、遺伝子組換えが説明できる。 ●クローニングについて説明できる。 ●PCR法が説明でき、その応用について概説できる。	909講義室

21	06	29	金	4	角川 裕造	遺伝子の発現(4) 原核生物遺伝子の発現調節 ● プロモーター、転写因子などによる遺伝子の発現調節のしくみを説明できる。 オペロン説について説明できる。	909講義室
22	07	04	水	3	角川 裕造	遺伝子の発現(5) 真核生物遺伝子の発現調節 ● 真核生物での遺伝子の発現調節の機構を概説できる。	909講義室
23	07	06	金	4	角川 裕造	発生のしくみ(1) 形態形成 C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ● 発生過程を遺伝子の発現変化として捉えることができる。 ● クローン生物を説明できる。 ● 細胞分化のマスター遺伝子を説明できる。	909講義室
24	07	11	水	3	角川 裕造	発生のしくみ(2) 再生医療 ● 組織幹細胞, ES細胞を説明できる。 ● クローン胚, iPS細胞が説明できる。	909講義室
25	07	13	金	4	角川 裕造	生体防御 C-2-3)-(3) 生体防御の機序 ○ 生体の非特異的防御機構を説明できる。 ○ 特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。 ○ 体液性と細胞性免疫応答を説明できる。 ● 遺伝子再編成について説明できる。	909講義室
26	07	18	水	3	角川 裕造	がん C-4-6) 腫瘍 ○ 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ○ 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。 ○ 癌の転移を説明できる。	909講義室
27	07	20	金	4	角川 裕造	まとめ と 振り返り	909講義室
	07	24	火	3	角川 裕造	中間試験(2)	603講義室

<生物学 (実習)>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	05	金	4	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	顕微鏡操作法 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。	B1実習室
2	10	05	金	5			
3	10	05	金	6			
4	10	12	金	4	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	細胞のダイナミズム (染色体・細胞分裂・筋収縮の観察) ● 細胞周期を説明できる。 ● 筋収縮の機構を説明できる。 ● 細胞分裂過程を説明できる。	B1実習室
5	10	12	金	5			
6	10	12	金	6			
7	10	19	金	4	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	生命活動とエネルギー (アルコール発酵の測定) C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ● 解糖系・発酵によるATPの産生過程を説明できる。 ● NAD ⁺ の再生法による代謝の違いを説明できる。 ● 酵素の機能と代謝調節を説明できる。 ● 好気呼吸の過程を説明できる。	B1実習室
8	10	19	金	5			
9	10	19	金	6			
10	11	02	金	4	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	遺伝子は形質を支配する (DNAの精製と形質転換) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● プラスミドDNA単離の原理を説明できる。 ● 遺伝子操作技術の原理を説明できる。 ● 形質転換の意義を説明できる。	B1実習室
11	11	02	金	5			
12	11	02	金	6			
13	11	09	金	4	吉田 友昭 守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児	遺伝子を切って、見る (制限酵素によるDNAの切断と電気泳動) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。	B1実習室
14	11	09	金	5			

15	11	09	金	6	小川 久光	<ul style="list-style-type: none"> ○染色体分析・DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ●遺伝子操作に関連した酵素を説明できる。 ●電気泳動の原理を説明できる。 	
	11	22	木	6	守口 匡子 角川 裕造	中間試験 (3)	603講義室

化学

[教育目標]

化学は物質の構造、性質および反応性を知るための学問である。生体を構成する成分は20余種の元素からなっており、主な元素は炭素、水素、酸素、窒素、硫黄、リンなどである。生体は約60%が水分、約4%が無機質、そして残りが有機化合物、すなわちアミノ酸、タンパク質、糖質、脂質、核酸などからなっている。また、生体中の無機質や有機化合物は水の存在下で種々の生理的機能を発揮している。したがって、生体中の無機質や有機化合物の化学的な性質・反応性に関する知識をもつことは、生体の生理的機能を解明する学問である生化学や生理学、薬物の作用を解明する学問である薬理学、生体を取り巻いている環境と生体との関わりを解明する学問である公衆衛生学、病態を解明する学問である病理学、病態を生体内化学物質の検査値で推察する臨床検査学などを理解する上で必要である。

以上のような観点から、講義では生命と化学の接点、原子の構造と性質、化学結合、溶液の化学、酸・塩基と酸化・還元、反応速度と自由エネルギー、有機化合物の構造と種類、有機化学反応、生体構成物質の化学、活性酵素と生体内で生じるガス分子の化学について学ぶ。

また、化学実習では分子模型や生体成分を使った実験を行って、基本的な有機化合物と生体成分の構造、性質および反応性を理解する。

[学修目標]

原子の構造と性質を説明できる。

化学結合と分子間に働く相互作用を説明できる。

電離平衡と緩衝作用を説明できる。

反応速度論を説明できる。

基本的な有機化合物をIUPAC命名法で命名できる。

基本的な有機化合物の構造と化学的性質を説明できる。

基本的な有機化学反応を説明できる。

主な生体構成成分の構造と化学的性質を説明できる。

生体内における活性酸素種の生成系・消去系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

基本的な化学用語を英語で表記できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義と実習

[準備学習（予習・復習等）]

講義前に、あらかじめ教科書の該当部分を一読しておくこと。講義で理解できなかった部分については、教科書や資料を丹念に読み、また質問するなどして解決し、理解できないままに放置しないこと。実習では、事前に実習書をよく読み、当日の実験内容をよく把握しておくこと。それぞれ約30分程度を目安とする。

[評価]

試験；（卒業コンピテンシー IV-1、V-1、パフォーマンス・レベルD）

- ・ 講義内容に基づく中間試験（筆記） [6月と前期試験期間、2回]
- ・ 実習内容と実習に関連した講義内容に基づく定期試験（筆記） [後期試験期間]
- ・ 実習小テスト（多肢選択） [各実習で実施]

によって、総合的に行う。ただし、定期試験が不合格である場合は、総合評価は不合格となる。

[フィードバック]

- ・ 中間試験と定期試験の結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・ 実習小テストは、次回の実習時に解答および解説を示す。
- ・ 実習終了時に提出する報告書は、確認後返却する。

[教科書]

「メディカル化学 ― 医歯薬系のための基礎化学」 齋藤勝裕、太田好次、山倉文幸、八代耕児、馬場 猛 著
(裳華房)

「医学部化学実験」(無償配布)

[推薦参考書]

「イラストレイテッドハーバー・生化学 原書30版」清水孝雄 監訳(丸善)
「生命の化学 — バイオサイエンスの基礎づくり」安藤祥司、熊本栄一、兒玉浩明、高崎洋三 著(化学同人)
「バイオサイエンス化学 — 生命から学ぶ化学の基礎」新井孝夫、立屋敷哲、大森大二郎、丹羽治樹 著(東京化学同人)
「絶対わかる化学の基礎知識」齋藤勝裕 著(講談社)
「絶対わかる化学結合」齋藤勝裕 著(講談社)
「絶対わかる無機化学」齋藤勝裕 著(講談社)
「絶対わかる有機化学」齋藤勝裕 著(講談社)

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室、9階909講義室

[実習場所]

医学部 1号館 地下1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～17:30	生涯教育研修センター 1号館 8階805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 好次 客員教授		※講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1号館 9階909講義室

<生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 7階706
角川 裕造 准教授	月曜～金曜	16:00～18:30	生涯教育研修センター 1号館 7階703

[授業日程]

<化学>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	11	水	4	八代 耕児 太田 好次	生命と化学の接点 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○細胞の全体像を図示できる。 ○細胞膜の構造と機能を説明できる。 ●生命の基本単位である細胞のしくみと生体分子の関連性を説明できる	909講義室 1001講義室
2	04	18	水	4	八代 耕児 太田 好次	原子の構造と性質 E-6-1) 生体と放射線 ○放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。 ●電子のスピン、パウリの排他率とフントの法則を説明できる。 ●電子親和力を説明できる。 ●電子の軌道を説明できる。 ●周期表にしたがって、原子の大きさ、電気陰性度、イオン化エネルギーを説明できる。 ●原子核の構造を概説できる。 ●放射性同位元素を説明できる。	909講義室 1001講義室

3	04	20	金	5	八代 耕児 太田 好次	化学結合と混成軌道① ● イオン結合、金属結合と共有結合を説明できる。	909講義室 1001講義室
4	04	25	水	4	八代 耕児 太田 好次	化学結合と混成軌道② ● 炭素原子を例にとり、混成軌道を説明できる。 ● 単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	909講義室 1001講義室
5	04	27	金	5	八代 耕児 太田 好次	結合のイオン性と分子間力 ● 共有結合のイオン性を説明できる。 ● 電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス相互作用等の弱い結合を説明できる。 ● n-n相互作用、疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。	909講義室 1001講義室
6	05	09	水	4	八代 耕児 太田 好次	配位結合と有機金属化合物 溶液の化学 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 配位結合を説明できる。 ● 生体における錯体を説明できる。 ● 微量元素の種類と作用を説明できる。 ● 当量と当量濃度を説明できる。 ● 浸透圧濃度と容量オスモル濃度を説明できる。	909講義室 1001講義室
7	05	11	金	5	八代 耕児 太田 好次	酸・塩基と酸化・還元 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。) ● 酸化還元電位と標準水素電極を説明できる。 ● 電離平衡と緩衝作用を説明できる。 ● 生体における溶液中の電離平衡を概説できる。 ● Henderson-Hasselbalch (ヘンダーソン・ハッセルバルヒ) の式を説明できる。	909講義室 1001講義室
8	05	14	月	4	八代 耕児 太田 好次	反応速度① ● 一次反応、二次反応等の反応速度や速度式を説明できる。	909講義室 1001講義室
9	05	16	水	4	八代 耕児 太田 好次	反応速度② C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能を説明できる。 ● 酵素反応の特徴を説明できる。 ● Michaelis-Menten (ミカエリス・メンテン) の式を説明できる。 ● Lineweaver-Burk (ラインウィーバー・バーク) プロットを説明できる。	909講義室 1001講義室
10	05	18	金	5	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類① ● 有機化合物の命名法を説明できる。 ● 炭化水素を分類し、その化学的性質を説明できる。 ● 単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	909講義室 1001講義室
11	05	23	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類② ● 芳香族性(ヒュッケル則)を説明できる。 ● 環状構造とその性質を説明できる。 ● 主な芳香族化合物を列挙し、その化学的性質を説明できる。	909講義室 1001講義室
12	05	30	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類③ ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアルコール、フェノールおよびエーテルをIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアルコール、フェノールおよびエーテルを列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909講義室 1001講義室
13	06	01	金	5	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類④ ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909講義室 1001講義室
14	06	06	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類⑤ ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	909講義室 1001講義室
15	06	08	金	5	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の異性体① ● Fischer (フィッシャー) 投影式を説明できる。 ● RS絶対配置を説明できる。	909講義室 1001講義室

						● 光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。	
16	06	13	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の異性体② ● 立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。 ● Newman (ニューマン) 投影式を説明できる。	909講義室 1001講義室
17	06	15	金	5		中間試験 I	
18	06	20	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化学反応① ● 電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ● 置換反応と脱離反応を説明できる。	909講義室 1001講義室
19	06	27	水	4	八代 耕児 太田 好次	有機化学反応② ● 付加反応、転移反応と酸化還元反応を説明できる。 ● 生体内でみられる有機化学反応を分類できる。	909講義室 1001講義室
20	06	29	金	5	八代 耕児 太田 好次	脂質① C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸を慣用名と種々の表記法で命名できる。 ● 必須脂肪酸を説明できる。 ● 脂肪酸の過酸化反応を説明できる。	909講義室 1001講義室
21	07	04	水	4	八代 耕児 太田 好次	脂質② C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。	909講義室 1001講義室
22	07	04	水	5	八代 耕児 太田 好次	脂質③ 糖質① C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 単糖類の環状構造とその性質を説明できる。 ● 単糖類の種類と性質を説明できる。 ● Haworth (ハース) 投影式を説明できる。 ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● コレステロールの環状構造とその性質を説明できる。 ● 生体膜中の脂質の役割を説明できる。	909講義室 1001講義室
23	07	06	金	5	八代 耕児 太田 好次	糖質② C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ● 単糖類と二糖類の種類と性質を説明できる。 ● 糖の誘導体を説明できる。	909講義室 1001講義室
24	07	11	水	4	八代 耕児 太田 好次	糖質③ C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。) ● 多糖類の種類と性質を説明できる。 ● 炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 糖とタンパク質との非酵素的反応を説明できる。	909講義室 1001講義室
25	07	11	水	5	八代 耕児 太田 好次	アミノ酸とタンパク質 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。) ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● アミノ酸が両性電解質であることと等電点を説明できる。 ● 必須アミノ酸を列挙できる。	909講義室 1001講義室
26	07	13	金	5	八代 耕児 太田 好次	アミノ酸とタンパク質 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (タンパク質の合成と分解を説明できる。) ● タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ● タンパク質の変性を説明できる。	909講義室 1001講義室

27	07	18	水	4	八代 耕児 太田 好次	核酸① C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。) ● 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ● ヌクレオチド構造を有する生理活性物質を列挙し、それらの働きを説明できる。	909講義室 1001講義室
28	07	18	水	5	八代 耕児 太田 好次	核酸② C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。 ● 核酸の構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ● n-n相互作用や疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。	909講義室 1001講義室
29	07	20	金	5	八代 耕児 太田 好次	活性酸素の化学 生体内で生じるガス状分子の化学 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 電子伝達系と酸化リン酸化を説明できる。 ○ 酸化ストレス (フリーラジカル、活性酸素) の発生と作用を説明できる。 ● 活性酸素を列挙し、その化学構造と性質を説明できる。 ● 生体内におけるフリーラジカルと活性酸素の消去系を説明できる。 ● 一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の化学構造と性質を説明できる。 ● 生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と作用を説明できる。	909講義室 1001講義室

<化学 (実習) >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	11	16	金	4	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造	糖の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 ● 単糖類、二糖類と多糖類の種類と性質を説明できる。 ● 炭水化物の基本的な構造を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 糖の特異的反応を説明できる。	B1実習室
2	11	16	金	5			
3	11	16	金	6			
4	11	30	金	4	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造	分子模型を用いての有機化合物の立体構造に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 ● 有機化合物の立体構造を説明できる。 ● 光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ● RS絶対配置を説明できる。 ● 環状構造とその性質を説明できる。 ● 立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。	B1実習室
5	11	30	金	5			
6	12	07	金	4	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造	アミノ酸とタンパク質の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 E-5-3)-(1) 中毒 ○ 重金属による中毒を概説できる。 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● アミノ酸の薄層クロマトグラフィーの原理について説明できる。 ● タンパク質の特異的反応を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● タンパク質の基本的な構造を説明できる。	B1実習室
7	12	07	金	5			
8	12	07	金	6			
9	12	14	金	4	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造	核酸の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 ● 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ● 核酸の構成成分の化学的性質を説明できる。 ● 塩基の分光学的性質を説明できる。 ● Lambert-Beer (ランベルト・ベール) の法則を説明できる。	B1実習室
10	12	14	金	5			
11	12	14	金	6			
12	12	21	金	4	八代 耕児 太田 好次 吉田 友昭 角川 裕造	酵素反応に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能を説明できる。 ● 酵素反応の特徴を説明できる。 ● 電離平衡と緩衝作用を説明できる。	B1実習室
13	12	21	金	5			
14	12	21	金	6			

物理学

[教育目標]

物理学は全ての自然科学を学ぶ基礎となるものであり、教科内容は多岐にわたる。本講義では教科内容をいくつかの部分にわけ、それぞれに教育目標を設定する。前期には物理学の基礎として力学、波、流体、電気、原子核や放射線について学び、後期には表面張力と熱力学を中心に、基礎医学に関連の深い現象を学ぶ。各分野での目標は以下の通りである。

1. 力学

自然現象を数理的に理解する能力を高めるために、その基礎となる数学的手法を学ぶとともに、論理的・数理的な自然観を学ぶ。

論理的に構成された自然科学の理論体系のお手本として力学を学ぶ。

2. 波

超音波、電磁波(光、電波、X線)等を理解するため、波動現象に関わる物理量や数理的扱いを習得する。音や電磁波を利用した医療用検査機器の基本原則を説明できるようにする。

3. 流体

静止流体の性質と運動する流体に成り立つ法則を理解する。

医学基礎科目の理解に必要なとされる流体関連の基礎知識を説明できるようにする。

4. 電磁気

電荷、電場、磁場、電流、電位など物理量の意味を理解する。

電磁気の法則を理解し、説明できるようにする。

電磁気現象の医学基礎科目や医療への応用について説明できるようにする。

5. 原子核・放射線

原子核の構造や放射線の種類、医療への応用を理解し説明できるようにする。

6. 表面張力

肺や血管・心臓の物理的なメカニズムを理解するための基礎知識として、液体の表面張力や弾性体膜の張力について説明できるようにする。

7. 熱力学

エントロピーや自由エネルギーの概念を理解し説明できるようにする。

分子の熱運動や拡散・浸透圧など、生体内のイオンや分子の移動等に関連した現象を理解するための基礎知識を理解し説明できるようにする。

[学修目標]

力学：力と運動を表す物理量および物理量の相互関係を理解し、説明することができる。

力学：ニュートンの運動の3法則といういろいろな力の性質および、そこから導かれる法則や保存則を理解し、運動を分析、予想することができる。

力学：剛体の回転を含む運動の表し方と法則を理解し、現象に当てはめて説明することができる。

力学：弾性体のひずみと応力の関係を説明できる。

流体：静止流体および流体内にある物体に働く力とその釣り合いを分析することができる。

流体：連続の式及びベルヌーイの定理を理解し、流体の運動を考察することができる。

流体：粘性流体に働く力を理解し、圧力勾配と流量の関係、特にハーゲン・ポアズイユの法則を説明できる。

波動：波動現象を振動の伝搬として理解し、波の諸現象(反射、透過など)を説明できる。

波動：重ね合わせの原理と、干渉、回折現象について説明できる。

波動：電磁波や音波を利用した医療機器の原理を説明できる。

電気：静電気力と関連する物理量を説明できる。

電気：電気回路におけるオームの法則とキルヒホッフの法則を理解し、回路で生じる現象を説明できる。

原子核・放射線：原子核の構造、崩壊と放射線について説明できる。

原子核・放射線：検査や治療における放射線の利用について説明できる。

表面張力：表面張力と膜に蓄えられるエネルギーについて説明できる。

表面張力：ラプラスの法則を用いて、血管や肺胞などの力学現象を説明できる。

熱力学：熱力学の基本法則を理解し、不可逆過程とエントロピーの関係を説明できる。

熱力学：自由エネルギーの概念を理解し、状態の変化の向きと平衡状態を推定することができる。

[身につける能力]

別紙参照(卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表)

[授業の種類]

講義(各講義の一部に演習を含む)

【クラス編成】

前期は「標準コース」と「入門コース」の2クラスに分かれ、それぞれ異なった授業が実施される。標準コースでは大学受験の際に物理を選択したことを前提として、また、入門コースでは選択していないことを前提として、授業が行なわれる。入門コースの学生も、1学期終了時には標準コースの学生と同程度の数理的処理能力や物理的な考え方を身につけていることが要求される。そのため入門コースではより多くの時間が割り当てられ、より多くの課題が課せられ、細かい指導がなされる。入門コースの方が簡単で楽であるということではないし、試験に通やすいということでもない。

後期においても2クラスに分けて講義を行うが、標準・入門の区別なく共通した内容の講義を実施する。

【準備学習（予習・復習等）】

講義形式の授業が中心になるので、各自、授業中に取り上げた新しい内容について復習することが求められる。以前の単元が次の単元の内容に関係することもあるので、こまめに復習すること（30分程度）。また、必要に応じて入学以前に学習した内容について振り返った上で授業に出席することが望ましい。

次の単元に進む際に、教科書の該当部分を通読し予習すること（30分程度）。ただし、この予習の段階においては、理解できない部分があっても、その部分で留まらずに一通り読み通せばよい。この予習において、当該部分の内容の概略を把握することを予習の第一目的とする。そして、分からない事項や疑問点があればそれを教科書や自分のノートなどにメモしておいた上で講義を受講すること。そして、講義を受けた後、予習段階で自分が持った疑問が解決したかどうか、疑問が解決したのならどのように解決したのか、自分が何を知らなかったか、疑問に思っていたのか等を復習し考えることを推奨する。予習・復習ともに30分程度の所要時間を目安とする。

【評価】

卒業コンピテンシーIV-1,6(パフォーマンス・レベルD)

卒業コンピテンシー V-1,4(パフォーマンス・レベルD)

中間試験、定期試験、レポート、受講態度などを総合的に評価する。

【フィードバック】

- ・ 中間試験・定期試験結果や問題内容の解説を希望する学生に対して、オフィスアワーにおいてフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 中間試験・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 中間試験・定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

【教科書】

標準コース

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

入門コース

「物理学基礎（第4版）」 原康夫 著（学術図書出版社）

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

【推薦参考書】

「医歯薬系の物理学」 林 一 編（丸善）

「ライフサイエンス物理学」 ケイン, スターンハイム著 石井千穎監訳（広川書店）

「物理学」 小出昭一郎著（裳華房）：標準的な大学教養課程の教科書

「シブマン自然科学入門 - 新物理学」 勝守寛監訳（学術図書）：数式を余り使わない分かりやすい説明

（補足）

高校の教科書も参考になることがあるが、流体力学などは載っていない。

後期は、特に指定しないが、生理学・生化学に関する標準的な教科書・参考書を参考にすることができる。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室、9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	生涯教育研修センター 1号館 9階903
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	生涯教育研修センター 1号館 9階903

[授業日程]

<物理学(入門)>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	17	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1. 物理量の記述、2. 単位・次元・次元解析 ● 物理学がどのような科学か説明できる。 ● SI基本単位系の定義と意義が説明できる。 ● 基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。	909講義室
2	04	18	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述(1) ● 変位、速度、加速度(ベクトル量)を説明できる。 ● 質点の運動を式やグラフで表すことができる。 ● 変化率・累積量を計算できる(微分積分)。	909講義室
3	04	19	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述(2) ● 変位、速度、加速度(ベクトル量)を説明できる。 ● 質点の運動を式やグラフで表すことができる。 ● 変化率・累積量を計算できる(微分積分)。	909講義室
4	04	24	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則(1) ● 力(ベクトル量)の合成と分解ができる。 ● 物体に働く、いろいろな力を調べることができる。 ● 物体に働く力のつり合いを説明できる。	909講義室
5	04	25	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則(2) ● 慣性の法則を説明できる。 ● 力と加速度とが比例することを説明できる。 ● 作用反作用の法則を説明できる。	909講義室
6	04	26	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述(1) ● 質点の運動を運動方程式で記述できる。 ● 簡単な運動方程式を解くことができる。(等加速度運動など)	909講義室
7	05	08	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述(2) ● 質点の平面運動(放物運動など)の運動方程式を記述できる。 ● 簡単な運動方程式を解き、運動の様子を調べることができる。	909講義室
8	05	09	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述(3) ● 空気抵抗などが働く場合の運動方程式を記述できる。 ● 運動方程式から、運動の定性的な変化の様子を調べることができる。	909講義室
9	05	10	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述(4) ● 微分方程式を解くことやその解について説明できる。 ● 運動方程式を微分方程式として解くことができる。 ● 運動方程式の解を考察し、運動の様子を調べることができる。	909講義室
10	05	15	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象(1) ● 振動に関する物理量(周期、振動数、振幅など)を説明できる。 ● 振動を式やグラフで表すことができる。	909講義室
11	05	16	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象(2) ● 復元力が働くときの運動方程式を記述できる。 ● 復元力とは何かを説明できる。 ● 単振動について説明できる。	909講義室
12	05	17	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象(3) ● 単振動の運動方程式の解について説明できる。 ● 単振動をする質点の運動の具体例をあげ、運動方程式を立て、振動の様子を調べることができる。	909講義室
13	05	22	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7. 力積と運動量 ● 運動量の定義とその意味を説明できる。 ● 力積と運動量の関係を説明できる。	909講義室
14	05	23	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7. 仕事とエネルギー(1) ● 仕事の定義を説明できる。	909講義室

						<ul style="list-style-type: none"> ● 運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギー保存則と関連づけて説明できる。 ● エネルギーとは何か、仕事とエネルギーの関係を説明できる。 	
15	05	24	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7. 仕事とエネルギー (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 力学的エネルギー保存則と運動方程式の関係を説明できる。 ● 力学的エネルギー保存則を用いて質点の運動を考察できる。 	909講義室
16	05	29	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 回転運動の記述 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 力のモーメントを説明し、計算できる。 ● 力のモーメントのつり合いの式を記述できる。 	909講義室
17	05	30	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 回転運動の記述 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 力のモーメントがつり合っていない場合に対して、物体の回転を定性的に考察できる。 ● 回転運動に関連する物理量として、角速度、角加速度を説明できる。 ● 慣性モーメントについて説明できる。 	909講義室
18	05	31	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 回転運動の記述 (3) <ul style="list-style-type: none"> ● 回転運動の運動方程式を記述できる。 ● トルクが作用するときの剛体の運動を説明できる。 	909講義室
19	06	05	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 回転運動の記述 (4) <ul style="list-style-type: none"> ● 質点と剛体の角運動量を説明できる。 ● 角運動量の保存則を説明できる。 	909講義室
20	06	06	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 弾性体 <ul style="list-style-type: none"> ● 応力とひずみの関係をフックの法則で説明できる。 ● 弾性体の変形について、伸縮、ずれ、たわみ、ねじれ等を説明できる。 ● ヤング率を説明できる。 ● 身近にある物体の変形に対して、応力とひずみの関係と関連付けて考察できる。 	909講義室
21	06	07	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10. 静止流体 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 流体とは何か、説明できる。 ● 静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 ● 圧力の単位 (Pa, mmHg など) について説明できる。 	909講義室
22	06	12	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10. 静止流体 (2)、11. 流体の力学 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 静止流体の圧力と静止流体中の物体に働く力について説明できる。 ● 浮力を説明できる。 ● 圧力、流量、流速を説明できる。 ● 流体の物理的性質 (圧縮性や粘性) による分類を説明できる。 ● 流線、流管を説明できる。 ● 連続の式を説明できる。 	909講義室
23	06	13	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 流体の力学 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 流れている流体が持つエネルギーについて説明できる。 ● ベルヌーイの定理を説明できる。 ● 連続の式とベルヌーイの定理の応用例として、ベンチュリ管について説明できる。 	909講義室
24	06	14	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 流体の力学 (3) <ul style="list-style-type: none"> ● 流体から物体が受ける抵抗 (粘性抵抗、慣性抵抗) を説明できる。 ● レイノルズ数について説明できる。 	909講義室
25	06	19	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 波動の記述 <ul style="list-style-type: none"> ● ばねや単振り子の運動を説明できる。 ● 波の回折・干渉・屈折を説明できる。 ● 波を式やグラフで表すことができる。 	909講義室
26	06	20	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 音波 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 超音波の性質を説明できる。 ● 波が運ぶエネルギー、エネルギー強度について説明できる。 ● 音の性質を説明できる。 ● 反射率・透過率について説明できる。 	909講義室
27	06	21	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 音波 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 可聴音の音の強さ、デシベルについて説明できる。 ● ドップラー効果について説明できる。 	909講義室
28	06	26	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13. 光・電磁波 (1) <ul style="list-style-type: none"> ● 電磁波の分類と波長 (振動数) との関係を説明できる。 ● 光の性質について説明できる。 ● 物質による光の吸収について説明できる。 	909講義室
29	06	27	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13. 光・電磁波 (2) <ul style="list-style-type: none"> ● 物質による光の吸収について説明できる。 ● 吸収係数について説明できる。 	909講義室

						● X線レントゲンと吸収係数の関係を定性的に説明できる。	
30	06	28	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13. 光・電磁波（3） ● X線CTの原理を定性的に説明できる。 ● バルスオキシメータの原理を定性的に説明できる。	909講義室
31	07	03	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 静電気の記述（1） ● 電荷保存則を説明できる。 ● クーロンの法則を説明できる。 ● 電場とは何か、説明できる。	909講義室
32	07	04	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 静電気の記述（2）、15. 電流（1） ● 電場が電化にする仕事と電位差の関係を説明できる。 ● オームの法則、ジュールの法則を説明できる。	909講義室
33	07	05	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 電流（2） ● キルヒホッフの法則を使った回路計算ができる。 ● コンデンサを概説できる。	909講義室
34	07	10	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 電場と磁場（1） ● 磁場とは何か、説明できる。 ● 電磁波とは何か、説明できる。 ● 電流が磁場から受ける力について説明できる。	909講義室
35	07	11	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 電場と磁場（2） ● ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。	909講義室
36	07	12	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 電場と磁場（3） ● ファラデーの電磁誘導の法則の応用例を説明できる。	909講義室
37	07	17	火	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（1） ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。	909講義室
38	07	18	水	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（2） ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。	909講義室
39	07	19	木	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（3） ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 放射線の種類と性質を説明できる。 ● 放射線の医療への応用について説明できる。	909講義室

<物理学(標準)>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	18	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1.物理学の構成、2.単位・次元・次元解析 ● 物理学がどのような科学か説明できる。 ● S I 基本単位の定義とその意義を説明できる。 ● 基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。 ● 次元解析の方法を説明できる。	1001講義室
2	04	20	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3.運動の記述 ● 運動の記述に必要な物理量の定義を理解し、それらの間の関係を説明できる。	1001講義室
3	04	25	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4.運動の法則 ● 力（ベクトル量）の合成と分解ができる。 ● 慣性の法則を理解し、その法則が成り立つ現象を例示できる。 ● 力と加速度の間に比例関係があることを説明できる。 ● 物体の運動を運動方程式で記述することができる。 ● 作用・反作用の法則を説明できる。	1001講義室
4	04	27	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5.さまざまな運動 ● 抵抗力のある場合の落下運動を説明できる。 ● 微分方程式の意味を考察できる。 ● 微分方程式の解を求めることができる。	1001講義室
5	05	09	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6.仕事とエネルギー ● 仕事の定義を説明できる。 ● 保存力について説明できる。 ● 運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギーと保存法則と関連づけて説明できる。	1001講義室

						<ul style="list-style-type: none"> ● 運動量の変化と力積の関係を説明できる。 	
6	05	11	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7.二体問題と剛体 <ul style="list-style-type: none"> ● 質点系と剛体の運動方程式を導くことができる。 ● 弾性衝突と非弾性衝突の違いを説明できる。 ● 運動量保存則を説明できる。 	1001講義室
7	05	16	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8.回転運動 <ul style="list-style-type: none"> ● 力のモーメントを説明し、計算できる。 ● 質点と剛体の角運動量を説明できる。 ● 中心力と角運動量保存則の関係を説明できる。 	1001講義室
8	05	18	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9.弾性変形と弾性率 <ul style="list-style-type: none"> ● 応力とひずみの関係をフックの法則を使って説明できる。 ● ヤング率とポアソン比を説明できる。 ● ずれ弾性率、体積弾性率を説明できる。 	1001講義室
9	05	23	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10.静止流体と圧力 <ul style="list-style-type: none"> ● 圧力の単位の換算ができる。 ● 静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 	1001講義室
10	05	25	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11.ベルヌーイの定理 <ul style="list-style-type: none"> ● 連続の式を説明できる。 ● ベルヌーイの定理を説明できる。 	1001講義室
11	05	30	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12.粘性流体 <ul style="list-style-type: none"> ● 圧力、流量、流速と粘性抵抗を説明できる。 ● ハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。 ● レイノルズ数について説明できる。 ● 流体による抗力を説明できる。 	1001講義室
12	06	01	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13.振動 <ul style="list-style-type: none"> ● ハネや単振り子の運動を説明できる。 ● 振動をグラフや数式で表すことができる。 ● 角振動数や波数、周期などの量を説明できる。 	1001講義室
13	06	06	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14.波動の基本的性質 <ul style="list-style-type: none"> ● 周期的波動のフーリエ変換について説明できる。 ● 進行波と定在波の違いを説明できる。 ● 波動を数式で表し、その基本的な量について説明できる。 ● 波の減衰について考察できる。 	1001講義室
14	06	08	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15.音 <ul style="list-style-type: none"> ● 音の性質、音の合成によるうなりを説明できる。 ● 超音波の性質を説明できる。 ● ドップラー効果を説明できる。 	1001講義室
15	06	13	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16.光 <ul style="list-style-type: none"> ● 電磁波を定義し、実例を列举できる。 ● 光の反射と散乱を説明できる。 ● 光の屈折とその性質を説明できる。 ● 光の全反射とその応用例を説明できる。 	1001講義室
16	06	15	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17.光の回折と干渉 <ul style="list-style-type: none"> ● 薄膜や2重スリットによる回折と干渉を説明できる。 ● 丸穴による回折と干渉について説明できる。 ● 視力について説明できる。 ● 分解能を説明できる。 	1001講義室
17	06	20	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18.電荷と物質構造 <ul style="list-style-type: none"> ● 電荷保存則を説明できる。 ● クーロンの法則を説明できる。 ● 電気素量について説明できる。 	1001講義室
18	06	22	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19.電場と電位 <ul style="list-style-type: none"> ● 近接作用と、電場の概念を説明できる。 ● 電場のする仕事と電位の関係を説明できる。 ● 電場に関するガウスの法則を説明できる。 	1001講義室
19	06	27	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	20.導体と誘電体 <ul style="list-style-type: none"> ● 静電誘導と誘電分極の違いを説明できる。 ● コンデンサーを概説できる。 ● 導体の性質を説明できる。 	1001講義室
20	06	29	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	21.定常電流 <ul style="list-style-type: none"> ● オームの法則を説明できる。 ● ジュールの法則を説明できる。 ● 起電力を説明できる。 	1001講義室

						<ul style="list-style-type: none"> ● キルヒホッフの法則を用いて回路を流れる電流を計算できる。 ● 直流と交流の違いを説明できる。 	
21	07	04	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	22.磁場 <ul style="list-style-type: none"> ● 磁場のガウスの法則とアンペールの法則を説明できる。 ● 磁気的基本的性質について説明できる。 ● 電流がつくる磁場について説明できる。 	1001講義室
22	07	06	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	23.電流と磁場 <ul style="list-style-type: none"> ● ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。 	1001講義室
23	07	11	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	24.電磁誘導 <ul style="list-style-type: none"> ● コイルを含む回路について計算できる。 ● インダクタンスについて説明できる。 	1001講義室
24	07	13	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（1） <ul style="list-style-type: none"> ● 原子核の構造を説明できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 原子核崩壊と放射線の種類について説明できる。 	1001講義室
25	07	18	水	3	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（2） <ul style="list-style-type: none"> ● 質量とエネルギーの関係を説明できる。 ● 原子核崩壊における保存法則について説明できる。 	1001講義室
26	07	20	金	4	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（3） <ul style="list-style-type: none"> ● 放射性同位元素の医療への応用例を説明できる。 ● PETやSPECTの基本原理を説明できる。 	1001講義室

<物理学>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	05	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（1） <ul style="list-style-type: none"> ● 液体の表面張力を分子間力から説明できる。 ● 表面張力の定義を説明できる。 ● 表面張力とエネルギーとの関係を説明できる。 	909講義室 1001講義室
2	10	12	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（2） <ul style="list-style-type: none"> ● 液体表面に蓄えられるエネルギーと表面の形状の安定性について定性的に考察できる。 ● 表面張力による現象（毛細管現象など）を説明できる。 	909講義室 1001講義室
3	10	19	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（3） <ul style="list-style-type: none"> ● ラプラスの法則を理解し、膜に囲まれた流体の内圧を計算できる。 ● 肺コンプライアンスについて説明できる。 ● 肺胞の界面活性物質の役割を説明できる。 	909講義室 1001講義室
4	10	26	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（4） <ul style="list-style-type: none"> ● 気道抵抗について説明できる。 ● 血液循環における血管の弾性の役割を説明できる。 	909講義室 1001講義室
5	11	02	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（1） <ul style="list-style-type: none"> ● 気体の熱運動を説明できる。 ● 熱とは何か説明できる。 ● 理想気体の状態方程式を説明できる。 	909講義室 1001講義室
6	11	09	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（2） <ul style="list-style-type: none"> ● 内部エネルギーを説明できる。 ● 生命現象におけるエネルギー変化に対しても熱力学法則が適用できることを概説できる。 ● 熱力学第一法則を応用できる。 ● 熱の出入りと仕事を計算できる。 	909講義室 1001講義室
7	11	16	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（3） <ul style="list-style-type: none"> ● 可逆過程と不可逆過程について説明できる。 ● 熱力学のエントロピーを説明できる。 ● 熱力学の第2法則を説明できる。 	909講義室 1001講義室
8	11	30	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（4） <ul style="list-style-type: none"> ● 拡散を熱運動から説明できる。 ● 統計力学のエントロピーを説明できる。 	909講義室 1001講義室
9	12	07	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（5） <ul style="list-style-type: none"> ● エンタルピー、エントロピーを説明できる。 ● 反応が進む条件を説明できる。 	909講義室 1001講義室
10	12	14	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（6） <ul style="list-style-type: none"> ● ギブスの自由エネルギーを説明できる。 	909講義室 1001講義室

						● 反応が進む条件を自由エネルギーの観点から説明できる。	
11	12	21	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（7） ● 浸透圧を自由エネルギーから説明できる。	909講義室 1001講義室
12	01	11	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（8） ● 膜電位を自由エネルギーから説明できる。	909講義室 1001講義室
13	01	18	金	2	鴨下 淳一 古澤 彰浩	熱力学（9） ● 標準ギブスエネルギー変化と平衡定数の関係を説明できる。 ● 化学平衡を自由エネルギーから説明できる。 ● 反応が自発的に進む条件を検討できる。	909講義室 1001講義室

細胞の生理

[教育目標]

多細胞生物では体細胞は動物の皮膚に包まれた体内の海というべき細胞外液に浸かっている。一方、体細胞内にも大量の液体、すなわち細胞内液が存在しているが、細胞膜によって隔離されているために細胞外液と細胞内液の組成は大きく異なっている。生理学では内部環境を維持するための個々器官の複雑な相互作用を理解しなければならない。すなわち、内部環境を維持するためには、生体外の“不秩序”な環境から生体内の内部環境を“隔離”する必要があるが、一方、内部環境を維持するためには“開放系”として、酸素・栄養素・排泄物・熱の交換や情報の交換を行う必要がある。

生理化学では生命を維持する媒体として細胞外液や細胞内液の重要性を理解した上で、生理学の基本となる物質の移動や物質の膜透過を物理化学的に理解することを目標とする。この理解には細胞外液や細胞内液に存在する水、イオン、高分子やタンパク質だけでなく膜タンパク質を物理化学的な視点から理解することが必要であり、これも重要な目標とする。

[学修目標]

生理現象における体液の重要性を説明できる。
物質の膜透過により生じる生理現象を論理的に説明できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義と実習

[準備学習（予習・復習等）]

講義の前に参考資料を提示するので目を通してから講義に臨むこと。また、復習をしておくこと。目安としてそれぞれ30分程度の時間を要する。

[評 価]

- (1)知識（卒業コンピテンシー IV-1, 2, 4）、パフォーマンスレベルD
知識量と理解度を定期試験で評価する。実習レポート、実習中の態度などから総合的に評価する。
- (2)講義と実習の態度（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンスレベルC
医学生としての講義における受講態度、実習に積極的に参加したかの受講態度を評価する。

[フィードバック]

定期試験結果については、希望者については学習指導を行う。
実習レポートについてはコメントを付けて返却をする。

[教科書]

なし

[推薦参考書]

- 「オックスフォード・生理学 4版」Pocock・Richards著 岡野・植村・鯉淵 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）
「ギャノン生理学 原書24版」Barrett・Barman・Boitano・Brooks著 岡田泰伸 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）
「カラー版 ポロン プールペープ 生理学」Boron・Boulpaep著 泉井亮 総監訳（西村書店）
「症例問題から学ぶ生理学 原書3版」 鯉淵典之 監訳（丸善出版）

[使用する教室]

[実習場所]

医学部 1号館 地下 1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階803

<生理学 I>

担当者名	曜日	時間	場所
長崎 弘 教授	月曜日、水曜日	12:30～13:20, 16:00～18:00	医学部 1号館 4階410
金子 葉子 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～17:00	医学部 1号館 4階410
小谷 侑 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	医学部 1号館 4階410

[授業日程]

<細胞生理>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	05	金	1	中島 昭	細胞膜の役割 (1) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。	1001講義室
2	10	12	金	1	中島 昭	細胞膜の役割 (2) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。 ● 細胞膜を介しての物質の拡散・浸透・透過を説明できる。	1001講義室
3	10	19	金	1	中島 昭	体内の水 (1) C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構 (ネガティブフィードバック調節) を説明できる。 ● 体内の水分量の調節メカニズムを説明できる。	1001講義室
4	10	26	金	1	中島 昭	体内の水 (2) C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構 (ネガティブフィードバック調節) を説明できる。 ● 水の構造・性質・運動を説明できる。 ● 水の重要性を説明できる。	1001講義室
5	11	02	金	1	中島 昭	水和 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 高分子の水和を説明できる。 ● イオンの水和を説明できる。	1001講義室
6	11	09	金	1	中島 昭	生体高分子 (1) C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。	1001講義室

										<ul style="list-style-type: none"> ● タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 	
7	11	16	金	1	中島 昭 小谷 侑	生体高分子 (2) C-1-2)-(1) 生物の進化 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 ● タンパク質の二次構造を説明できる。					1201 IT学 習室
8	11	30	金	1	中島 昭 小谷 侑	生体高分子 (3) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● 膜タンパク質の高次構造を理解できる。					1201 IT学 習室
9	12	07	金	1	中島 昭	膜透過 (1) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 ● 拡散と混合を説明できる。 ● 細胞膜の構造とその形成機序を説明できる。					1001講義室
10	12	14	金	1	中島 昭	膜透過 (2) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ● 単純拡散と促進拡散を説明できる。 ● 拡散の法則を説明できる。 ● 能動輸送と二次的能動輸送を説明できる。					1001講義室
11	12	21	金	1	中島 昭	膜電位 (1) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。					1001講義室
12	01	07	月	4	中島 昭	膜電位 (2) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。					1001講義室
13	01	11	金	1	中島 昭	浸透圧と有効浸透圧 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 浸透圧と有効浸透圧の違いを説明できる。 ● 溶液の濃度を計算できる。					1001講義室
14	01	16	水	4	中島 昭 長崎 弘 金子 葉子 小谷 侑	溶液作製および物質の膜透過に関する実験(実習) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 生理的代用液を作製できる。 ● 浸透圧を説明できる。					B1実習室
15	01	16	水	5							
16	01	16	水	6							
17	01	18	金	4	中島 昭 長崎 弘 金子 葉子 小谷 侑	物質の拡散および物質の膜透過に関する実験 (実習) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ● ストークス・アインシュタインの式を説明できる。 ● 透過率と吸光度の関係を説明できる。 ● Lambert-Beerの法則、モル吸光係数を説明できる。 ● 溶血現象を応用した物質の膜透過現象を説明できる。					B1実習室
18	01	18	金	5							
19	01	18	金	6							

人体の構造 I

[教育目標]

人体の構造 I では、人体の内眼的構造の概略を理解し、今後の医学の学習および卒業後の医療の現場で必要となる人体構造に関する知識を習得することを目標とする。

人体は①骨格系、②筋系、③消化器系、④呼吸器系、⑤泌尿器系、⑥生殖器系、⑦内分泌系、⑧心血管系、⑨リンパ免疫系、⑩感覚器系、⑪神経系、⑫外皮系の12系統から構成されている。人体の構造 I の授業は講義（1 学年後期）と骨学実習（1 学年後期）を行う。

[学修目標]

人体構造の階層性（細胞、組織、臓器、系統、個体）を説明できる。
全身の主な骨、関節、筋の名称、構造上の特徴、作用を説明できる。
消化器を構成する諸臓器の構造、相互位置関係、機能を系統的に説明できる。
気道と肺の構造を、呼吸機能と対応させて説明できる。
腎臓と尿路を構成する諸臓器の構造と位置関係を、尿の生成・排出と関連づけて説明できる。
男性生殖器、女性生殖器の構造を生殖機能と関連づけて説明できる。
主な内分泌腺の名称、存在部位、構造上の特徴、分泌されるホルモンを説明できる。
全身の動脈系、静脈系、リンパ系の走行と分布領域の概略を説明できる。
皮膚を含めて、全感覚器の構造上の特徴を、受容する感覚情報に関連づけて説明できる。
脳・脊髄の構造と機能、主な脳神経と脊髄神経の種類、走行、作用を体系的に説明できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義と実習

[準備学習（予習・復習等）]

事前に配信したプリントの重要項目やミニマム演習問題を用いて予習・復習をすること。それぞれ約30分程度を目安とする。

[評 価]

解剖学Aの科目評価は、以下の(1)～(3)を総合的に判断して1 年後学期期末に行う。

(1)知識：（卒業コンピテンシー IV-1）、パフォーマンス・レベルD

知識量及び理解度の両面をペーパーテストで判定する。

ペーパーテストは2 回行う（試験ごとに、合格・不合格の判定は行わない。）

①1回目（中間試験）

範囲：解剖学序論と運動器系（骨学・関節学・筋学）

時期：1 学年12月に実施予定（中間試験の追試験及び再試験は行わない）

②2回目（定期試験）

範囲：運動器系（骨学・関節学・筋学）以外の全範囲

時期：1 学年後期終了後の試験期間に実施予定

(2)実習レポート：（卒業コンピテンシー V-1,3）、パフォーマンス・レベルC

実習では、講義で学んだ知識を実際に確かめることに主眼が置かれる。単に知識の確認ではなく、教科書と実際の違いを確認し、教科書を書き換えるつもりで実習に望むことが期待される。実習レポートも単に教科書を写したのではなく、実際に自分で観察したものを正確に記載し、もし教科書と異なっていれば、その原因・意義についても考察できているかを評価する。

(3)講義および実習態度：（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかという点を評価する。

[フィードバック]

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

【教科書】

- 「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論、運動器系 第3版」 坂井建雄、松村 譲児 監訳（医学書院）
「プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第2版」 坂井建雄、大谷 修 監訳（医学書院）
「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版」 坂井建雄、河田 光博 監訳（医学書院）

【推薦参考書】

- 「カラー図解 人体の正常構造と機能 [全10巻縮刷版] 第3版」 坂井建雄、河原克雅 編著（日本医事新報社）
「イラスト解剖学 第9版」 松村 譲児著（中外医学社）
「骨学実習の手びき」 寺田春水、藤田恒夫著（南山堂）
「グレイ解剖学 原著第3版」 Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
「グレイ解剖学アトラス 原著第2版」 Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
「人体解剖学 改訂第42版」 藤田恒太郎 著（南江堂）
「カラー人体解剖学」 F.H.マティニーニ 他著、井上貴央監訳（西村書店）
「ネッター解剖学アトラス 原著第6版」 Frank H Netter 他著（南江堂）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

【実習場所】

医学部 1号館 1階実習室

【次年度予定】

平成31年度 第2学年 前期
授業内容 人体解剖実習

【担当教員・オフィスアワー】

<解剖学 I >

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	木曜	13:00～14:00	医学部 1号館 8階815
野村 隆士 講師	月曜	18:00～19:00	医学部 1号館 8階815
八幡 直樹 助教	金曜	18:00～19:00	医学部 1号館 8階815
尾身 実 助教	水曜	17:00～18:00	医学部 1号館 8階815

【授業日程】

<人体の構造 I >

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	2	秦 龍二	解剖学序論、骨学総論 C-2-2)-(2) 器官の位置関係 ○位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 ●人体構造の階層性（細胞・組織・臓器・系統・個体）を説明できる。 ●人体を構成する11の系統を挙げることができる。	1001講義室
2	10	03	水	4	秦 龍二	関節学総論 D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。	1001講義室

3	10	03	水	5	秦 龍二	骨学・関節学各論 1 (脊柱) D-4-1) 構造と機能 ○ 脊柱の構成と機能を説明できる。	1001講義室
4	10	11	木	4	秦 龍二	骨学・関節学各論 2 (胸郭) ● 胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1001講義室
5	10	11	木	5	尾身 実	骨学・関節学各論 3 (上肢 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
6	10	12	金	3	尾身 実	骨学・関節学各論 4 (上肢 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
7	10	18	木	4	八幡 直樹	骨学・関節学各論 5 (下肢) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
8	10	19	金	3	八幡 直樹	骨学・関節学各論 6 (骨盤) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨盤の構成と性差を説明できる。	1001講義室
9	10	24	水	3	野村 隆士	骨学・関節学各論 7 (頭蓋 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
10	10	24	水	4	野村 隆士	骨学・関節学各論 8 (頭蓋 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
11	10	24	水	5	野村 隆士	骨学・関節学各論 9 (頭蓋 3) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	1001講義室
12	10	25	木	4	野村 隆士	筋学総論 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ● 主な関節の運動方向を説明できる。	1001講義室
13	10	26	金	3	野村 隆士	筋学各論 1 (頭頸部) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。 D-7-1) 構造と機能 ○ 咀嚼やくと嚥下の機構を説明できる。 ● 主な表情筋の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
14	10	31	水	3	野村 隆士	筋学各論 2 (上肢 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
15	10	31	水	4	野村 隆士	筋学各論 3 (上肢 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
16	10	31	水	5	野村 隆士	筋学各論 4 (下肢 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
17	11	01	木	4	野村 隆士	筋学各論 5 (下肢 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001講義室
18	11	02	金	3	野村 隆士	筋学各論 6 (体幹 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-6-1) 構造と機能 ○ 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	1001講義室
19	11	07	水	2	野村 隆士	筋学各論 7 (体幹 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 ○ 抗重力筋を説明できる。	1001講義室
20	11	07	水	4	秦 龍二	呼吸器系 1 (鼻腔～気管) D-6-1) 構造と機能 ○ 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 D-14-1) 構造と機能	1001講義室

							<ul style="list-style-type: none"> ○口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 ○喉頭の機能と神経支配を説明できる。 	
21	11	07	水	5	秦 龍二	呼吸器系2（気管支・肺・呼吸筋） D-6-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 ○呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。 	1001講義室	
22	11	08	木	4	秦 龍二	胸膜・胸腔・縦隔 D-6-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○縦隔と胸腔の構造を説明できる。 	1001講義室	
23	11	09	金	3	野村 隆士	消化器系1（総論・口腔・咽頭） D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○各消化器の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ○咀嚼くと嚥下の機構を説明できる。 	1001講義室	
24	11	14	水	2	八幡 直樹	泌尿器系1（腎臓） D-8-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 	1001講義室	
25	11	14	水	4	野村 隆士	消化器系2（食道・胃・小腸・大腸） D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○各消化器の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 	1001講義室	
26	11	14	水	5	野村 隆士	消化器系3（肝臓・胆嚢） D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○各消化器の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○肝の構造と機能を説明できる。 	1001講義室	
27	11	15	木	4	野村 隆士	消化器系4（十二指腸・膵臓） C-2-4) 個体の発生 <ul style="list-style-type: none"> ○消化・呼吸器系各器の形成過程を概説できる。 D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○各消化器の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 	1001講義室	
28	11	15	木	5	野村 隆士	腹膜・腹腔 C-2-4) 個体の発生 <ul style="list-style-type: none"> ○消化・呼吸器系各器の形成過程を概説できる。 D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○腹膜と臓器の関係を説明できる。 	1001講義室	
29	11	16	金	3	秦 龍二	心血管系1（総論・心臓1） D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 ○体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○毛細血管における物質・水分交換を説明できる。 	1001講義室	
30	11	21	水	3	八幡 直樹	泌尿器系2（尿管・膀胱・尿道） D-8-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 	1001講義室	
31	11	21	水	4	秦 龍二	心血管系2（心臓2） D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 	1001講義室	
32	11	21	水	5	秦 龍二	心血管系3（心臓3） D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 	1001講義室	
33	11	22	木	4	尾身 実	心血管系4（動脈系1） D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。 ○主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	1001講義室	
34	11	22	木	5	尾身 実	心血管系5（動脈系2） D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。 ○主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	1001講義室	
35	11	28	水	2	尾身 実	心血管系6（静脈系1） D-5-1) 構造と機能	1001講義室	

						<ul style="list-style-type: none"> ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	
36	11	28	水	3	尾身 実	<p>心血管系7（静脈系2・胎児循環）</p> <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	1001講義室
37	11	29	木	4	尾身 実	<p>リンパ免疫系1（リンパ管・リンパ節・扁桃・Peyer板）</p> <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	1001講義室
38	11	29	木	5	尾身 実	<p>リンパ免疫系2（リンパ管・リンパ節・骨髄・脾臓・胸腺）</p> <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	1001講義室
39	11	30	金	3	野村 隆士	<p>感覚器系1（総論・皮膚）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ● 感覚の種類を説明できる。 	1001講義室
40	12	05	水	2	野村 隆士	<p>感覚器系2（視覚器1）</p> <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	1001講義室
41	12	05	水	3	野村 隆士	<p>感覚器系3（視覚器2）</p> <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	1001講義室
	12	06	木	4	秦 龍二	<p>中間試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 解剖学序論から骨学・関節学・筋学までの分野を説明できる。 	601講義室
	12	06	木	5	野村 隆士 八幡 直樹 尾身 実		
42	12	07	金	3	野村 隆士	<p>感覚器系4（聴覚器1）</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
43	12	12	水	2	八幡 直樹	<p>生殖器系1（男性1）</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 	1001講義室
44	12	12	水	3	八幡 直樹	<p>生殖器系2（男性2・女性1）</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 ● 骨盤隔膜・尿生殖隔膜を説明できる。 	1001講義室
45	12	12	水	4	野村 隆士	<p>感覚器系5（聴覚器2）</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
46	12	12	水	5	野村 隆士	<p>感覚器系6（味覚器・嗅覚器）</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室

47	12	13	木	4	秦 龍二	<p>中枢神経系 1 (神経系の区分・脳脊髄液)</p> <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	1001講義室
48	12	13	木	5	秦 龍二	<p>中枢神経系 2 (神経系の発生)</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 	1001講義室
49	12	14	金	3	秦 龍二	<p>中枢神経系 3 (脳の血管・脳室・脳脊髄液)</p> <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	1001講義室
50	12	19	水	2	八幡 直樹	<p>生殖器系 3 (女性 2)</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 <p>D-11-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳房の構造と機能を説明できる。 	1001講義室
51	12	19	水	3	野村 隆士	<p>脳神経系 1 (総論 1)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 	1001講義室
52	12	19	水	4	秦 龍二	<p>中枢神経系 4 (脳幹・小脳)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 ○ 脳幹の機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小脳の構造と機能を概説できる。 	1001講義室
53	12	19	水	5	秦 龍二	<p>中枢神経系 5 (大脳皮質・大脳辺縁系)</p> <p>D-2-1)-(4) 大脳と高次機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳の構造を説明できる。 ○ 大脳皮質の機能局在 (運動野・感覚野・言語野) を説明できる。 ○ 記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。 	1001講義室
54	12	20	木	4	秦 龍二	<p>中枢神経系 6 (大脳髄質・大脳基底核)</p> <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳基底核 (線条体、淡蒼球、黒質) の線維結合と機能を概説できる。 	1001講義室
55	12	20	木	5	秦 龍二	<p>中枢神経系 7 (脊髄)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 	1001講義室
56	12	21	金	3	秦 龍二	<p>中枢神経系 8 (伝導路)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 	1001講義室
57	01	09	水	3	野村 隆士	<p>脳神経系 2 (総論 2・全体像)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 	1001講義室
58	01	09	水	4	秦 龍二	<p>脊髄神経系 1 (総論・頸神経叢)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
59	01	09	水	5	秦 龍二	<p>脊髄神経系 2 (腕神経叢)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
60	01	10	木	4	秦 龍二	<p>脊髄神経系 3 (肋間神経・腰神経叢)</p>	1001講義室

						<p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	
61	01	10	木	5	秦 龍二	<p>脊髄神経系 4（仙骨神経叢）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	1001講義室
62	01	11	金	3	秦 龍二	<p>自律神経系</p> <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 ○視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。 	1001講義室
63	01	11	金	4	野村 隆士	<p>脳神経系 3（各論 I, II, III, IV, VI）</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○眼球運動のしくみを説明できる。 ○対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
64	01	11	金	5	野村 隆士	<p>脳神経系 4（各論 V, VII, VIII）</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
65	01	16	水	3	野村 隆士	<p>脳神経系 5（各論 IX, X, XI, XII）</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○喉頭の機能と神経支配を説明できる。 ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	1001講義室
66	01	17	木	4	秦 龍二	<p>内分泌系 1（総論・下垂体）</p> <p>D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 ○視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。 	1001講義室
67	01	17	木	5	秦 龍二	<p>内分泌系 2（甲状腺・副甲状腺・副腎など）</p> <p>D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 	1001講義室

<人体の構造 I (実習) >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
-----	---	---	----	----	------	------	------

1	10	18	木	5	秦 龍二 野村 隆士 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習 1 (脊柱・胸郭) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 脊柱の構成と機能を説明できる。 ● 胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1F実習室
2	10	18	木	6			
3	10	25	木	5	秦 龍二 野村 隆士 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習 2 (上肢) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1F実習室
4	10	25	木	6			
5	11	01	木	5	秦 龍二 野村 隆士 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習 3 (骨盤・自由下肢) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 ○ 骨盤の構成と性差を説明できる。	1F実習室
6	11	01	木	6			
7	11	08	木	5	秦 龍二 野村 隆士 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習 4 (頭蓋) D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	1F実習室
8	11	08	木	6			

細胞から個体へ

[教育目標]

6年かけて臨床医学を学ぶために必要な人体の構造・機能・名称の基礎的知識の習得を解剖学は目標としています。人体の設計図を頭に入れて医学全体を学ぶ素地をつくって下さい。とくにこの「細胞から個体へ」においては、人体は細胞から成り、それが規則性をもち、集まり、4種類の組織を構成し、さらに規則性をもち集まり器官を作り、器官が組み合わさり器官系を作り、最終的に人という個体と成る。この構造上起こる現象を顕微鏡を用いて観察し、細胞の構造と機能の関係から考える学問「組織学」を学びます。さらに、この人体の構造が胎児の時期にどのような過程を経てできあがり、また先天異常という病態がなぜ起こるかという時間軸上で起きる現象を考える学問「発生学」も学びます。全体として、病気が構造と機能の異常であるということを学びきっかけをつくります。

[学修目標]

組織学と発生学について教科書を指定してあるので、その内容の習得が目安となります。
光学顕微鏡と電子顕微鏡の原理と、標本作製方法を説明できる。
細胞の構造と機能を説明できる。
細胞の生活現象（分泌・吸収・運動）と一生（細胞増殖・細胞死・組織の再生）を説明できる。
各細胞と細胞内構造を光学顕微鏡と電子顕微鏡写真において判別できる。
4種類の組織の構造と機能を説明できる。
4種類の組織を光学顕微鏡を用いて判別できる。
各器官の主な細胞について説明できる。
各器官を光学顕微鏡を用いて判別できる。
各器官の発生過程とその異常を説明できる。

[身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー参照

[授業形態]

授業では講義と実習があります。講義で学ぶ内容についてできるだけその日に実習を行います。画像としての情報を提供し講義時間内で全体像を把握できるように、講義・実習を合わせて一つと考えて授業計画を考えています。

<講義>まず講義・実習で学ぶ内容を予習するためのきっかけを教科書を使い解説します。器官・組織・細胞の構造と機能の関係、将来に出会う主な疾患を学ぶために画像教材や新聞記事・教科書以外の書籍の資料を用いて、高校までの復習、現代科学の最先端、関連する社会問題を理解します。次に、実習で学ぶ人体構造・顕微鏡標本につき解説します。基本的な顕微解剖学の項目を、機能を中心に学びます。さらに、解剖学用語の日本語と英語の綴り、授業内容に密接な内容でCBTや医師国家試験で必要となる項目を学びます。

<実習>まず各器官の模型、CT/MRI立体画像、一部は生の細胞・動物器官の観察を行う。次に、光学顕微鏡を使用して、ヒト各器官の組織標本を観察して基本的な微細構造を理解し、電子顕微鏡写真と免疫組織化学等の特殊染色標本を観察して、構造と機能について理解を深めます。特徴的な細胞・組織の構造については、TVにて別途に供覧します。顕微鏡は、聴診器とともに医学生・医師が一生身近に置いて使える代表的な診断器具です。顕微鏡に慣れ親しんで下さい。光学顕微鏡標本作製法、電子顕微鏡、生きた細胞での細胞培養法のウェットラボ見学を行います。基本的な標本作製法である血液塗沫標本・H&E染色標本について、時間の許す限り見学・体験する機会を図ります。発生学実習では、動物精子、生きた受精卵、妊娠・出産模型、ニワトリ全胚・切片標本を観察して、胎児の発達と成熟過程を理解します。組織学の学術用語については、顕微鏡標本をスケッチする際に学ぶ機会を特に設けます。

[授業の種類]

講義と実習（実習中心）

[授業内容]

人体の基本的な構成要素は細胞です。細胞が集まって機能を営むようになった構造が組織で、上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織の4種類があります。この4種類の組織が特有の配列をして、独立して機能する器官を作ります。人体には12種類の器官系があります。器官系とは、例えば消化器系は、食道・胃・腸・肝臓・脾臓などの器官の集まりで、食物の消化吸収というひとつの大きな仕事を営みます。肉眼で人体を観察した場合、ひとつひとつの器官は観察できますが、器官を形作っている細胞や組織を観察するには、顕微鏡で拡大して見る必要があります。

第一に、組織学総論において人体を構成する基本単位である細胞の構造と、細胞の集団としての4種類の組織について学びます。第二に、細胞の構成成分、幹細胞からの分化、細胞増殖・組織再生など細胞・組織の機能の基礎的原理となる細胞生物学の初歩を学びます。第三に、それらの組織からどのように器官が構成されているかを組織学各論（器官組織学）において学びます。第四に、発生学においては、胎児において器官ができあがる過

程と、その先天異常について学びます。

細胞の形態に加えて、その生き様・機能をDNAと蛋白質の視点から把握する事が、再生医学などの先進的な医学の理解に必要な事になっている事に配慮して、組織学から派生した学問である神経生物学・細胞生物学・発生生物学・進化生物学の知見も必要に応じて合わせて学ぶ予定です。さらに、各分野の専門家の協力を得て、人体構造と病気の関係についても触れていきます。

[学習の心構え]

組織学において学習する事柄は増すばかりですが、講義・実習時間は限られています。組織学は、「百聞は一見に如かず」の言葉のとおりです。目標達成のためには自学によって理解を深める事が必要なので、十分な予習・復習を行い、真摯な気持ちで講義と実習の場に臨んで下さい。

[準備学習（予習・復習等）]

予習復習用の全てのデジタルデータを初回講義で配ります。読んでおくべき教科書の章・頁が記入してあるので、参考にして下さい。講義の前には教科書「入門組織学」とデジタルの配布資料を読み（30分程度）、講義後にはノートを整理し配布問題集を解くこと（30分程度）。医師になるためにはそれだけの勉強が最低限必要です。

[フィードバック]

実習においては、顕微鏡標本のスケッチと特に重要な内容のレポート作製を求めます。スケッチとレポートについては、授業時間内で解説を行い、提出を求め、コメントを付けて返却します。

小テストを4回行います。終了後に解説を行い、オフィスアワーにおいて必要に応じ指導します。

小テスト・スケッチ・レポート・実習試験・定期試験を総合評価します（卒業コンピテンシー I-1パフォーマンス・レベルC、IV-1,2パフォーマンス・レベルD）。

[教科書]

1. 「ぜんぶわかる人体解剖図」 坂井建雄・橋本尚詞（成美堂出版）
2. 「入門組織学」 牛木辰雄（南江堂）
3. 「医学要点双書 発生学」 藤本十四秋・受島敦美（金芳堂）
4. 「Junqueira's Basic Histology」 Mescher AL. (McGraw-Hill Education)

[推薦参考書]

1. 「Wheater's Functional Histology」 Young B. (Elsevier)
2. 「Before We Are Born」 Moore L. (Saunders)
3. 「Langman's Medical Embryology」 Sadler W. (Lippincott)
4. 「新発生学」 白澤信行（日本医事新報社）

[授業時間]

後期 10月1日から1月22日

・月曜日：3コマ目（一部4コマ目）

・毎火曜日：3・4・5・6コマ目

[使用する教室]

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

[実習場所]

医学部1号館 地下1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
白田 信光 教授	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806

深澤 元晶	講師	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806
石嶺 久子	助教	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806
齋藤 成	講師	月曜/火曜	17:20~18:30	医学部1号館8階806

<共同利用研究推進施設>

担当者名	曜日	時間	場所
新美 元	講師	※講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
下村 敦司	客員教授	※講義終了後に対応	
小野 謙三	客員教授	※講義終了後に対応	
伊藤 誠	客員教授	※講義終了後に対応	
駒瀬 裕子	客員教授	※講義終了後に対応	
中井 さち子	客員教授	※講義終了後に対応	
鈴木 康之	客員教授	※講義終了後に対応	
川井 範夫	客員教授	※講義終了後に対応	
乾 正幸	客員教授	※講義終了後に対応	
野田 亨	客員教授	※講義終了後に対応	
前田 真男	客員准教授	※講義終了後に対応	
岸 将史	客員准教授	※講義終了後に対応	
松澤 綾美	客員講師	※講義終了後に対応	
小久保 正博	客員助教	※講義終了後に対応	

<医療科学部>

担当者名	曜日	時間	場所
高橋 久英	名誉教授	※講義終了後に対応	

<医学部>

担当者名	曜日	時間	場所
永津 郁子	名誉教授	※講義終了後に対応	

[授業日程]

<細胞から個体へ>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	01	月	3	臼田 信光	<総論 解剖学入門> ● 顕微解剖学について説明できる。	1001講義室
2	10	01	月	4	臼田 信光	<総論 細胞> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリアの構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 細胞分裂の過程を図示し、説明できる。 ● 細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 ● 細胞の機能を図示・説明できる。	1001講義室
3	10	02	火	3	深澤 元晶	<総論 実習入門> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 顕微鏡・標本の正しい取り扱い方を図示・説明できる。	1001講義室
4	10	09	火	3	深澤 元晶 齊藤 成	<総論 組織学研究法> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ● 顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。	1001講義室
5	10	15	月	3	深澤 元晶	<総論 上皮組織 1> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○ 組織の再生の機序を説明できる。	1001講義室
6	10	15	月	4	石嶺 久子	<総論 支持組織 1> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨の構造と機能を説明できる。 ● 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	1001講義室
7	10	16	火	3	深澤 元晶	<総論 上皮組織 2> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○ 組織の再生の機序を説明できる。	1001講義室
8	10	22	月	3	臼田 信光	<総論 筋組織 1・神経組織 1> C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 神経組織の微細構造を説明できる。 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 血液脳関門を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ● 脳機能と構造の関係を図示・説明できる。	1001講義室

9	10	23	火	3	石嶺 久子	<p><総論 支持組織 2> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨の構造と機能を説明できる。 ● 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。</p>	1001講義室
10	10	29	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p>【発生学(1) 入門・受精から三胚葉・胎児付属物】 C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・嚔嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 E-7-1) 胎児・新生児 ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 ● 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。</p>	1001講義室
11	10	30	火	3	深澤 元晶	<p><総論 筋組織 2・神経組織 2> C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 神経組織の微細構造を説明できる。 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 血液脳関門を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ● 脳機能と構造の関係を図示・説明できる。</p>	1001講義室
12	11	05	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p><各論 器官①：脈管系 1・血液 1・骨髄 1・リンパ性器官 1・消化器系 1> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 D-7-1) 構造と機能 ○ 消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ● 消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。</p>	1001講義室
13	11	06	火	3	深澤 元晶	<p><各論 脈管系 2> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。</p>	1001講義室
14	11	12	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p>【発生学(2) 奇形と有害物質 臨床的進歩】 ● 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。</p>	1001講義室
15	11	13	火	3	齊藤 成	<p><各論 血液 2・骨髄 2> D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。</p>	1001講義室

16	11	19	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p>【発生学(3) 器官形成と奇形】</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ● 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 	1001講義室
17	11	20	火	3	石嶺 久子	<p><各論 リンパ性器官2></p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。 	1001講義室
18	11	26	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p><各論 器官②：呼吸器系・泌尿器系・生殖器></p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 <p>D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肺胞におけるガス交換を説明できる。 <p>D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 ○ 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。 ● 泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。 ● 泌尿生殖器系各器官の形成過程を図示・説明できる。 ● 減数分裂の過程とその意義を説明できる。 	1001講義室
19	12	03	月	3	白田 信光 乾 正幸	<p><各論 消化器系2></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消化管の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。 	1001講義室
20	12	10	月	3	白田 信光 深澤 元晶	<p><各論 器官③：内分泌・皮膚・感覚器 視覚器></p> <p>D-3-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皮膚の組織構造を図示して説明できる。 <p>D-11-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳房の構造と機能を説明できる。 <p>D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンとその作用を列挙できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ● 視覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。 	1001講義室
21	12	17	月	3	白田 信光 下村 敦司	<p>【発生学(4) 幹細胞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。 ● 細胞がリプログラミングにより多能性を持つことを図示・説明できる。 	1001講義室
22	01	07	月	3	白田 信光 伊藤 誠	<p><各論 感覚器 聴覚器></p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ● 聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。 	1001講義室

<細胞から個体へ(実習)>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	02	火	4	白田 信光 深澤 元晶	<p><総論(1) 細胞①></p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p>	B1実習室

2	10	02	火	5	石嶺 久子 齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博	<ul style="list-style-type: none"> ○細胞の観察法を説明できる。 ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリアの構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞膜の構造と機能を説明できる。 <p>C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ○微小管の役割や機能を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ●顕微解剖学について説明できる。 ●顕微鏡・標本の正しい取扱い方を図示・説明できる。 ●顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。 ●細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 	
3	10	02	火	6			
4	10	09	火	4	臼田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<総論(2) 細胞②> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能	
5	10	09	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	<ul style="list-style-type: none"> ○細胞分裂の過程を図示し、説明できる。 ○細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 <p>●細胞の機能を図示・説明できる。</p>	B1実習室
6	10	09	火	6	前田 真男 小久保 正博	<p><特別項目> 光顕 標本作製見学</p> <p><特別項目> 電顕 電顕見学</p>	
7	10	16	火	4	臼田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<総論(3) 上皮組織> C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能	
8	10	16	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	<ul style="list-style-type: none"> ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 	B1実習室
9	10	16	火	6	前田 真男 小久保 正博	<p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○組織の再生の機序を説明できる。 	
10	10	23	火	4	臼田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<総論(4) 支持組織> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能	
11	10	23	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	<ul style="list-style-type: none"> ○支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 	B1実習室
12	10	23	火	6	前田 真男 小久保 正博	<p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 <p>●骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。</p> <p><特別項目> 細胞培養見学</p>	
13	10	30	火	4	臼田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<総論(5) 筋組織、神経組織> C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動	
14	10	30	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	<ul style="list-style-type: none"> ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 	B1実習室
15	10	30	火	6	前田 真男 小久保 正博	<p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神経組織の微細構造を説明できる。 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○血液脳関門を説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 <p>●脳機能と構造の関係を図示・説明できる。</p> <p><特別項目> CT・MRI 脳の立体構造</p>	
16	11	06	火	4	臼田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(1) 脈管系 発生①> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能	
17	11	06	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博	<ul style="list-style-type: none"> ○血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○体節の形成と分化を説明できる。 ○体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○心血管系の形成過程を説明できる。 ○泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 <p>C-4-1) 遺伝的多様性と疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ○染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。 <p>C-4-3) 代謝障害</p>	B1実習室

						<ul style="list-style-type: none"> ○ 脂質代謝異常の病態を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 E-7-1) 胎児・新生児 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ○ 主な先天性疾患を列挙できる。 ● 細胞がリプログラミングにより多能性を持つことを図示・説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 ● 先天代謝異常について図示・説明できる。 ● 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。 ● 生殖腺の発生と性分化の過程を図示・説明できる。 ● 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。 <p><特別項目> CT・MRI 心臓の動き</p>	
19	11	13	火	4	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(2) 血液・骨髄> D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。	B1実習室
20	11	13	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。	
21	11	13	火	6	前田 真男 小久保 正博	● 骨髄、血球の微細構造・機能・分化を図示・説明できる。 <特別項目> 光顕 血液塗抹標本	
22	11	20	火	4	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(3) リンパ性器官> C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。	B1実習室
23	11	20	火	5	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	D-1-1) 構造と機能 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。	
24	11	20	火	6	前田 真男 小久保 正博		
25	11	27	火	3	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(4) 消化器系 管・腺> D-7-1) 構造と機能 ○ 消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。	B1実習室
26	11	27	火	4	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。	
27	11	27	火	5	前田 真男 小久保 正博	○ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。	
28	11	27	火	6		● 消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	
29	12	04	火	3	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(5) 呼吸器系> D-6-1) 構造と機能 ○ 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。	B1実習室
30	12	04	火	4	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	● 肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。	
31	12	04	火	5	前田 真男 小久保 正博	<特別項目> CT・MRI 気管支鏡	
32	12	04	火	6			
33	12	11	火	3	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(6) 泌尿器系> D-8-1) 構造と機能 ○ 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。	B1実習室
34	12	11	火	4	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨	● 泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。	
35	12	11	火	5	前田 真男 小久保 正博	● 泌尿生殖器系各器官の形成過程を図示・説明できる。	
36	12	11	火	6		<特別項目> CT・MRI 腎臓の構造	
37	12	18	火	3	白田 信光 深澤 元晶 石嶺 久子	<各論(7) 男・女生殖器 発生②> C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。	B1実習室
38	12	18	火	4	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博	○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。	

						<p>○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。</p> <p>C-4-1) 遺伝的多様性と疾患</p> <p>○ 染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。</p> <p>C-4-3) 代謝障害</p> <p>○ 脂質代謝異常の病態を説明できる。</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <p>○ 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</p> <p>○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。</p> <p>○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。</p> <p>○ 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</p> <p>○ 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。</p> <p>○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。</p> <p>○ 性周期発現と排卵の機序を説明できる。</p> <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <p>○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。</p> <p>○ 主な先天性疾患を列挙できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。 ● 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 ● 減数分裂の過程とその意義を説明できる。 ● 妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。 ● 胎児付属物と双胎について図示・説明できる。 ● 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。 ● 生殖器の微細構造と機能を図示・説明できる。 ● 先天代謝異常について図示・説明できる。 ● 生殖腺の発生と性分化の過程を図示・説明できる。 ● 細胞がリプログラミングにより多能性を持つことを図示・説明できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 	
39	12	18	火	5			
40	12	18	火	6			
41	01	08	火	3	臼田 信光	<p><各論(7) 内分泌系、皮膚></p> <p>D-3-1) 構造と機能</p> <p>○ 皮膚の組織構造を図示して説明できる。</p> <p>D-11-1) 構造と機能</p> <p>○ 乳房の構造と機能を説明できる。</p> <p>D-12-1) 構造と機能</p> <p>○ 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。</p>	B1実習室
42	01	08	火	4	深澤 元晶		
43	01	08	火	5	石嶺 久子		
44	01	08	火	6	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博		
45	01	15	火	3	臼田 信光	<p><各論(8) 感覚器 視覚・聴覚></p> <p>D-13-1) 構造と機能</p> <p>○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <p>○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 視覚器と聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。 	B1実習室
46	01	15	火	4	深澤 元晶		
47	01	15	火	5	石嶺 久子		
48	01	15	火	6	齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博		
49	01	22	火	3	臼田 信光	<p><総復習></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人体を形成する組織について微細構造と機能を図示・説明できる。 	B1実習室
50	01	22	火	4	深澤 元晶		
51	01	22	火	5	石嶺 久子 齊藤 成 川井 範夫 野田 亨 前田 真男 小久保 正博		

早期臨床体験

【教育目標】

- チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。
- 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。
- 医師になるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける

【学修目標】

病院の機能を知る。(知識) 看護部・事務局・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部
チーム医療を支える様々な医療職に触れ、チーム医療の必要性を理解し、臨床現場を見学・体験する。(知識・態度)
医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。(知識・態度)
社会人としてのマナーを守る。(態度) 自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。(態度)
患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。(態度)
患者に分かりやすい言葉で対話できる。(態度)

【概要】

卒業後、大部分が臨床医としての道を選ぶ本学医学部生に対して、入学した早期の段階より医療(臨床)の現場を体験させることを目的として行われるのが、Early Clinical Exposure(早期臨床体験)である。

学生がグループ毎に大学病院内の各部門において、その日常業務を見学・体験するなど、大学病院各部門の現場体験をすることにより、医学部に入学したという実感を持ち、近い将来尊敬されるべき医師となるための自覚を促す。

医学的知識をほとんど持っていない時期に行われる実習であり、専門的な知識や手技の修得を目的としたものではない。チーム医療の実践を学ぶために必要な考え方や態度を身につけ、学生自身が今後何をなすべきか考えることを主眼としている。

さらに年間を通して学生が交代で大学病院中央玄関前に立ち、患者・家族に対する挨拶と他職種と共同して必要に応じた援助を行い、接遇の基本を学ぶ。

【身につける能力】

別紙参照(卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA~Fを記した表)

【授業の種類】

講義と実習

【準備学習(予習・復習等)】

- ・藤田保健衛生大学病院の概要等について確認しておく。
- ・実習内容の概要を理解しておく。
- ・実習後、疑問に感じたことなどがあれば、調べてそのままにしないこと。

【評価】

・医師としてのプロフェッショナリズム・コミュニケーション・専門職連携・個人情報保護・医療安全にかかわる項目:

実習において、すべての項目を理解し、遵守し行動しているかどうかを集合時間遵守、容姿服装、実習態度、レポート内容などから総合的に評価する。(卒業コンピテンシーI-1~6,II-1,2 III-1,2, IV-6, VI-8)、パフォーマンスレベルC)

・社会から期待される医師の役割・意思疎通についてはレポート・発表により評価する。(卒業コンピテンシーI-7, II-3)、パフォーマンスレベルC

・患者の問題を多職種で解決する取り組み・病歴聴取・基本的臨床手技については、定められた見学実習にすべて参加することを必須とするが、評価は行わない。(卒業コンピテンシーIII-3, V-1,3, VI-1,2,7, VII-3)、パフォーマンスレベルE

・授業が終了するごとにレポートを作成すること。(400字詰め原稿用紙1枚程度、必ず冒頭実習場所・実習日・班名・学籍番号・氏名を記入。必ず手書きペン書きとし、修正の際は修正液等を使用すること。)

レポートは指定の場所に翌週の月曜日13時までに提出すること。提出期限を過ぎたものや不備のあるレポートは受け取らない。また、誤字脱字があった場合には再提出とする。

・レポートは原本を提出する。早期臨床体験ポートフォリオにはコピーをとりファイルしておく。

【フィードバック】

- ・ Moodleに提出されるレポートについては不備な点等にコメントを入れることがあるため確認すること。
- ・ 実習で良い点、逆に問題点が指摘された場合、文書が発行されるので、指示に従い振り返り/反省を行うこと。内容によっては面談指導を行う。

【コーディネーター】

正コーディネーター 飯塚 成志 准教授（臨床医学総論）
コーディネーター 大槻 真嗣 教授（臨床総合医学）
コーディネーター 後藤 和恵 兼任講師（医学教育企画室）

【学年担当者】

医学部学務課 1 学年担当
緊急時の連絡先 0562-93-2634
事務手続き取扱い時間 8:30~16:45
※事務手続き取扱い時間内に連絡すること。

【教科書】

特になし。必要な資料はオリエンテーション時に配布する。

【注意事項】

- ・ 医学部生としての自覚を持ち、良識と責任ある行動をとること。
- ・ 必ず清潔でしわのない指定された白衣、および名札を着用し、医学部生らしい身だしなみを整えること。
- ・ 病院内では安全管理のため患者さんのプライバシーを守り、指導者の指示に従い、勝手な行動や私語は慎むこと。
- ・ 実習授業であるので欠席をしないこと。発熱など体調不良で欠席する場合には、まず学務課学年担当まで連絡し、その後の対応についてはコーディネーターに確認すること。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

【実習場所】

藤田保健衛生大学 第一教育病院、生涯教育研修センター 1 号館14階

【一般目標】

医師となるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

【行動目標】

1. 社会人としてのマナーを守る。
自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
2. 病院の機能を知る。
看護部、事務局、臨床検査部、食養部、放射線部、薬剤部
3. 医療（臨床）の現場を見る。

【授業形態】

Aグループ（A班～E班）、Bグループ（F班～J班）が金曜日の1～3限を1週交代で行う。
看護部・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部の各部門をローテイトしすべての部門を見学・体験する。実習終了後、レポートを提出する。
全てのローテイトが終了した時点で、実習での気づきについて全体発表会にてまとめを行う。

【指導責任者】

(看護部) 眞野 恵子 看護部長
(検査部) 石井 潤一 臨床検査部長
(食養部) 東口 高志 食養部長
(放射線部) 外山 宏 放射線部長
(薬剤部) 山田 成樹 薬剤部長

【前期授業内容】

○看護部

集合場所：1階食堂前「憩いの広場」
集合時間：8:15 オリエンテーション
＜見学・実習＞
・申し送り
・環境整備
・バイタルサイン測定
・全身清拭
・体位変換
・患者移送
・与薬
・回診介助
・点滴交換 など
12:00 実習終了・レポート

○検査部

集合場所：検査棟1階
集合時間：8:45 オリエンテーション
＜見学・実習＞
・検体系
・生理系
・ME管理室
・病理部 など
12:00 実習終了・レポート

○食養部

集合場所：外来棟502会議室
集合時間：8:45 オリエンテーション
＜見学・実習＞
・残った食事量の調査
・治療食について
・配膳準備
・できれば検食 など
12:00 実習終了・レポート

○放射線部

集合場所：放射線棟 2階受付
集合時間：8:30 オリエンテーション
＜見学・実習＞
・病棟ポータブル撮影
・一般撮影・放射線治療
・CT
・MRI
・血管造影
・核医学
・X線透視（小グループ）
12:00 実習終了・レポート

○薬剤部

集合場所：外来棟B1階 薬剤部部員室
集合時間：8:45 オリエンテーション
＜見学・実習＞
・病棟薬剤管理指導について
・調剤の実際
・TPN
・抗がん剤の調製
・医薬品情報管理について など
12:00 実習終了・レポート

【全体授業】

4月20日（金）1～3 オリエンテーション・早期臨床体験実習ガイダンス・大学病院の概要
4月27日（金）1～3 大学病院事務局の役割・車椅子操作訓練・身だしなみチェック

7月20日（金）1～3 早期体験実習のまとめ

【Aグループ・ローテイト表】

5月11日（金）1～3 A班：看護部、B班：薬剤部、C班：放射線部、D班：食養部、E班：臨床検査部
5月25日（金）1～3 A班：臨床検査部、B班：看護部、C班：薬剤部、D班：放射線部、E班：食養部
6月8日（金）1～3 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部
6月22日（金）1～3 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部
7月6日（金）1～3 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部

【Bグループ・ローテイト表】

5月18日（金）1～3 F班：看護部、G班：薬剤部、H班：放射線部、I班：食養部、J班：臨床検査部
6月1日（金）1～3 F班：臨床検査部、G班：看護部、H班：薬剤部、I班：放射線部、J班：食養部
6月15日（金）1～3 F班：食養部、G班：臨床検査部、H班：看護部、I班：薬剤部、J班：放射線部
6月29日（金）1～3 F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、J班：薬剤部
7月13日（金）1～3 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部

—看護体験実習—

第1教育病院看護部の協力のもと、前期の定期試験の直後（9月27日・28日）に行われる実習である。

【目的】

・チームの一員として大学病院において看護業務を体験する。

【目標】

1. 患者の基本的ニーズを知る。
2. 入院患者の生活状況を見学する。
3. 看護師の24時間業務を体験する。
4. 看護師の勤務交代時の看護業務の引継に加わる。
5. チームの一員としての看護師の役割にふれる。
6. 看護の評価方法として看護記録があることを知る。

【授業形態】

Aグループ、Bグループの2組（各約60名）に分け実施する。
グループ分け・集合時間・集合場所は別途知らせる。
実習終了後、レポートを提出する。
提出に関する詳細は、看護体験オリエンテーションにて指示する。

【オリエンテーション】

9月下旬予定 担当：飯塚・後藤

【授業日程】

—後期—（4コマ）
9月27日（木）Aグループ 夜勤（9/27 17:00～9/28 8:45）
9月28日（金）Bグループ 夜勤（9/28 17:00～9/29 8:45）
*病院のスケジュールの都合で、日程が変更される場合がある。

—ホスピタリティ実習—

ホスピタリティ実習は、2～3名が1組となり、午前7時20分より午前8時20分まで大学病院中央玄関に立ち、患者さんや家族へのあいさつ・案内・介助・説明を行う。

【ホスピタリティ実習の目的】

①患者さんや家族と適切に接する能力（患者さんや家族との接遇）を身につける。

- ②患者さんや家族の状態を把握する能力を身につける。
- ③同僚に実習内容や必要事項を申し送る能力を身につける。
- ④同僚から実習内容や必要事項の説明を受ける能力を身につける。
- ⑤指導者へ実習内容の概要を示す能力を身につける。

[実習場所]

- ・ 大学病院中央玄関前（変更の可能性あり。指示に従うこと。）

[授業形態]

- ①実習前日に、看護部長室へ挨拶に行く。
 - ②実習当日は、午前7時20分看護部長室へ集合。夜勤看護長に挨拶し、ホスピタリティ実習評価票を提出し、注意点の確認を行う。
 - ③中央玄関担当看護師等に挨拶をし、指示に従う。
- 1) 実習内容
- ・ 患者さんや家族への挨拶をする。
 - ・ 患者さんが受診しやすくなるように説明や案内をする。
 - ・ 必要に応じて、車椅子介助や受診案内などを行う。
 - ・ 求められれば、速乾性手指消毒薬の使用方法的説明をする。
 - ・ その他
- 2) 午前8時20分、実習終了。
- 3) 全員で看護部長室を訪問し、実習終了の報告を行う。

実習後

次に実習を行うグループに、別途指示する“引継ぎ先一覧表”をもとに、自分たちが行ったホスピタリティ実習の注意事項などをチェックリストに基づき引き継ぐ。次のグループへの引継ぎをもって、実習が終了となる。

[担当教員・オフィスアワー]

<臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 准教授	月曜日～木曜日	12:40～13:10	生涯教育研修センター 1号館9階907

<医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	生涯教育研修センター 1号館14階1402

<臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 眞嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	生涯教育研修センター 1号館10階1007

[授業日程]

<早期臨床体験A>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	20	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	オリエンテーション 早期臨床体験実習ガイダンス	1001講義室
2	04	20	金	2			
3	04	20	金	3			
4	04	27	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵 大槻 眞嗣	大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチェック	1001講義室
5	04	27	金	2			
6	04	27	金	3			
7	05	11	金	1	飯塚 成志	早期体験学習実習	第一教育病

8	05	11	金	2	後藤 和恵	A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A班：看護部、B班：薬剤部、C班：放射線部、D班：食養部、E班：臨床検査部	院
9	05	11	金	3			
10	05	25	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：臨床検査部、B班：看護部、C班：薬剤部、D班：放射線部、E班：食養部	第一教育病院
11	05	25	金	2			
12	05	25	金	3			
13	06	08	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部	第一教育病院
14	06	08	金	2			
15	06	08	金	3			
16	06	22	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部	第一教育病院
17	06	22	金	2			
18	06	22	金	3			
19	07	06	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部	第一教育病院
20	07	06	金	2			
21	07	06	金	3			
22	07	20	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期体験学習実習のまとめ	1001講義室
23	07	20	金	2			
24	07	20	金	3			

<早期臨床体験B>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	20	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	オリエンテーション 早期臨床体験実習ガイダンス	1001講義室
2	04	20	金	2			
3	04	20	金	3			
4	04	27	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵 大槻 眞嗣	大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチェック	1001講義室
5	04	27	金	2			
6	04	27	金	3			
7	05	18	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 F班：看護部、G班：薬剤部、H班：放射線部、I班：食養部、J班：臨床検査部	第一教育病院
8	05	18	金	2			
9	05	18	金	3			
10	06	01	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：臨床検査部、G班：看護部、H班：薬剤部、I班：放射線部、J班：食養部、	第一教育病院
11	06	01	金	2			
12	06	01	金	3			
13	06	15	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：食養部、G班：臨床検査部、H班：看護部、I班：薬剤部、J班：放射線部	第一教育病院
14	06	15	金	2			
15	06	15	金	3			
16	06	29	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、J班：薬剤部	第一教育病院
17	06	29	金	2			
18	06	29	金	3			
19	07	13	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部	第一教育病院
20	07	13	金	2			
21	07	13	金	3			

22	07	20	金	1	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習のまとめ	1001講義室
23	07	20	金	2			
24	07	20	金	3			

アセンブリ I

【教育目標】

アセンブリ教育は専門職連携教育である。学部及び学校間の壁を乗り越え、学生と教員が共通の目的に向かって一緒に活動することを通して、責任感と奉仕の精神にあふれた医療人としての人間形成を目指す。これにより医療の専門職として社会に貢献するのに必要な専門職連携の基盤づくりを行う。

【学修目標】

患者の健康問題を中心に考えることができる
他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。
多職種役割を理解し、尊重することができる。
自職種役割を理解し、行動することができる。
患者の健康問題を多職種で解決に向けて取り組むことができる。
学校、学部、学科の垣根を越えて、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。
将来いろいろな医療職に就く学生と多様な経験を有する教員と一緒に活動できる。
チームでの活動に主体的に参加できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

演習（実技）

【準備学習（予習・復習等）】

アセンブリ精神を理解し、班主任の指示に従うこと。

【 評 価 】

演習レポート；（卒業コンピテンシー I -4,5）、パフォーマンス・レベルC

班活動の評価は参加状況を総合的に評価する。オリエンテーションならびにアセンブリ講演会や活動発表会の評価は、出席状況やレポートなどを総合的に評価する。

演習態度；（卒業コンピテンシー I -1,4,5）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある態度で活動に積極的に参加していたかで評価する。

評価は班活動70%、全学活動30%とし、出席状況などを含め総合的に評価する。

【進級及び卒業要件】

アセンブリは、建学の理念に基づき実施される特別教育活動で、単位数には含めないが卒業に必要な教科とする。

【注意事項】

・ 4 回行われる全学活動講習会には、全て出席すること。欠席した場合は補講を行わなくてはならない。

【フィードバック】

問題がある時は対応する。対応は班主任および全学活動担当教員が行うが、それができない場合はアセンブリ教育センターで対処する。

【活動場所】

アセンブリ活動便覧参照（アセンブリポータルサイトに記載）

<http://assembly.fujita-hu.ac.jp/index.html>

[担当教員・オフィスアワー]

<臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 眞嗣 教授	水曜	12:30~13:20, 16:40~18:00	生涯教育研修センター 1号館10階1007

<ウイルス・寄生虫学>

担当者名	曜日	時間	場所
前野 芳正 准教授	月曜~金曜	17:00~19:00	医学部 1号館 6階603

[授業日程]

<アセンブリ I >

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	16	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	全体オリエンテーション	7号館 2000
	04	23	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	アセンブリ講演会 1 (医療と献体)	7号館 2000
	05	07	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	アセンブリ講演会 2 (専門職連携の実例)	7号館 2000
1	05	14	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
2	05	21	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
3	05	28	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
4	06	04	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
5	06	18	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 班活動及び全学活動	
6	06	25	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
7	07	02	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
8	07	09	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	

9	10	01	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
10	10	15	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
11	10	22	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
12	10	29	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
13	11	05	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
14	11	12	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動及び全学活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
	11	19	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	アセンブリⅡ活動報告会	7377-ル 2000
15	11	26	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
16	12	03	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	班活動 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
	12	10	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	アセンブリⅠ活動報告会	7377-ル 2000
	12	17	月	5	大槻 眞嗣 前野 芳正 アセンブリポータルサイト参照	アセンブリⅠ活動報告会	7377-ル 2000

近現代文学 I

【教育目標】

日本の近現代文学を出発点にし、表現文化の特質、さらにはその社会的批評性について学び、理解することを目標とする。同時に、表現文化を研究する際に必須の批評理論の基礎を学び、それら批評理論を使って表現文化を分析する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の射程は広く、マンガ・アニメ・映画にまで至る。本授業であつかうのは、小説およびアニメーションなどの多様な表現文化である。身近にある様々な表現文化から、言語や性、あるいはメディアなどに関わる能力を養う。そのことを通じて、人間と小説などの表現文化との関わりについて理解を深める。

【学修目標】

日本近現代文学およびその他の表現文化、表現方法について考察し、表現の批評性について理解を深める。同時に批評理論について学び、その援用を試みる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。
授業時に示す課題を作成する。

【 評 価 】

持ち込み不可のテスト（80%）および、レポート・課題（20%）で評価する。ただし、レポート・課題未提出の場合は、評価対象としない。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求められることがある。

【教科書】

『刺繍する少女』小川洋子（角川文庫）
『注文の多い料理店』宮沢賢治（新潮文庫）

【推薦参考書】

授業時に示します。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<近現代文学 I >

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
	04	11	水	1	奥田 浩司	選択科目ガイダンス	1001講義室
1	04	18	水	1	奥田 浩司	(1)作品を読むとはどういうことか ● 分析的な読解について理解する。	909講義室
2	04	25	水	1	奥田 浩司	(2)文学的な言語表現について:導入 ● 文学的な言語表現の特徴を説明できる。	909講義室
3	05	02	水	1	奥田 浩司	(3)文学的な言語表現について:展開 ● 文学的な言語表現について簡単な分析ができる。	909講義室
4	05	09	水	1	奥田 浩司	(4)物語と構造:導入 ● 物語の構造分析について説明できる。	909講義室
5	05	16	水	1	奥田 浩司	(5)物語と構造:展開1 ● 物語の構造分析の方法論を理解する。	909講義室
6	05	23	水	1	奥田 浩司	(6)物語と構造:展開2 ● 物語の構造分析を具体的な作品を用いて説明できる。	909講義室
7	05	30	水	1	奥田 浩司	(7)物語と構造:展開3 ● 学んだ知識を活用し小説以外の表現を分析する。	909講義室
8	06	06	水	1	奥田 浩司	(8)児童文学と現代の視覚文化:導入 ● 宮沢賢治『どんぐりと山猫』について説明できる。	909講義室
9	06	13	水	1	奥田 浩司	(9)児童文学と現代の視覚文化:展開1 ● 『どんぐりと山猫』と『となりのトトロ』を比較して考察できる。	909講義室
10	06	20	水	1	奥田 浩司	(10)児童文学と現代の視覚文化:展開2 ● 宮沢賢治『なめとこ山の熊』について説明できる。	909講義室
11	06	27	水	1	奥田 浩司	(11)児童文学と現代の視覚文化:展開3 ● 『なめとこ山の熊』と『もののけ姫』を比較して考察できる。	909講義室
12	07	04	水	1	奥田 浩司	(12)現代の視覚文化の諸問題:1 ● 『コクリコ坂から』の問題点について説明できる。	909講義室
13	07	11	水	1	奥田 浩司	(13)現代の視覚文化の諸問題:2 ● 『コクリコ坂から』と現代社会の関係について考察する。	909講義室
	07	18	水	1	奥田 浩司	定期試験	603講義室

近現代文学Ⅱ

【教育目標】

日本語で書かれた近現代文学を中心に、映像文化における受容の問題、古い、ホロコーストなどに関する表現について扱う。同時に、表現文化を研究する際に必須の分析方法（批評理論）の基礎も学び、それを使って表現文化を分析する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の領域は広く、マンガ・アニメ・映像文化にまで至る。本授業で扱う対象は、小説、映画、アニメなどである。このようなポップカルチャーも含めた幅広い表現文化について考察することを通して、表現し受容することの社会的な意味について理解を深める。

【学修目標】

日本近現代文学およびその他の表現文化、表現方法について考察し、表現の批評性について理解を深める。同時に批評理論について学び、その援用を試みる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

講義のみ

【準備学習（予習・復習等）】

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。
授業時に示す課題を作成する。

【 評 価 】

持ち込み不可のテスト（80%）および、レポート・課題（20%）で評価する。ただし、レポート・課題未提出の場合は、評価対象としない。

【フィードバック】

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

【教科書】

『女のいない男たち』村上春樹（文春文庫）

【推薦参考書】

授業時に示します。

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館 9階909講義室

【担当教員・オフィスアワー】

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<近現代文学Ⅱ>

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	03	水	1	奥田 浩司	作品の受容について導入1 ● 受容の問題について理解する。	909講義室
2	10	17	水	1	奥田 浩司	作品の受容について導入2 ● 文学作品とアニメの受容の関係について議論する。	909講義室
3	10	24	水	1	奥田 浩司	作品の受容について展開1 ● 『この世界の片隅に』について説明できる。	909講義室
4	10	31	水	1	奥田 浩司	作品の受容について展開2 ● 宮澤賢治の作品と『この世界の片隅に』の関係について説明できる。	909講義室
5	11	07	水	1	奥田 浩司	作品の受容について展開3 ● 宮澤賢治の作品と『この世界の片隅に』の関係について説明できる。	909講義室
6	11	14	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について1 ● ホロコーストについて議論する。	909講義室
7	11	21	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について2 ● ホロコーストについて説明できる。	909講義室
8	11	28	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について3 ● 村上春樹「ドライブ・マイ・カー」について考察する。	909講義室
9	12	05	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について4 ● 村上春樹「独立器官」について考察する。	909講義室
10	12	12	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について5 ● 村上春樹「木野」について考察する。	909講義室
11	12	19	水	1	奥田 浩司	表現文化と戦争について5 ● 村上春樹「木野」について考察する。	909講義室
12	01	09	水	1	奥田 浩司	老いと表現文化1 ● 有吉佐和子『恍惚の人』における老いの問題について議論する。	909講義室
13	01	16	水	1	奥田 浩司	老いと表現文化1 ● 有吉佐和子『恍惚の人』における老いの問題について説明できる。	909講義室
14	01	23	水	1	奥田 浩司	老いと表現文化1 ● 『ハウルの動く城』における老いの問題について説明できる。	909講義室
	01	30	水	1	奥田 浩司	● 定期試験	603講義室

Medical English I

[教育目標]

医学では膨大な数の専門用語が使用されており、医師国家試験レベルでも数万語、さらにそれぞれの専門分野ではその数倍の専門用語があると推定されます。その用語の多くは英語がそのまま、あるいは英語の略語のみが使用されています。国際的に医学分野では今や英語が「標準語」となっていて、日本語での訳語が存在しない用語も増えています。

当然医学部専門科目の講義でも、そうした専門用語が言葉として語られ、記載されます。言葉に慣れ、自由に使いこなすことができなければ、講義についていくことすらできません。しかし多くの学生が専門用語、特に英単語や略語でつまづき、講義の理解に支障をきたしています。

こうした現状を踏まえ、本科目では医学部で専門講義を受けるためのごく基本的と考えられる用語を、講義に先立ち日本語と英語の両方で理解することを目標とします。提示する用語については正確かつスピーディーに想起し、記載することを求めます。

皆さんのなかには、英語を学ぶ上で多くの苦労をされた方も多いと思いますが、それは英語という言語がもつ複雑な「被植民地化」の歴史がもたらした、印欧語族の中でも特異な性質によります。その性質は、単語の語尾変化が極端に少なくなったために複雑に定義された語順のルール（つまり「文法」）、類似した意味をもちながら微妙にニュアンスの異なる複数の語彙（stop, cease, quit, discontinueなど）、などで、そういう性質を持つことになった背景を、英語の歴史を紐解きながら概説するとともに、医学、生物学用語に多用されるラテン語由来の語彙の「パーツ」の意味を考えていきます。

一方、この科目のもう一つの目的は自学自習の習慣をつけることであり、提示する用語についてはその内容を自ら調べることが想定しています。自学自習こそが医師になるものとしてふさわしい学習法であり、医師の常識です。用語の持つ概念の理解・習得についても、大学生・医学部生としてふさわしい勉強法を自ら確立してください。

[学修目標]

基本的な医学専門用語の説明から、用語を日本語、英語の両方ですみやかに想起し、記載できる。

医学・生物学用語をパーツに分解し、語彙の語源を考えることができる。

自学自習の習慣を身につける。

医療通訳の模擬実習により、多言語・多文化の患者とのコミュニケーションに必要なことを考える。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

- ・講義と随時試験

[準備学習（予習・復習等）]

用語集は初回の講義で提示します。講義は最小限の方向付けのみで、原則として自ら修得することを求めます。単語随時試験の合格には15～20時間程度の学習が必要と考えています。自ら学習計画を立て、勉強法を確立してください。

[評価]

・知識：用語の理解をペーパーテストで判定します。（卒業コンピテンシーIV-9）パフォーマンス・レベルD
ただし知識：医学・生物学用語をパーツに分解し、語源を考える部分については講義のみとし、試験・評価は行いません。（卒業コンピテンシーIV-9）パフォーマンス・レベルE

・態度：用語理解の単語随時試験を行い、自学自習の習慣が身についているかどうかを判定します。（卒業コンピテンシーI-1,5）パフォーマンス・レベルC

この単語随時試験で指定日までに90%以上正解した場合、60点満点の本試験得点に最大40点を加算します。再試験も同様です。夏季休業中を含め、週に1回、合格するまで受験することが可能です。どのように取り組んだかも評価の対象です。試験形式等の詳細については初回のオリエンテーション講義で説明します。

・独創的探究心の基礎となる学習ですが、説明、体験にとどめ、評価は行いません。（卒業コンピテンシーV-1～4）パフォーマンス・レベルE

[フィードバック]

・単語随時試験については実施後すぐにその場で採点し、不正解箇所をフィードバックするとともに学習方法、実習態度などに問題点があれば指摘を行います。

・本試験（再試験）結果については開示を希望する場合、オフィスアワーに申し出てください。

【教科書】

用語集をデジタルデータで配布します。さまざまなデジタル問題集も準備します。

【推薦参考書】

語源については下記の書籍を参考図書として挙げておきます。

「英語の歴史」 寺澤 盾 著 中公新書

「ラテン語の歴史」 小林 標 著 中公新書

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

【その他】

単語随時試験については生涯教育研修センター 1号館 9階907にて実施します。

【担当教員・オフィスアワー】

<臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 准教授	月曜日～木曜日	12:40～13:10	生涯教育研修センター 1号館 9階907

<生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 7階706

【授業日程】

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	10	火	4	飯塚 成志	オリエンテーション ● 教材の紹介・単語随時試験の説明を実施する。	1001講義室
2	04	17	火	4	飯塚 成志	医学専門用語集を学ぶにあたって ● 医学専門用語を学ぶにあたり、基本的な姿勢を説明する。	1001講義室
3	04	24	火	4	飯塚 成志	単語随時試験	1001講義室
4	05	01	火	4	飯塚 成志	単語随時試験	1001講義室
5	05	08	火	4	飯塚 成志	単語随時試験	1001講義室
6	05	15	火	4	吉田 友昭	英語の歴史 ● ゲルマン語族であることを説明できる。 ● フランス系のプランタジネット朝の時代に一旦衰微したことを説明できる。 ● ローマ支配の時代にはラテン語から直接、フランス系の王朝の時代にはフランス語（ロマンス語）経由でラテン語語彙が数多く流入し、経由によって語義が異なることも多いことを説明できる。 ● ラテン語由来の言葉がかしこまった表現であることを説明できる。	1001講義室
7	05	22	火	4	吉田 友昭	接頭辞と接尾辞 ● 生物系の専門用語に、ラテン語の接頭辞、接尾辞を駆使して創造されたものが多いことを説明できる。 ● 主たる接頭辞の意味を説明できる。 ● 主たる接尾辞の意味を説明できる。	1001講義室

プロフェッショナリズム I

【教育目標】

医師のプロフェッショナルとして必要な医療コミュニケーションには、医師－患者・家族間、医師－医師間やチーム医療としての多職種間のコミュニケーションがあります。そのような多様なコミュニケーションを良好に築くためには、まず社会の中で生きる人としての自己を確立する必要があります。そして、患者・家族、同僚、他職種とのコミュニケーションを確立する必要があります。この授業では様々なテーマの「実習」を通して医療コミュニケーションの基礎を習得します。

【学修目標】

協調性、社会性を有して行動できる。
お互いの立場を尊重して、相手から信頼される関係を築ける。
同僚と適切なコミュニケーションを実践できる。
他の医療従事者となる学生と専門職の立場から良好なコミュニケーションを実践できる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

実習

【準備学習（予習・復習等）】

関係項目を各自30分程度予習・復習を行う

【評価】

(1)記述試験（卒業コンピテンシーIII-2,3）パフォーマンスレベルD
(2)「振り返りシート」、「レポート」（卒業コンピテンシーI-1,4,5,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
実習を振り返り感じたこと気づいたことを記載する「振り返りシート」、「レポート」の提出状況や内容を評価する。
(3)学修態度；（卒業コンピテンシーI-1,4,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
遅刻や名札忘れがないか、医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかを評価する。

【フィードバック】

レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

「そばにいる人から喜ばれる喜び」高塚人志著（今井書店）
「いのちを慈しむヒューマン・コミュニケーション授業」高塚人志著（大修館）
「自分が好きになっていく」高塚人志著（アリス館）
「人間関係トレーニング（第2版）」津村俊充、山口真人編（ナカニシヤ出版）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室(病院実習の出席確認時)

【実習場所】

生涯教育研修センター 1号館 6階601、602、603講義室

[コーディネーター]

石原 慎 教授 (地域医療学)

[担当教員・オフィスアワー]

<地域医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 慎 教授	月曜日・水曜日・金曜日	12:00~13:00	生涯教育研修センター1号館10階1006

<健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜日~金曜日	12:30~13:20、17:10~	生涯教育研修センター1号館8階807

<倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 芳 教授	火曜日、水曜日、金曜日	16:00~18:00	生涯教育研修センター1号館8階806

<精神神経科学>

担当者名	曜日	時間	場所
亀井 浩行 客員講師		講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
半谷 眞七子 客員准教授		講義終了後に対応	

[授業日程]

<プロフェッショナリズムI>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	01	月	1 / 2	石原 慎 若月 徹	ガイダンス、コミュニケーションとは、体験学習とは（体験学習）一方通行のコミュニケーション A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● コミュニケーションの意義を説明できる。	1001講義室
2	10	15	月	1 / 2	石原 慎	臨床現場を体験する（Aグループ） ● 医師の仕事を見学する。	1001講義室 第一教育病院
3	10	17	水	2	石原 慎 佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 ○ 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○ 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	601講義室 603講義室
4	10	17	水	3	石原 慎 佐藤 芳 亀井 浩行	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。	601講義室 603講義室

						半谷 眞七子	<p>○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。</p> <p>○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。</p>	
5	10	17	水	4		石原 慎 佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <p>○チーム医療の意義を説明できる。</p> <p>○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。</p> <p>○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。</p>	601講義室 603講義室
6	10	17	水	5		石原 慎 佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <p>○チーム医療の意義を説明できる。</p> <p>○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。</p> <p>○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。</p>	601講義室 603講義室
7	10	17	水	6		石原 慎 佐藤 芳 亀井 浩行 半谷 眞七子	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <p>○チーム医療の意義を説明できる。</p> <p>○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。</p> <p>○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。</p>	601講義室 603講義室
8	10	22	月	1 / 2		石原 慎	<p>臨床現場を体験する（Bグループ）</p> <p>●医師の仕事を見学する。</p>	1001講義室 第一教育病院
9	10	29	月	1 / 2		石原 慎 若月 徹	<p>言葉によるコミュニケーション:電話によるコミュニケーション</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <p>○患者に分かりやすい言葉で説明できる。</p> <p>●言葉による情報伝達について説明できる。</p>	602講義室
10	11	05	月	1 / 2		石原 慎 若月 徹	<p>自己概念:私は誰？</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●自己概念について説明できる。</p>	602講義室
11	11	12	月	1 / 2		石原 慎 若月 徹	<p>傾聴:大きく力を磨く</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。</p> <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <p>○話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。</p> <p>●効果的な傾聴について説明できる。</p>	602講義室
12	11	19	月	1 / 2		石原 慎 若月 徹	<p>フィードバック:プレゼントシート</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●フィードバックについて説明できる。</p>	602講義室
13	11	26	月	1 / 2		石原 慎 若月 徹	<p>価値観とコンセンサス:私に大切なもの</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <p>○選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。</p> <p>A-1-3) 医師としての責務と裁量権</p>	602講義室

						<p>○ 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。</p>	
--	--	--	--	--	--	---	--

A-4-1) コミュニケーション

○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

- 自己や他者の価値観について説明できる。
- コンセンサス（合意形成）について実践できる。

スポーツ科学

【教育目標】

スポーツを通して身体運動と健康の重要性を学生に十分に理解し実践することは、大学生活を健康で有意義に過ごすための一助となるだけでなく、卒業後の医師としての人生を豊かにし、健康で活力ある家庭や社会を築く上でも欠かすことができない。また、運動処方や健康増進に必要な基礎的知識を実習などから体験的に学習する。

また、医療事故を防止する対策への意識づけ教育として、体育実技を医療現場と想定し、チームスポーツを通してチーム医療のシミュレーションを行う。医療事故の防止に不可欠な確認作業や情報整理などの技術、及び情報の共有や相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力を育成することを目的とする。

授業ではインドアスポーツ、アウトドアスポーツでは主としてスポーツの比重が高く、実験実習では運動や身体活動の測定と評価に関する比重が高く構成される。

また、前期の最後の授業では「エネルギー代謝を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝」について解説を加え、後期最後の授業では、「スポーツ医学」について解説し、スポーツ障害の予防と応急処置について解説を加える。

コースと担当

- ①インドアスポーツ（I D）：宮澤
- ②アウトドアスポーツ（O D）：浦野
- ③実験実習（E X）：若月

3つのコースから前期および後期でそれぞれ希望する1つを選択する。ただし、実験実習については連続して受講することはできない。

【学修目標】

コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。

チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。

運動方法や運動強度を知ることができる。

準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。

【身につける能力】

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

【授業の種類】

実習（一部解説講義を含む）

【準備学習（予習・復習等）】

スポーツ種目の運動特性およびルール、運動や身体活動における身体の生理学、生化学、スポーツではバイオメカニクス、およびスポーツ心理学に関する簡単な事前学習（約15分程度）。事前学習については適宜指示します。授業後にmoodleにより振り返りを行います（約15分程度）。

【評価】

- (1)レポート；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC
- (2)受講態度；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC

医学を学ぶ者として常識ある受講態度であったか、授業に積極的に参加したか、提出課題から判定する。運動のできる服装（スポーツウエア）およびスポーツシューズの装着もチェックします。

【フィードバック】

- ・小テスト後に解答および解説を示す。
- ・小テストはコメントをつけて返却する。
- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・本科目について作成したe-learningを学習する。

【教科書】

特になし

【推薦参考書】

「スポーツトレーニングの基礎理論」横浜市スポーツ医科学センター編（西東社）

【使用する教室】

生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室(ガイダンス)

【実習場所】

アセンブリホール、総合フジタグラウンド、多目的グラウンド

【注 意】

- ・各自、スポーツウェア、体育館専用シューズ、および屋外運動場専用シューズを必ず用意してください。
- ・各自飲み物等を準備し、体調不良の際には必ず教員に申し出てください。
- ・アセンブリホール・多目的グラウンド等の運動施設にはゴミ箱が設置されていないため、各自が持ち込んだゴミは必ず持ち帰ってください。

【担当教員・オフィスアワー】

<健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜日～金曜日	12:30～13:20、17:10～	生涯教育研修センター 1号館 8階807
浦野 忍 客員助教		※講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
飯田 忠行 客員准教授		※講義終了後に対応	

<医療科学部・臨床工学科>

担当者名	曜日	時間	場所
宮澤 麻希 客員助教		※講義終了後に対応	

【授業日程】

<スポーツ科学>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	04	12	木	2	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	前期ガイダンス	1001講義室
2	04	19	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	全体：選択グループ分け I D：ドッジビー（基本操作の練習・ゲーム） O D：ターゲットバードゴルフ1（スイングの基本） E X：形態測定（身長・身体組成） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	フジタグラウンド アセンブリホール

										<p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。運動方法や運動強度を知ることができる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	
3	04	26	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バスケットボール (ルールの説明・基本技術・ゲーム)</p> <p>OD : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①)</p> <p>EX : 体力測定 (新体カテストを体験する)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
4	05	10	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バスケットボール (ゲーム)</p> <p>OD : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①)</p> <p>EX : 肺機能と運動</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
5	05	17	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : 車いすバスケットボール (車いすの基本操作、パス・ドリブル)</p> <p>OD : ターゲットバードゴルフ3 (ニアピンゲーム①)</p> <p>EX : 筋力と筋活動 (握力と筋電図)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
6	05	24	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : 車いすバスケットボール (ミニゲーム)</p> <p>OD : ターゲットバードゴルフ4 (コースゲーム①)</p> <p>EX : 最大無酸素パワー</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
7	05	31	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 飯田 忠行 宮澤 麻希	<p>ID : 車いすバスケットボール (リーグ戦①)</p> <p>OD : フライングディスク1 (ディスタンスゲーム)</p> <p>EX : ウォーキング実習 (飯田)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
8	06	07	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : 車いすバスケットボール (リーグ戦②)</p> <p>OD : フライングディスク1 (アキュラシーゲーム)</p> <p>EX : ウォーキングと重心動揺 (加速度計による測定)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アソシアリール				
9	06	14	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : ブラインドサッカー (アイマスク着用でのボール操作・PK練習)</p> <p>OD : フライングディスク1 (ポートディスクゲーム)</p> <p>EX : ボールウォーキングと歩行特性</p>	フジタラクト アソシアリール				

						<p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	
10	06	21	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バレーボール (ゲーム①) OD : ボールゲーム1 (ドリブルゲーム、パスゲーム) EX : 運動強度と心拍数</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	ファミリア アソシエイト
11	06	28	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バレーボール (ゲーム②) OD : ボールゲーム2 (少人数で行うゲーム) EX : 持久的トレーニングと有酸素運動</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	ファミリア アソシエイト
12	07	05	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バドミントン (ゲーム①) OD : ボールゲーム3 (サッカーテニス) EX : レジスタンストレーニングと筋力</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	ファミリア アソシエイト
13	07	12	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : バドミントン (ゲーム②) OD : ボールゲーム4 (サッカーテニス) EX : 減量・ダイエット</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	ファミリア アソシエイト
14	07	19	木	2	若月 徹	<p>身体活動とエネルギー代謝</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。</p>	1001講義室
15	07	19	木	3		<p>C-2-5) 生体物質の代謝 ○エネルギー代謝 (エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量) を理解し、空腹 (飢餓) 時、食後 (過食時) と運動時における代謝を説明できる。</p>	
16	10	04	木	2	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	後期ガイダンス	1001講義室
17	10	11	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID : ドッジビー (基本操作の練習・ゲーム) OD : フライングディスクゴルフ1 (チーム対抗) EX : 形態測定 (身長・身体組成)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 	ファミリア アソシエイト

										きる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。																
18	10	18	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : バスケットボール (ルールの説明・基本技術・ゲーム) O D : フライングディスクゴルフ2 (チーム対抗) E X : 体力測定 (新体カテストを体験する)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : バスケットボール (ゲーム) O D : フライングディスクゴルフ2 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (車いすの基本操作、パス・ドリブル練習) O D : フライングディスクゴルフ4 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (ミニゲーム) O D : フライングディスクゴルフ4 (個人) E X : 筋力と筋活動 (握力と筋電図)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦①) O D : ティーボール (打撃練習と守備練習) E X : ウォーキング実習</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦②) O D : ティーボール (ゲーム) E X : ウォーキングと重心動揺 (加速度計による測定)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができる。</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>I D : ブラインドサッカー (アイマスク着用でのボール操作・PK練習) O D : ティーボール (ゲーム) E X : ボールウォーキングと歩行特性</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p>	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希

						<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	
25	12	06	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID：アルティメット（ルール説明・基本技術の練習） OD：サッカー1（キック、ドリブル） EX：運動強度と心拍数</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アゼンガリール
26	12	13	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID：アルティメット（ミニゲーム） OD：サッカー2（ドリブル、パス） EX：持久的トレーニングと有酸素運動</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アゼンガリール
27	12	20	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID：アルティメット（リーグ戦①） OD：サッカー3（ゲーム） EX：レジスタンストレーニングと筋力</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アゼンガリール
28	01	10	木	2 / 3	若月 徹 浦野 忍 宮澤 麻希	<p>ID：アルティメット（リーグ戦②） OD：サッカー4（ゲーム） EX：減量・ダイエット</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	フジタラクト アゼンガリール
29	01	17	木	2	若月 徹	<p>スポーツ障害の予防と応急処置</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p>	1001講義室
30	01	17	木	3		<p>B-1-6) 社会・環境と健康 ○スポーツ医学を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。 	

基礎教室体験実習（選択）

[教育目標]

データが登録されていません。

[学修目標]

データが登録されていません。